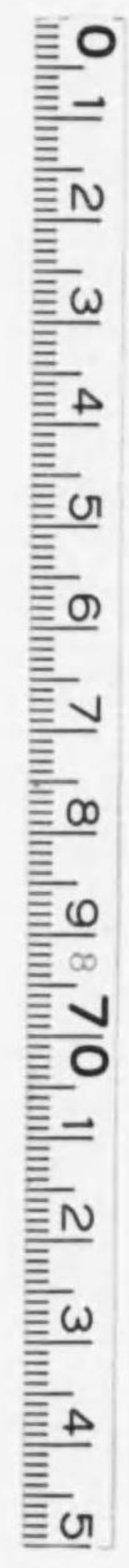


第三卷  
澤村武人著作集

特 258  
281



始



料 258  
281.



力は微ながら我等同人が捲起したつむじの波動も回  
を重なるにつれ、いよ／＼大きく、ますます／＼深まり  
ゆくかのやうに覺えて我等は多大の感興と奮勵心と  
を呼び起さずにはゐられません。而も他面にはその  
たび、いつも大方各位から望外の讃辭と至懇な激勵  
とを感ずり得て、それが何れも我等の若さの上に多分  
の力となり希望の光となりつゝあるに對して我等一  
同の胸はたい／＼喜悅と感激の情に充ち溢れざるを  
得ないのであります。  
つむじ會が斯界の一角に嗚々の聲をあげてからはや  
三回、かやうにして至つて健やかにおひ立ちたるに  
つけて、そこに我等同人は奉仕的にこれに報うべき  
何ものかひなければならぬと考ひさせられてゐま  
す。さてこの思ひ——所謂三ツ兒の魂——が、いか  
に來るべき斯界の傾向に對してその力、初々しけれ  
ど漸く充實し來るその力をどれだけ發揮し得べきか  
そは一に我等の將來にかゝる最重要事として一同肝  
に銘する所のものであります。  
這般内田美術書肆に本集刊行を委するに方りまして  
些か重言を叙し、重ねてこゝに滿腔の敬意と感謝の  
志とを大方に向つて表する次第であります。

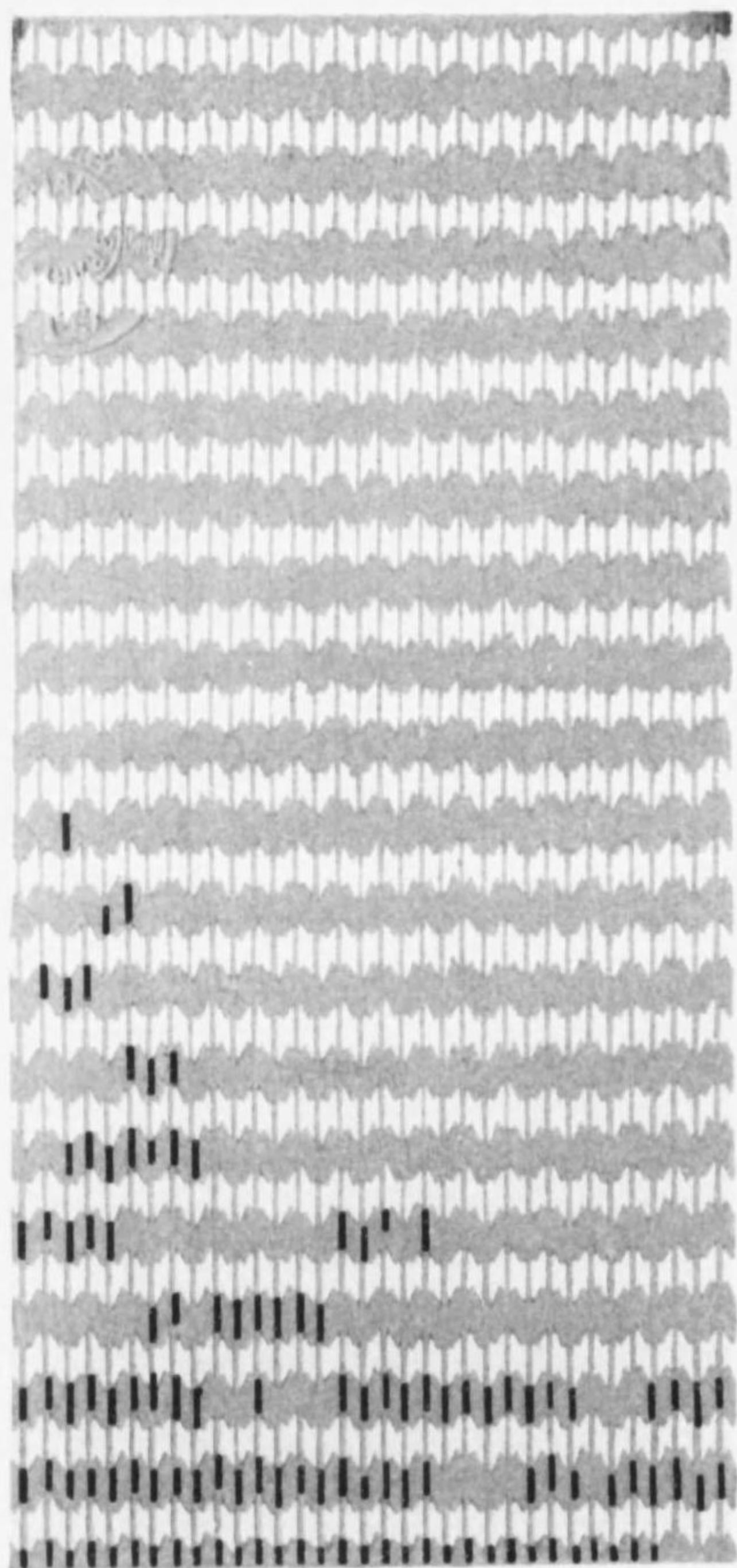
昭和二年五月

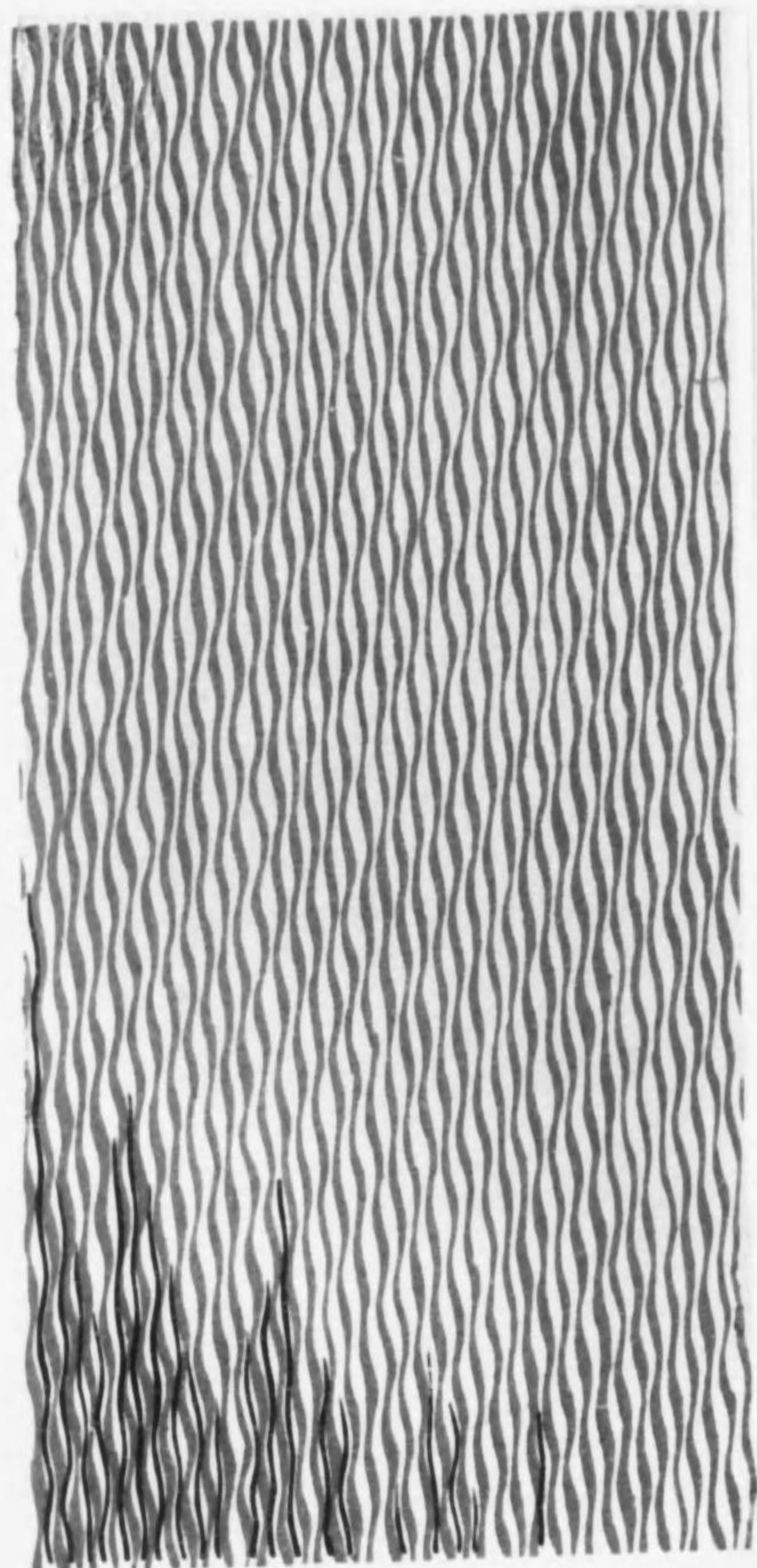
同人

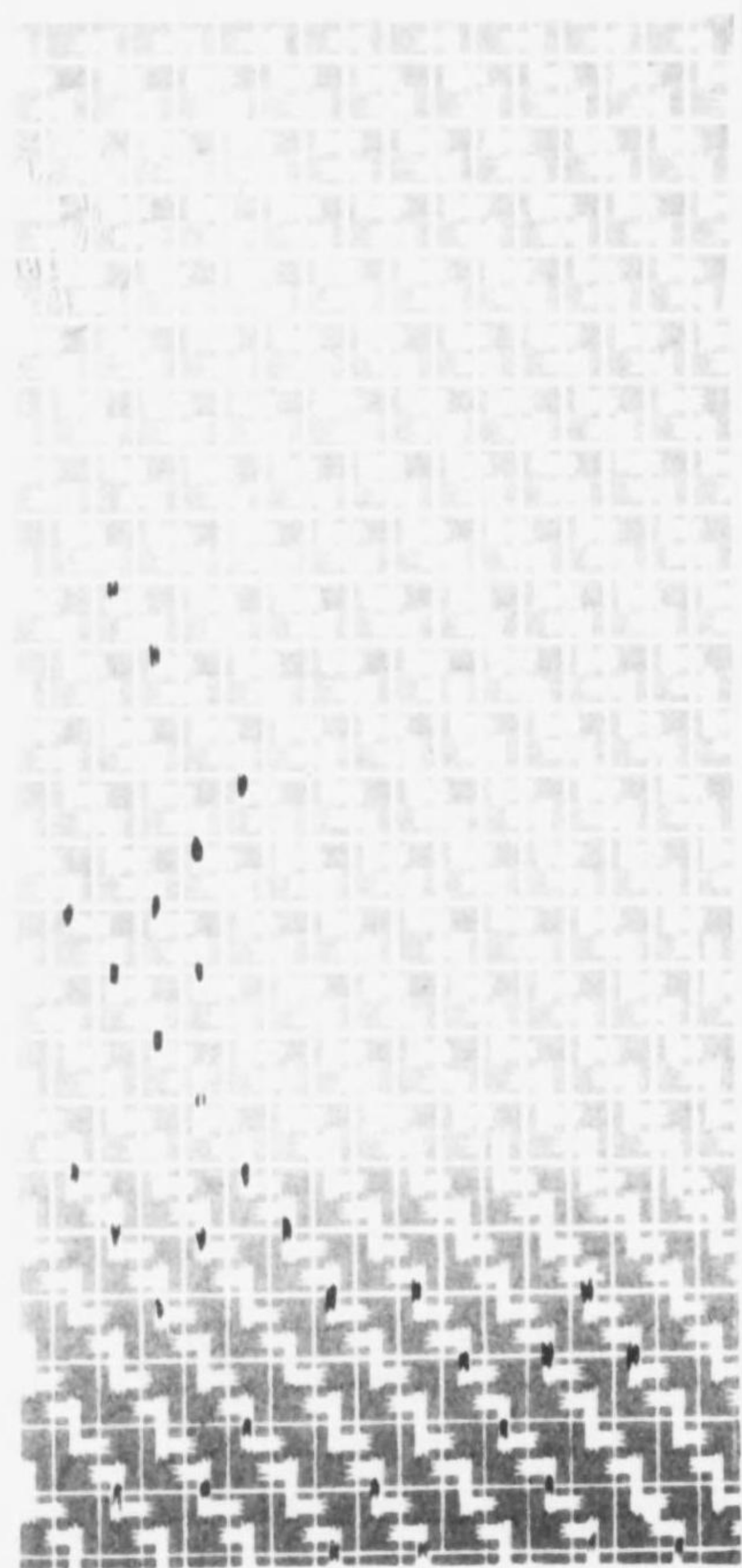
丸 橋 一 翠  
古 川 甲 丙  
宮 本 甫  
高 田 康 之  
青 木 猛  
長 井 利 夫  
松 村 翠 鳳

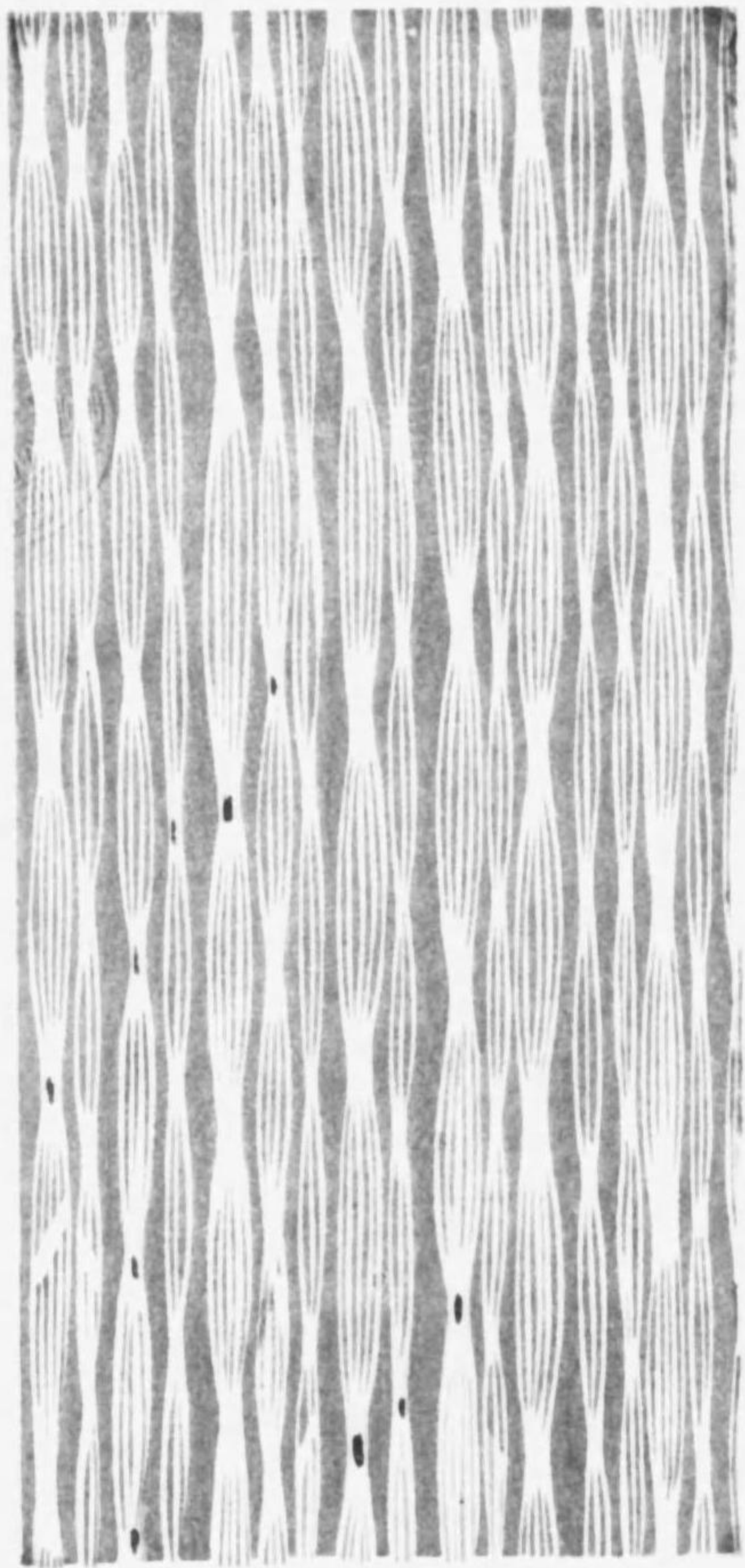
敬白



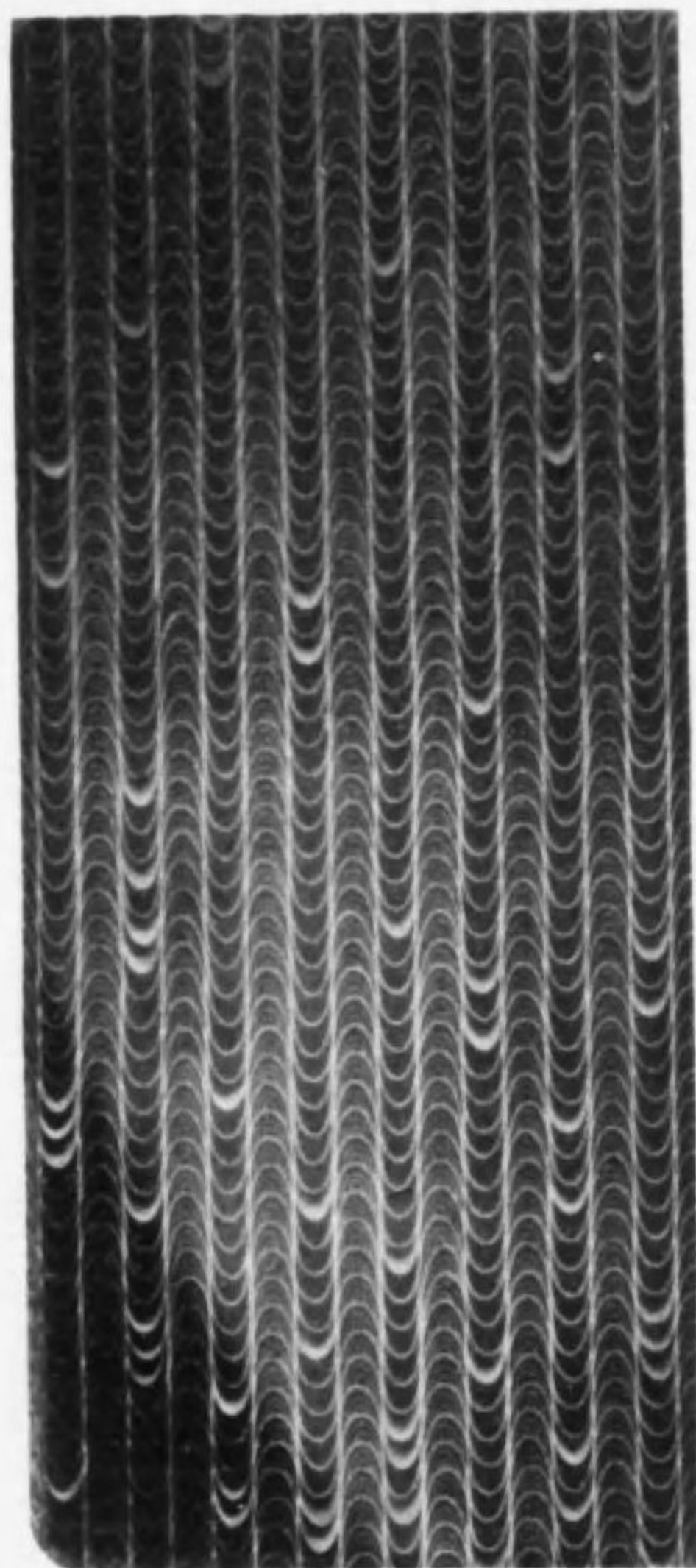
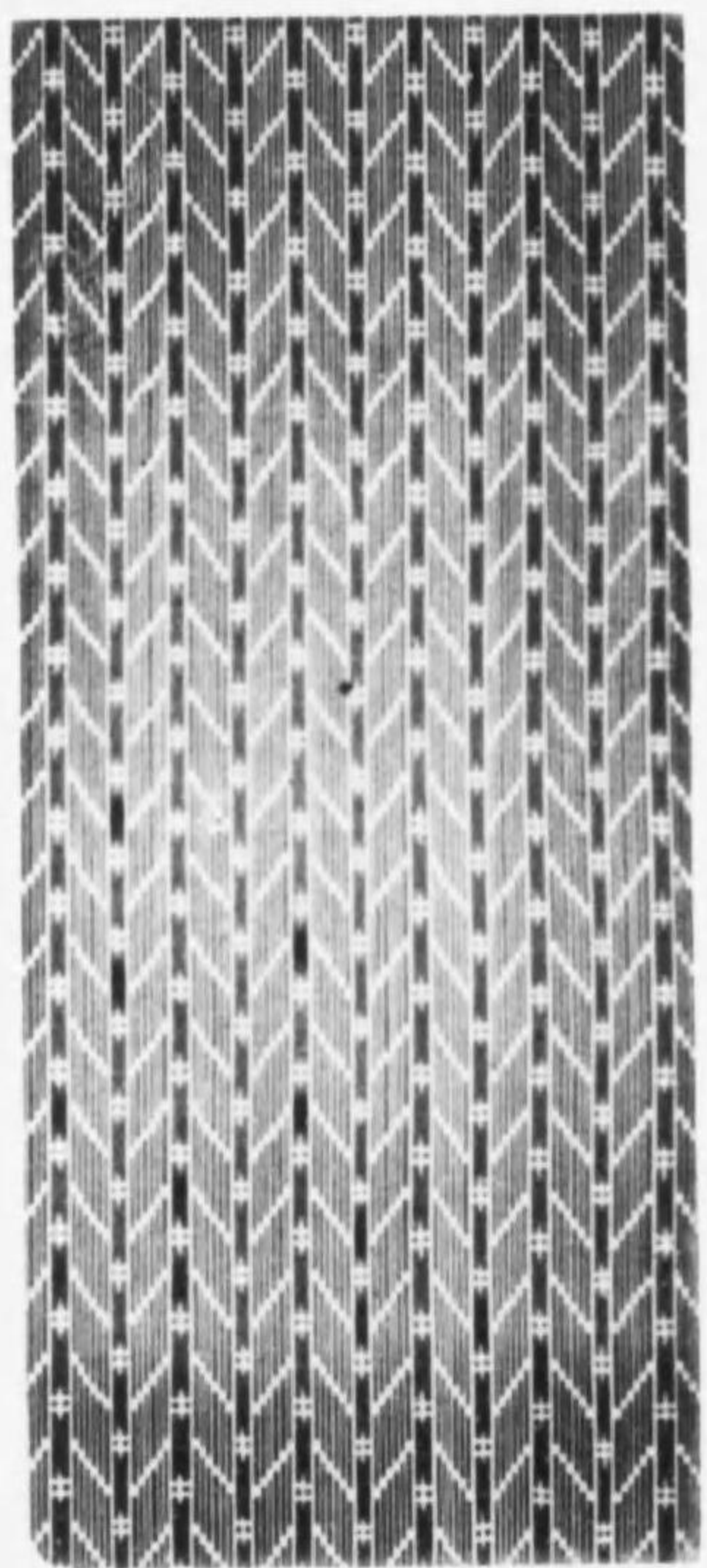




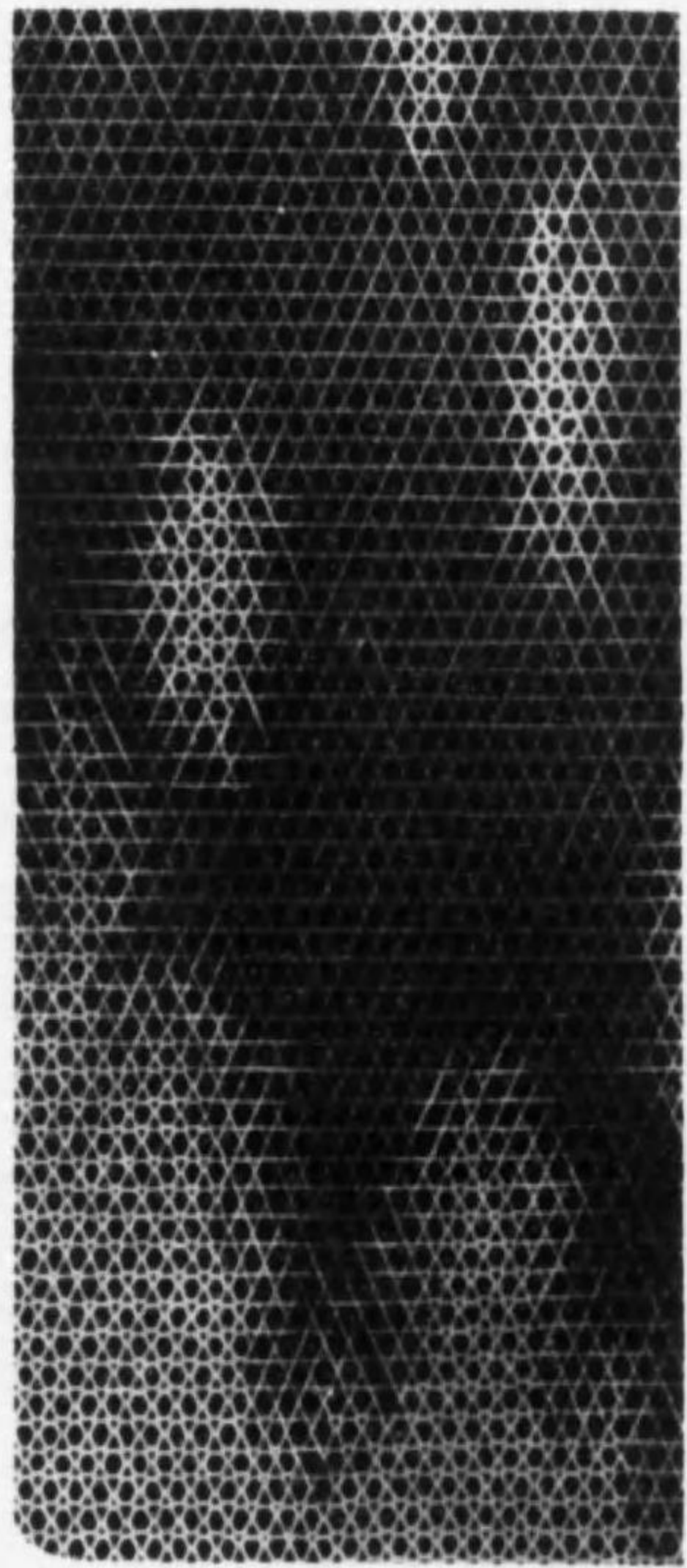


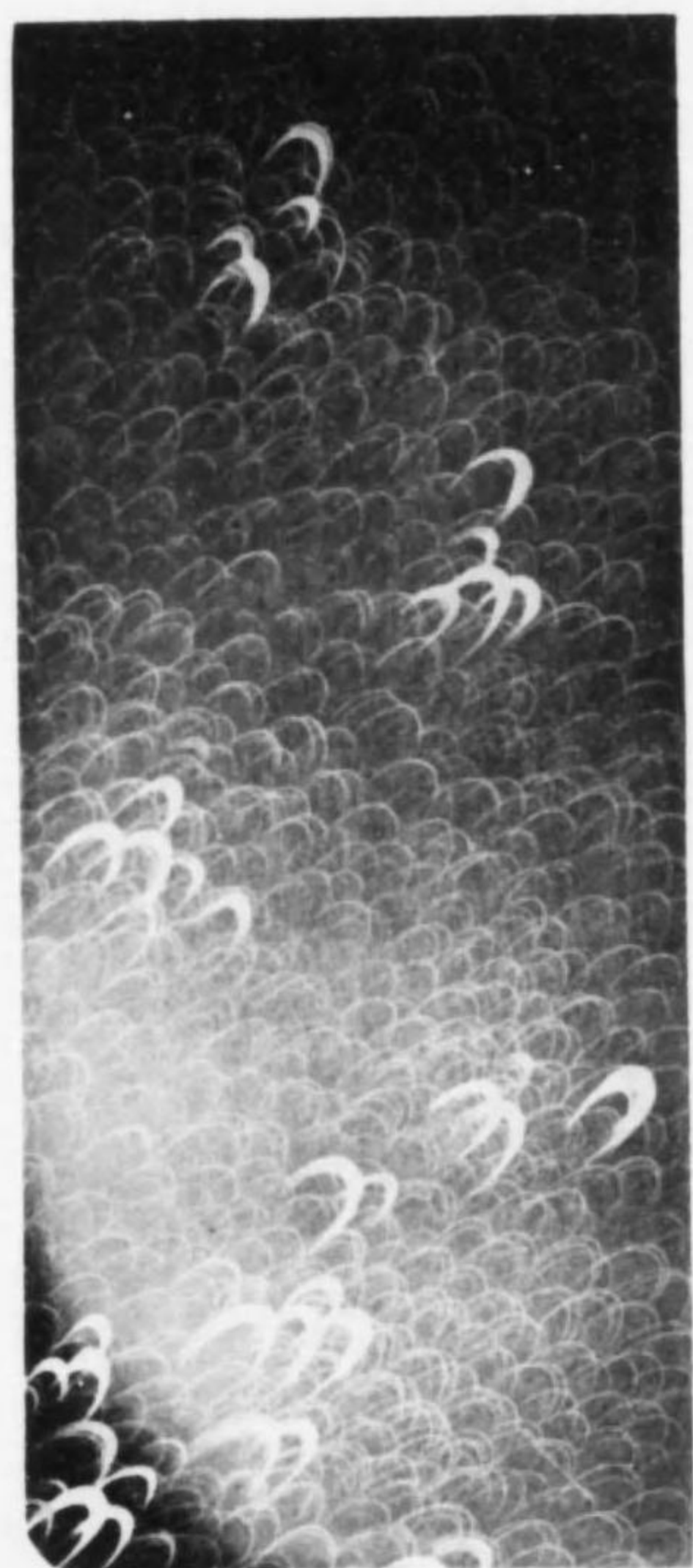
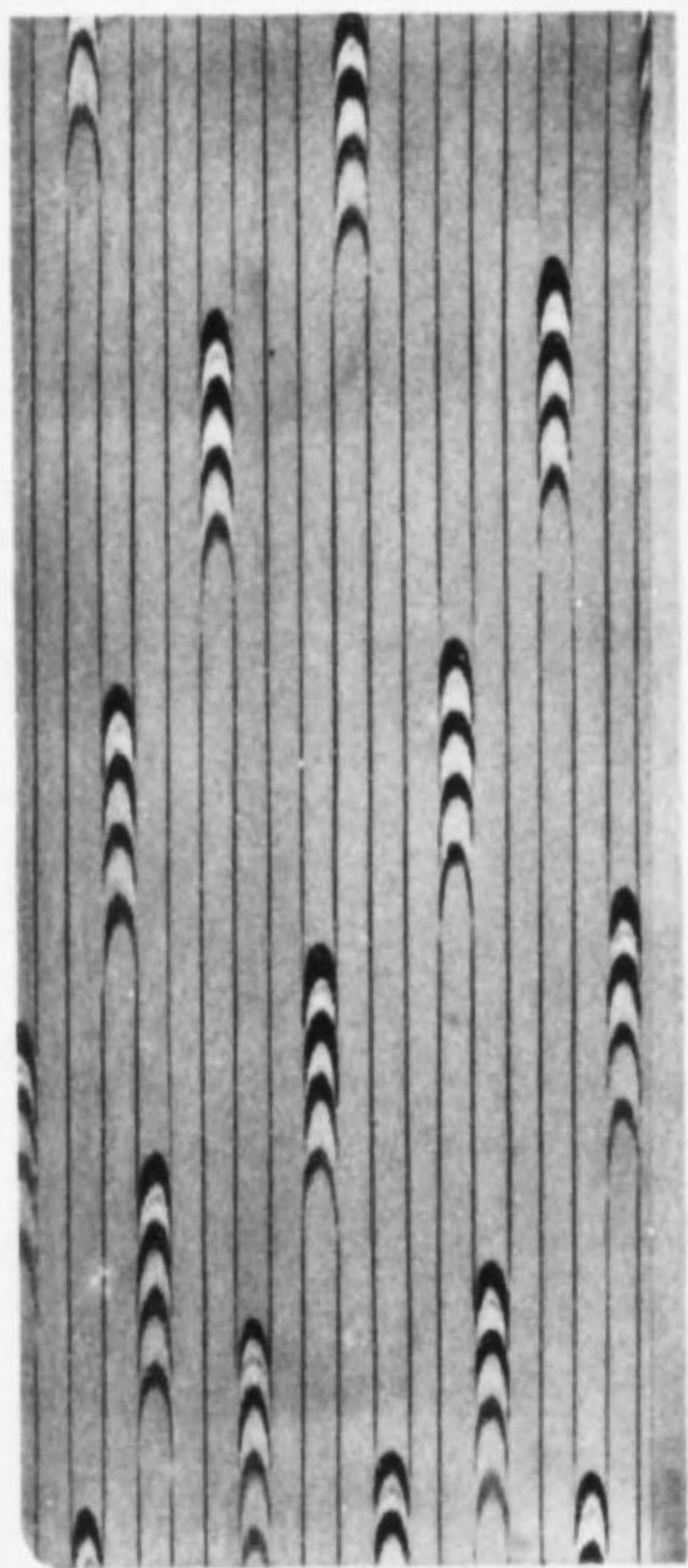


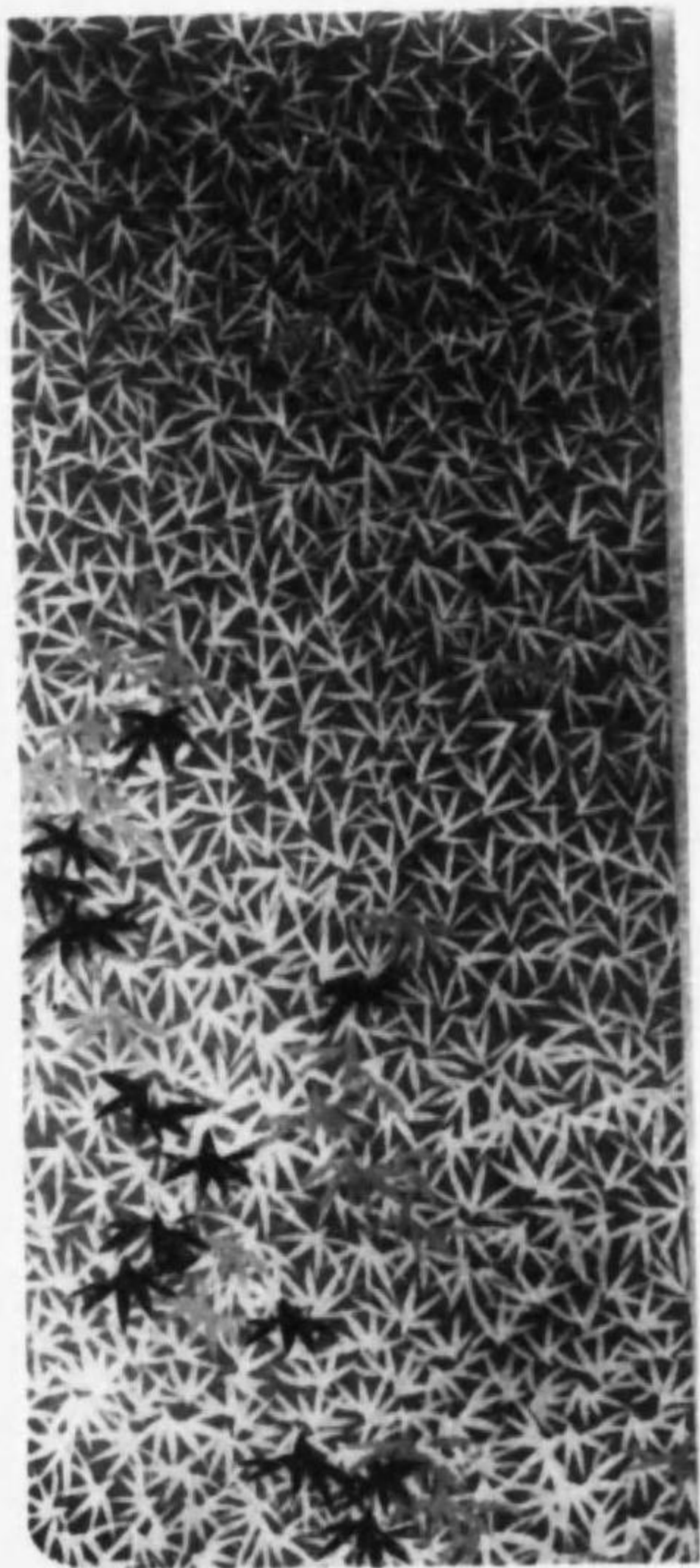
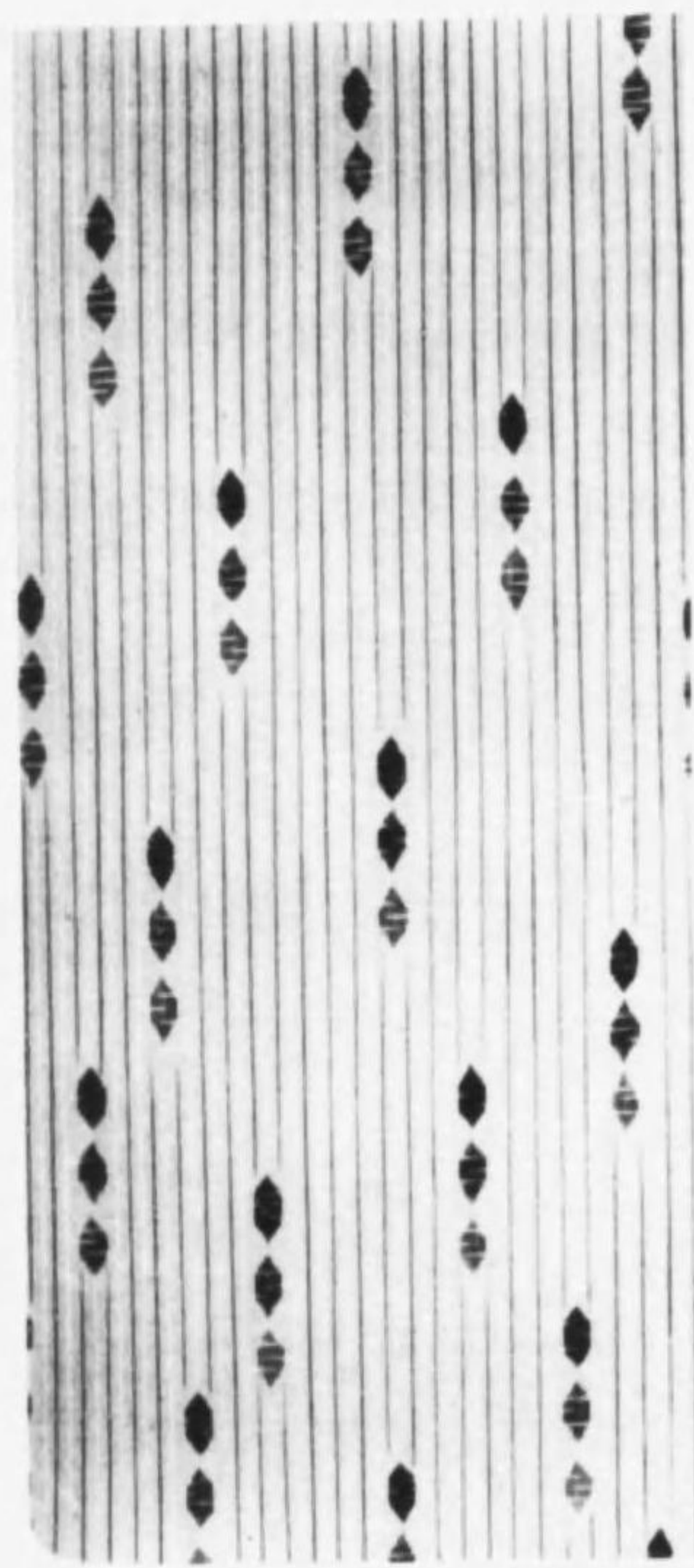
Handwritten text in a dense, narrow column on the left page of an open book. The text is written in a cursive script and is mostly illegible due to its small size and the way the ink has bled through from the reverse side. The text appears to be organized into several paragraphs, with some lines starting with larger, possibly initial letters. The right page of the book is blank.

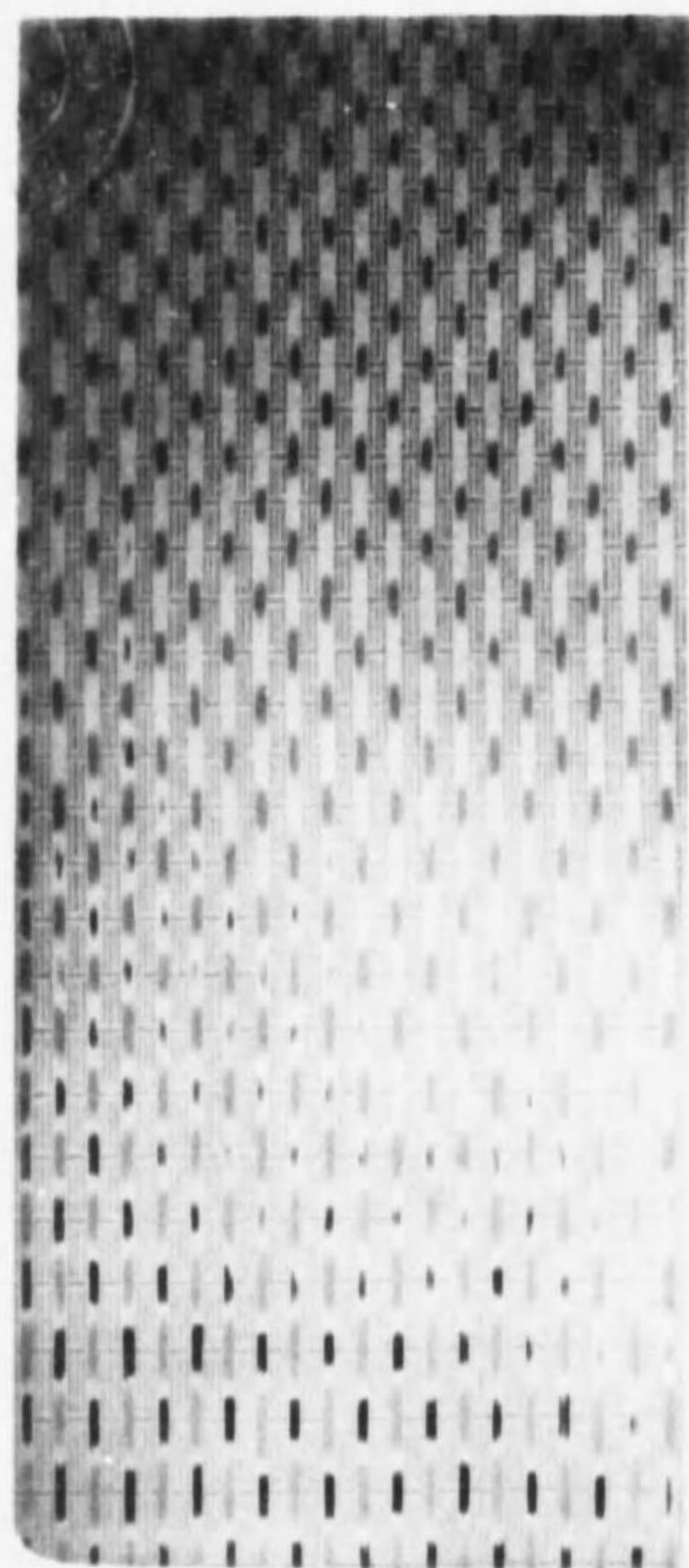


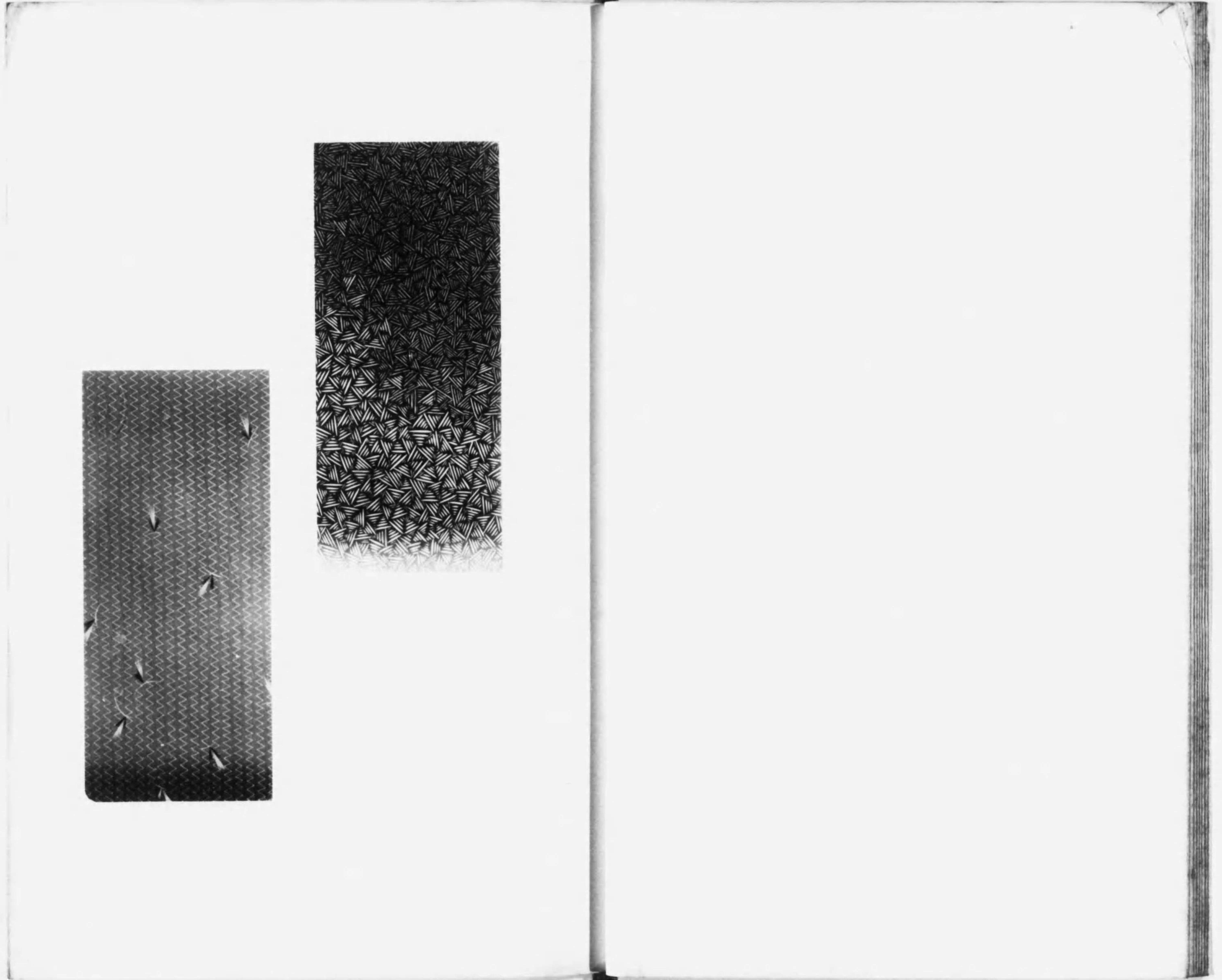
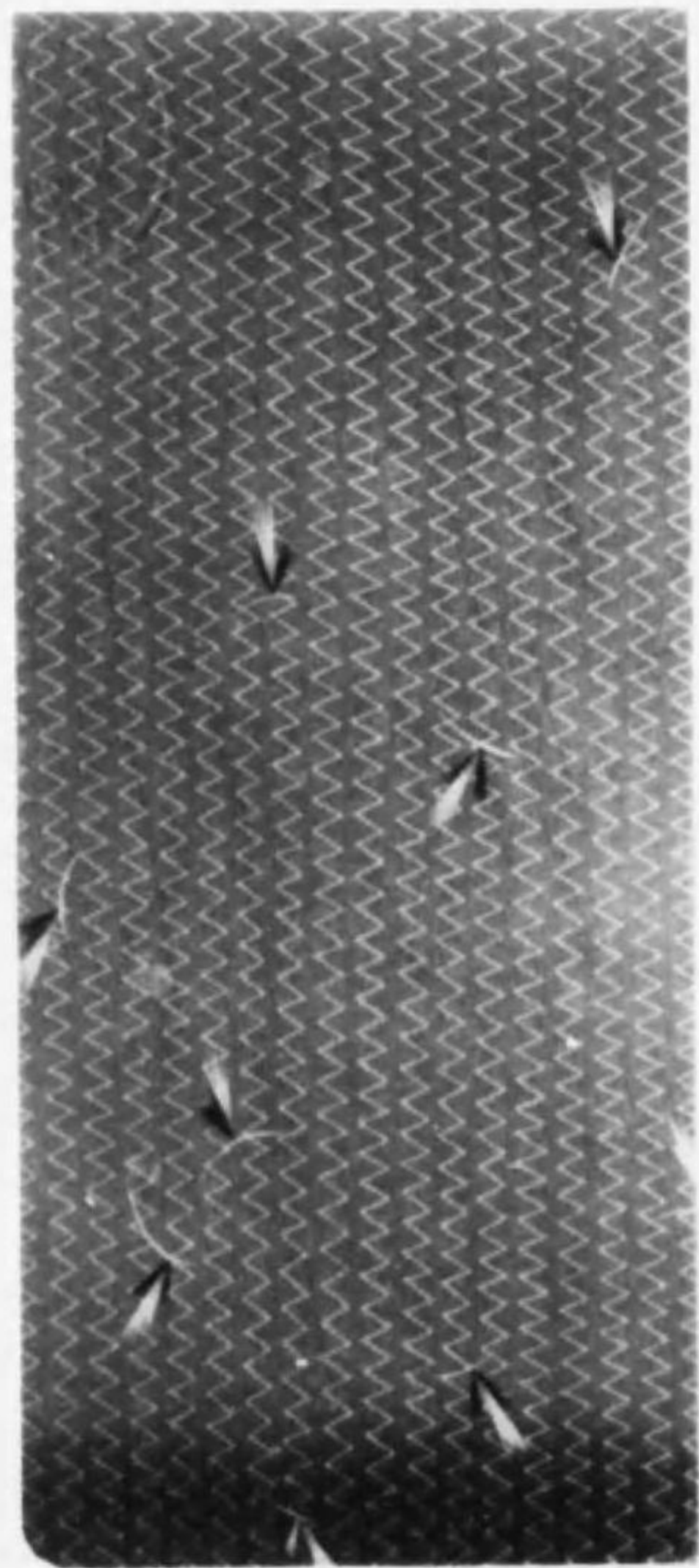


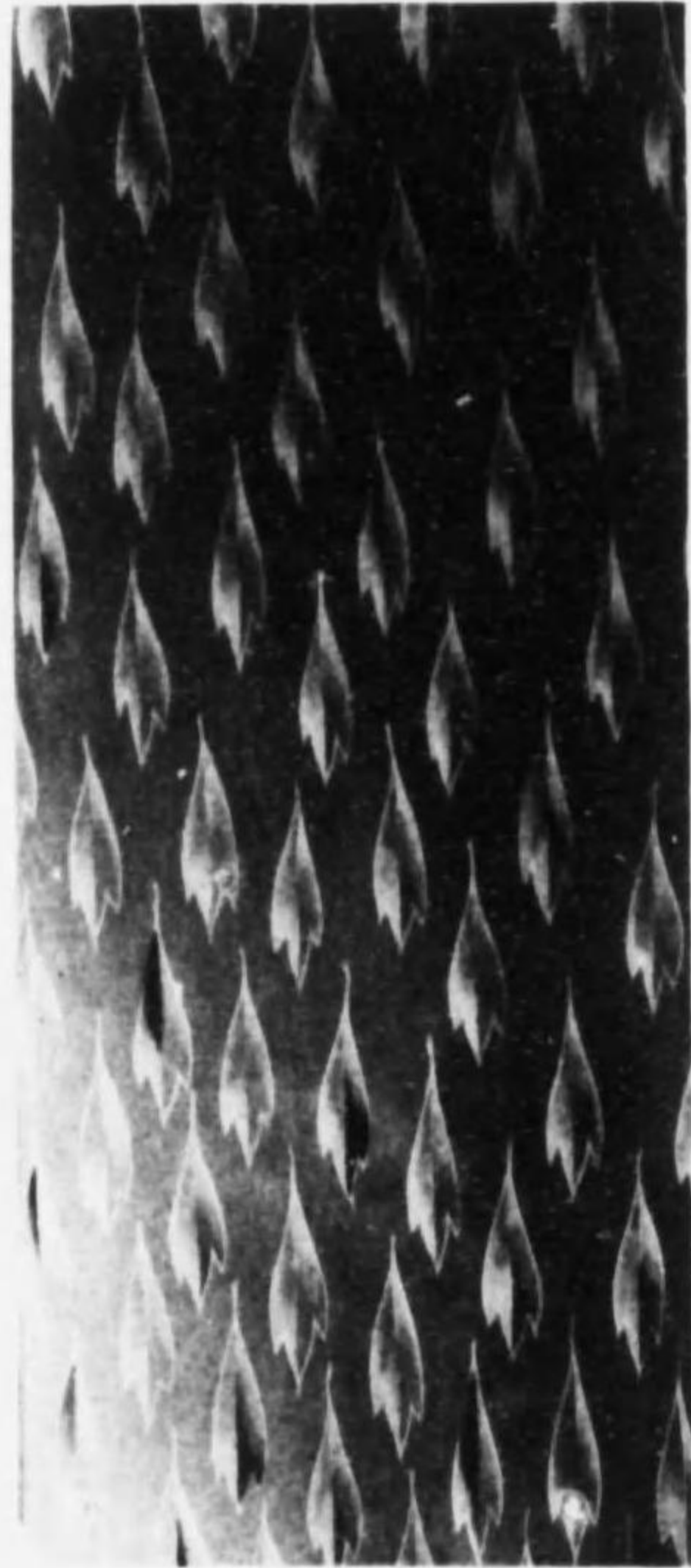
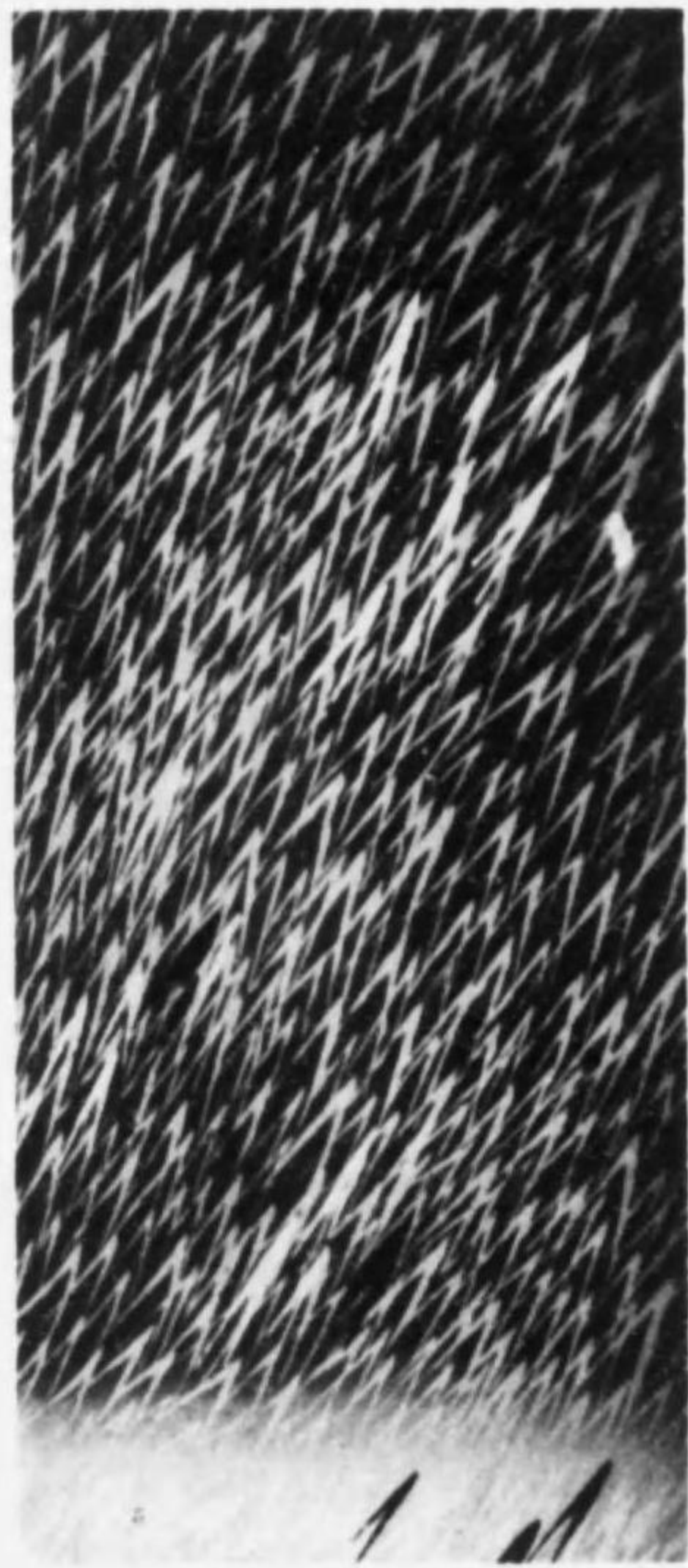


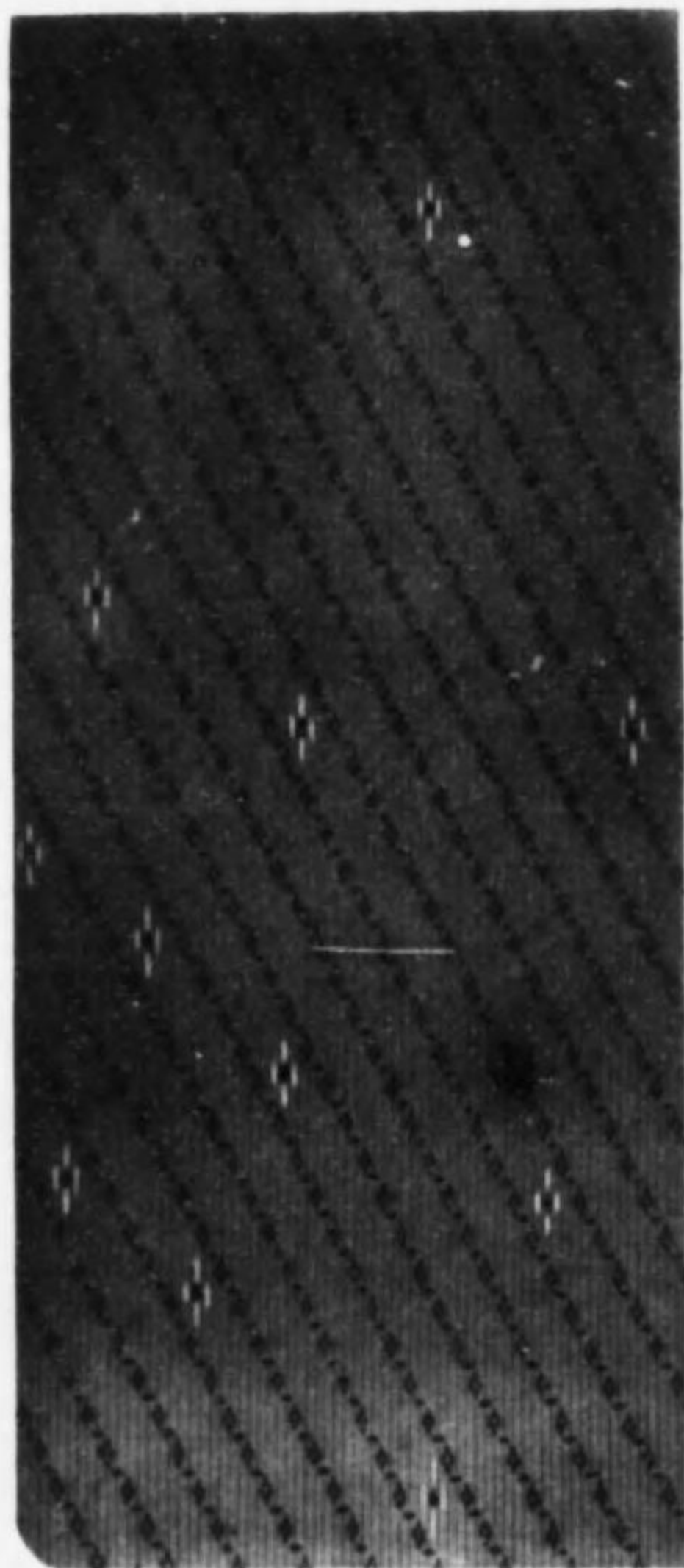
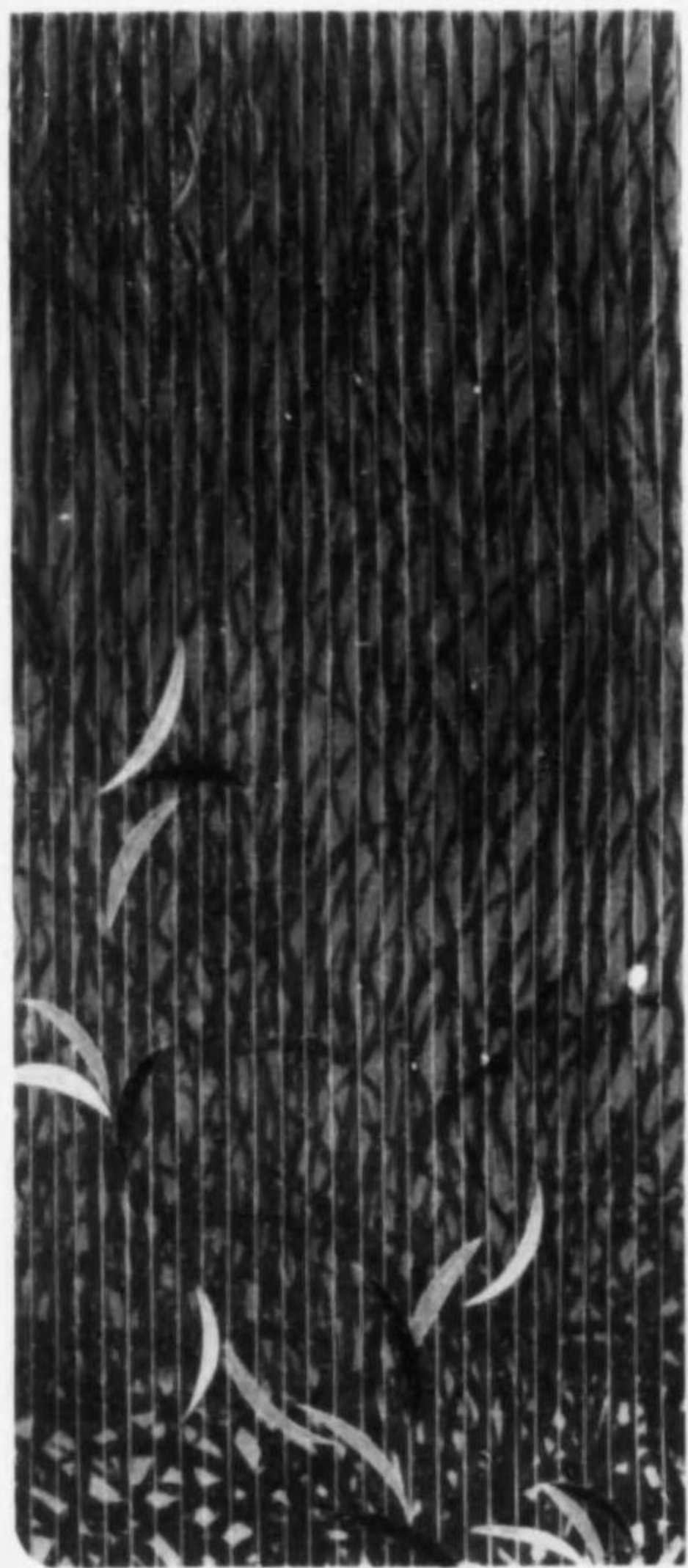


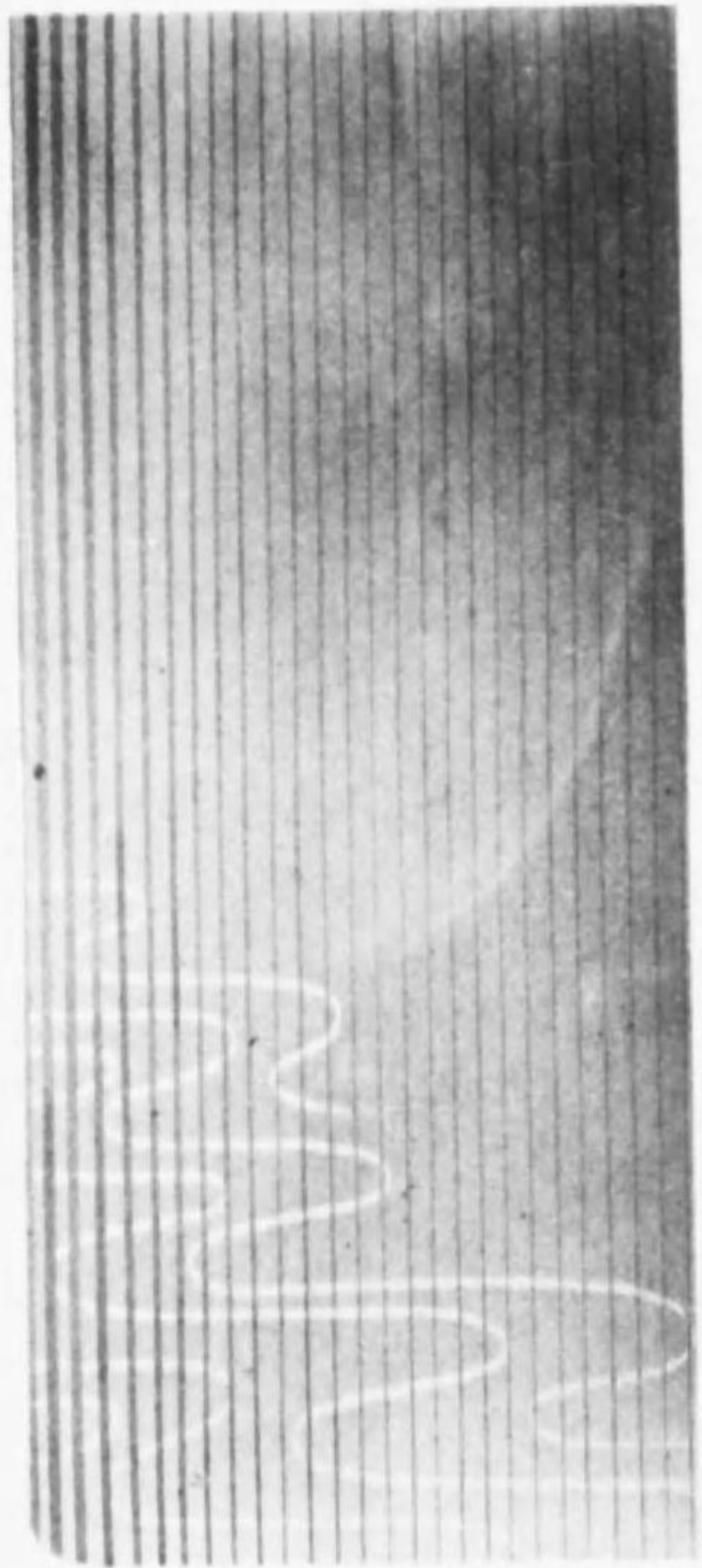
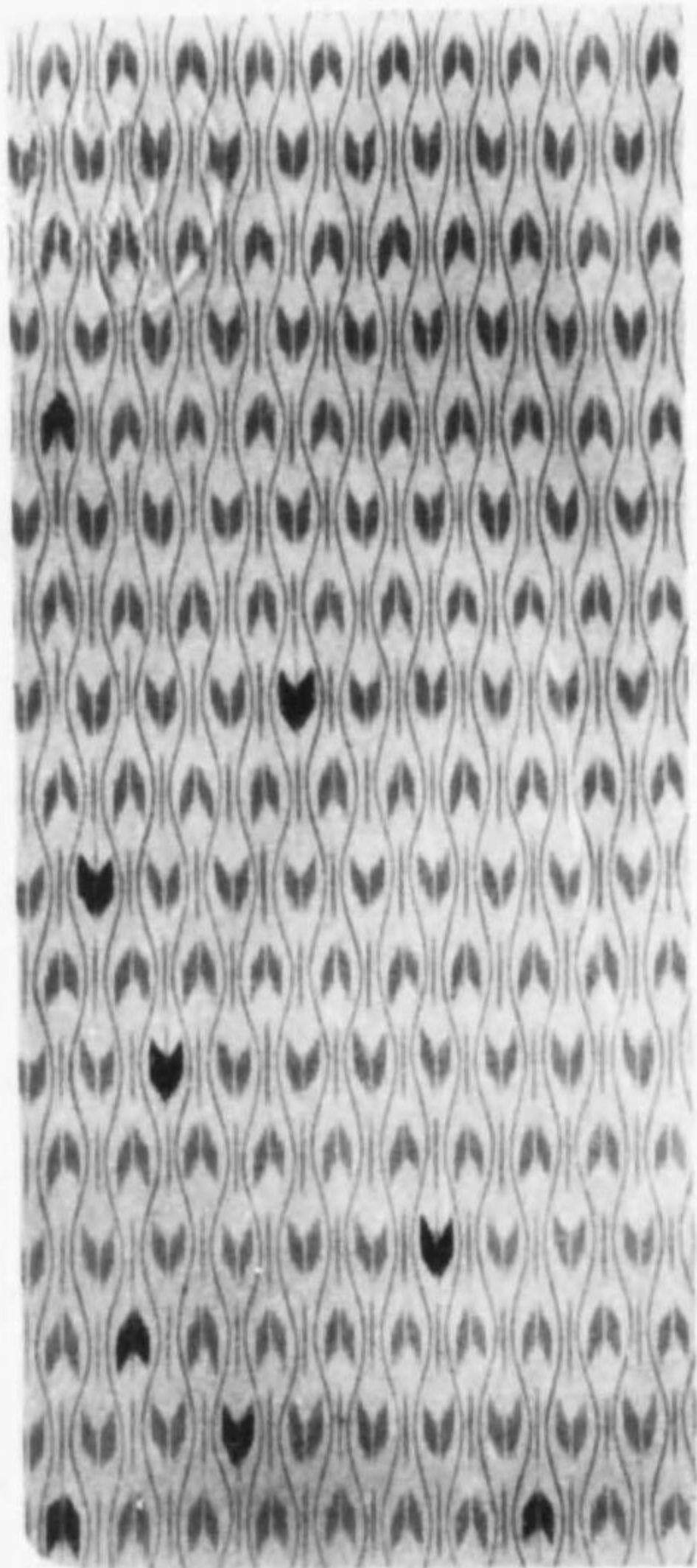




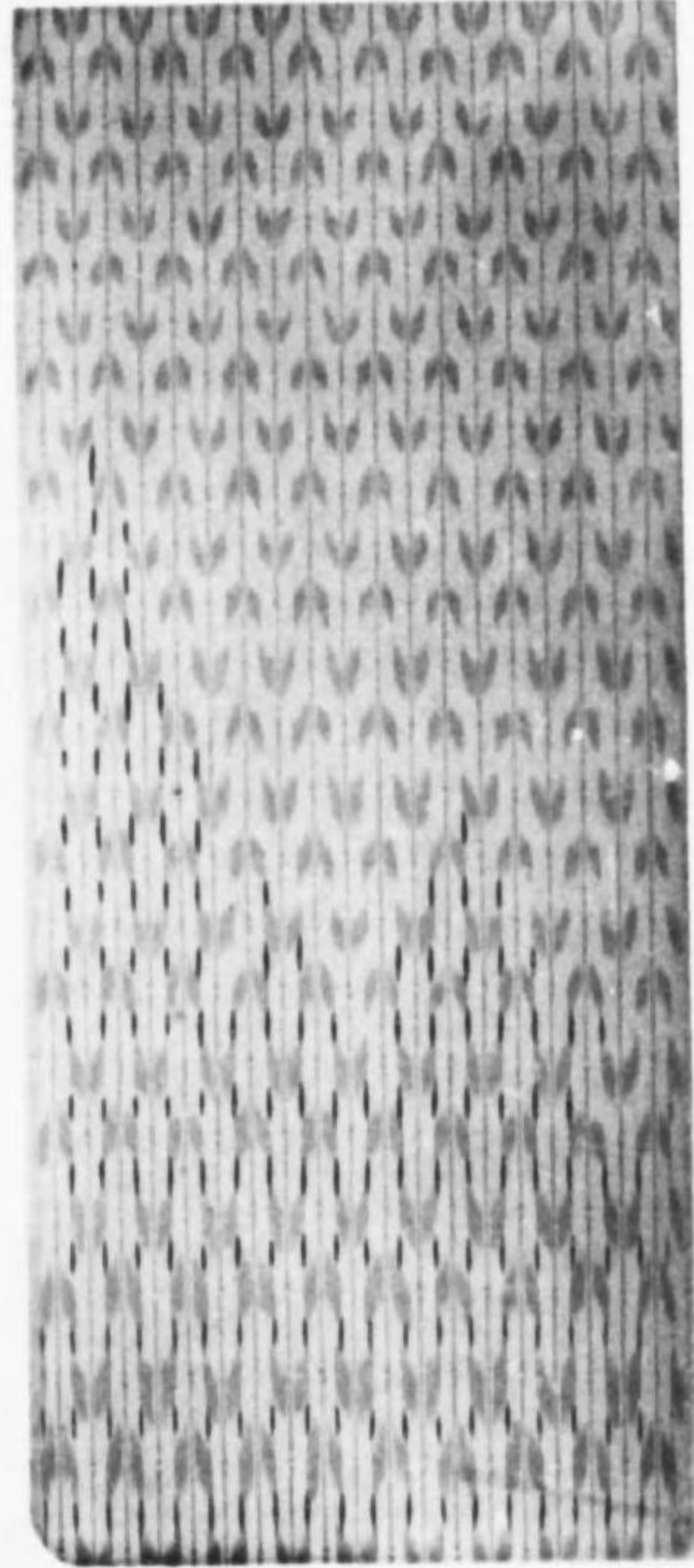


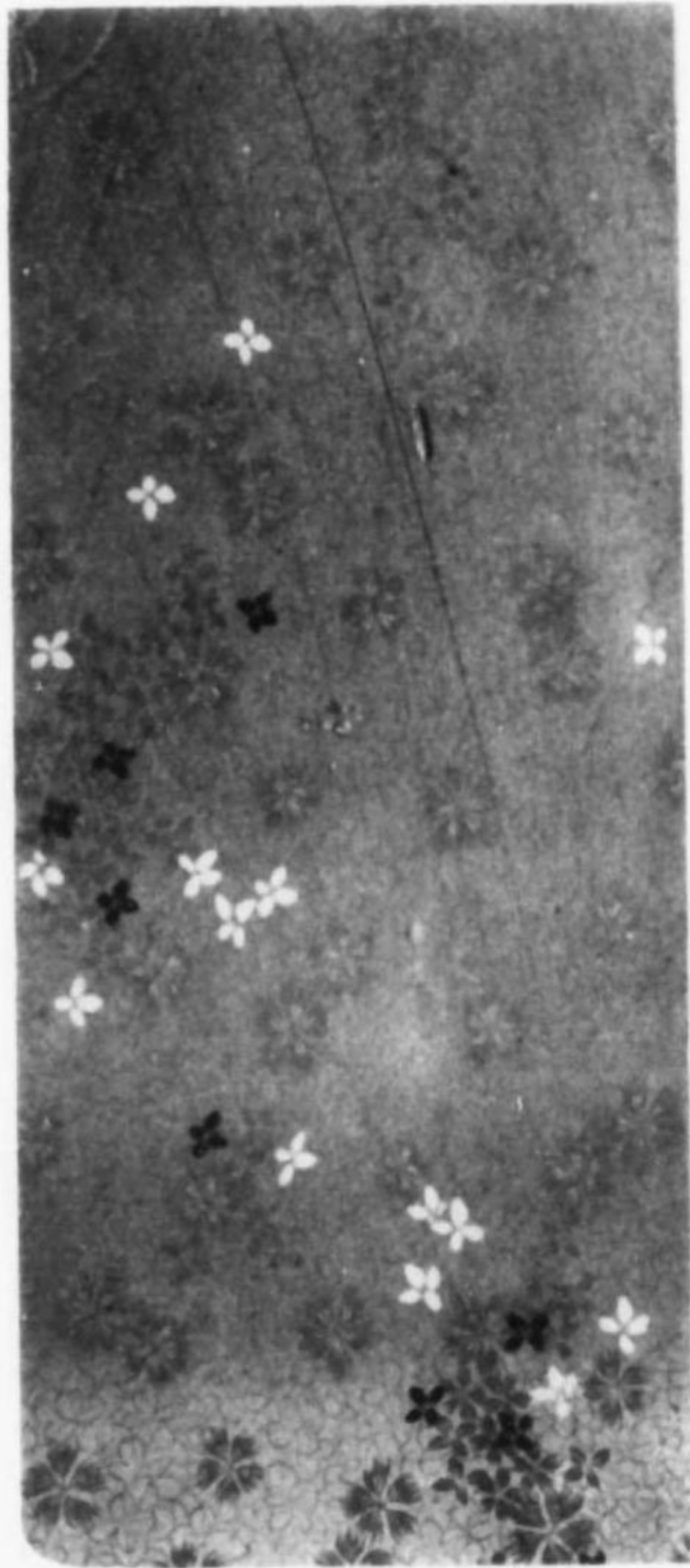


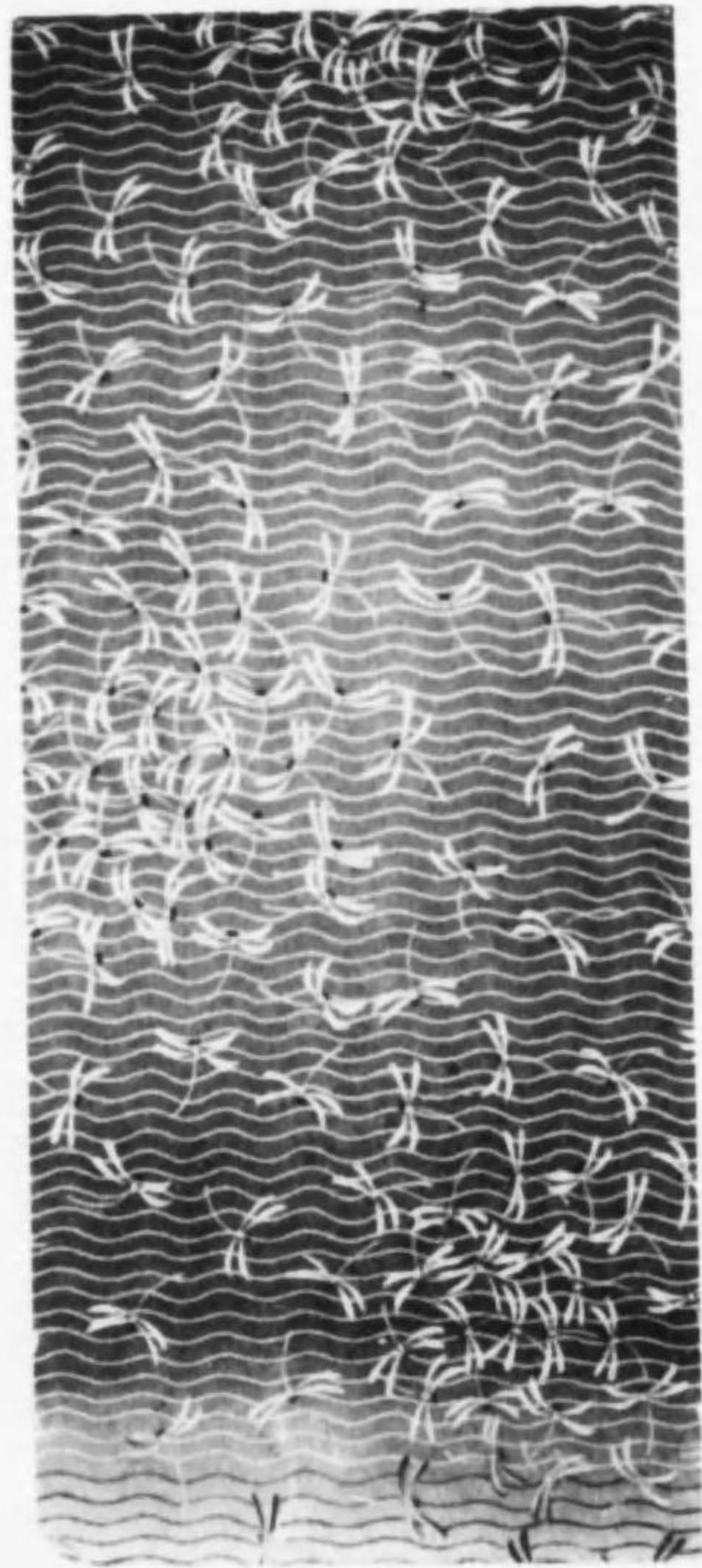
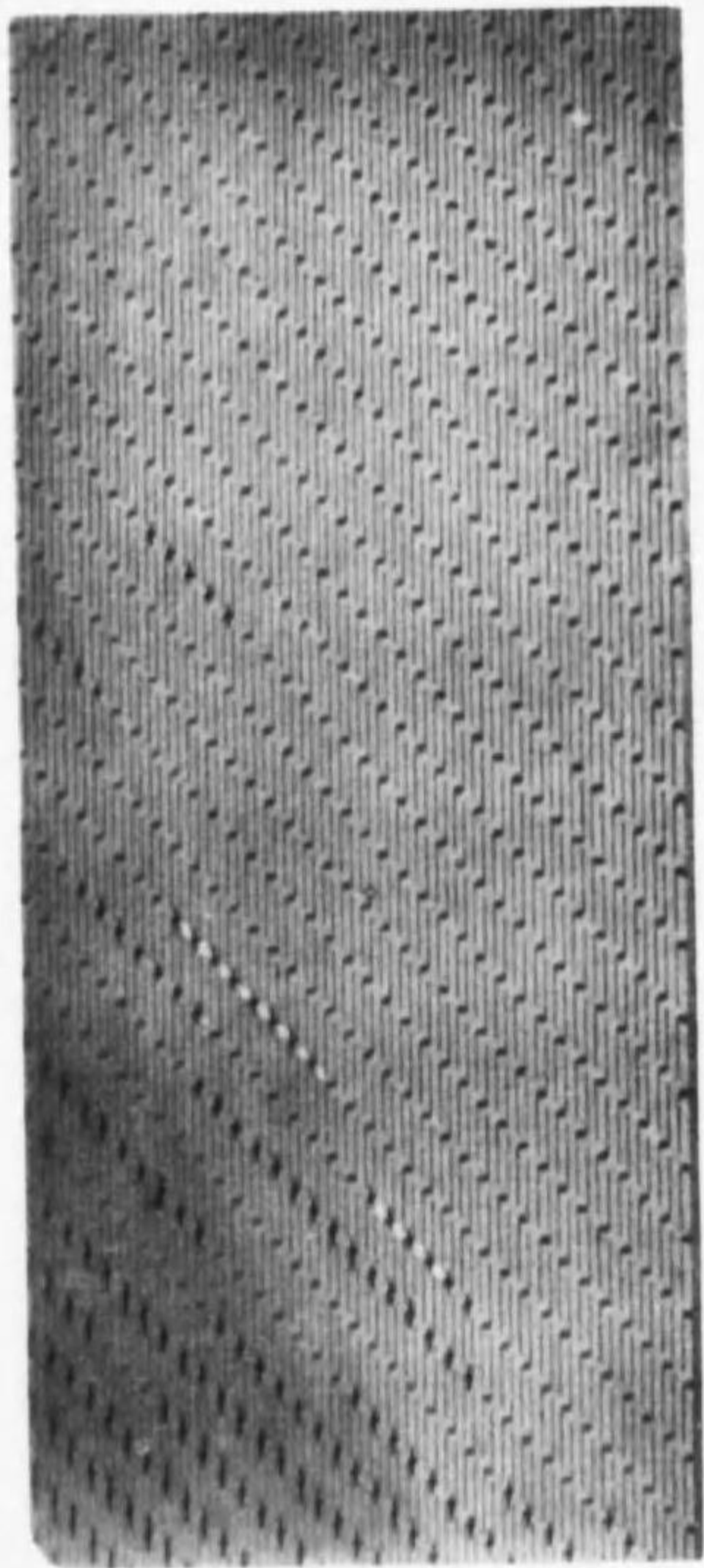


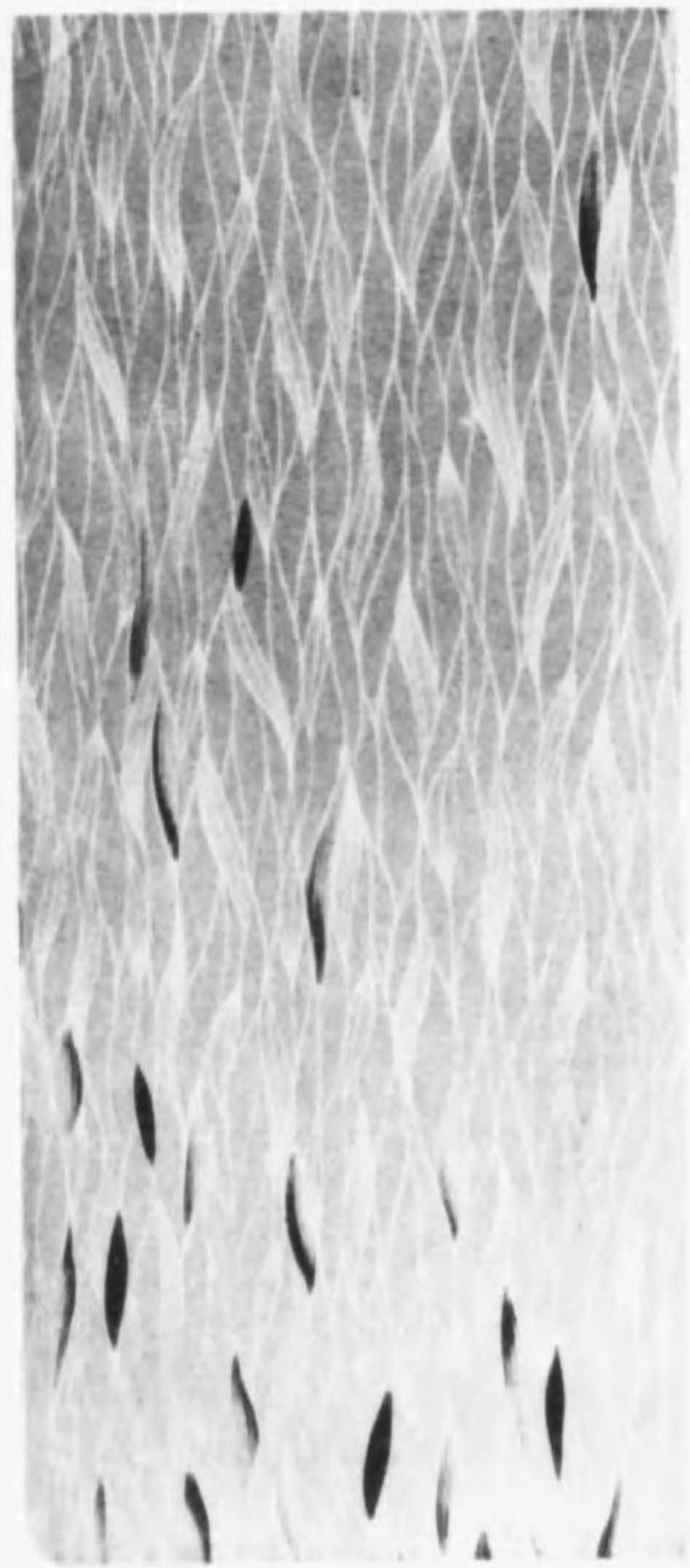




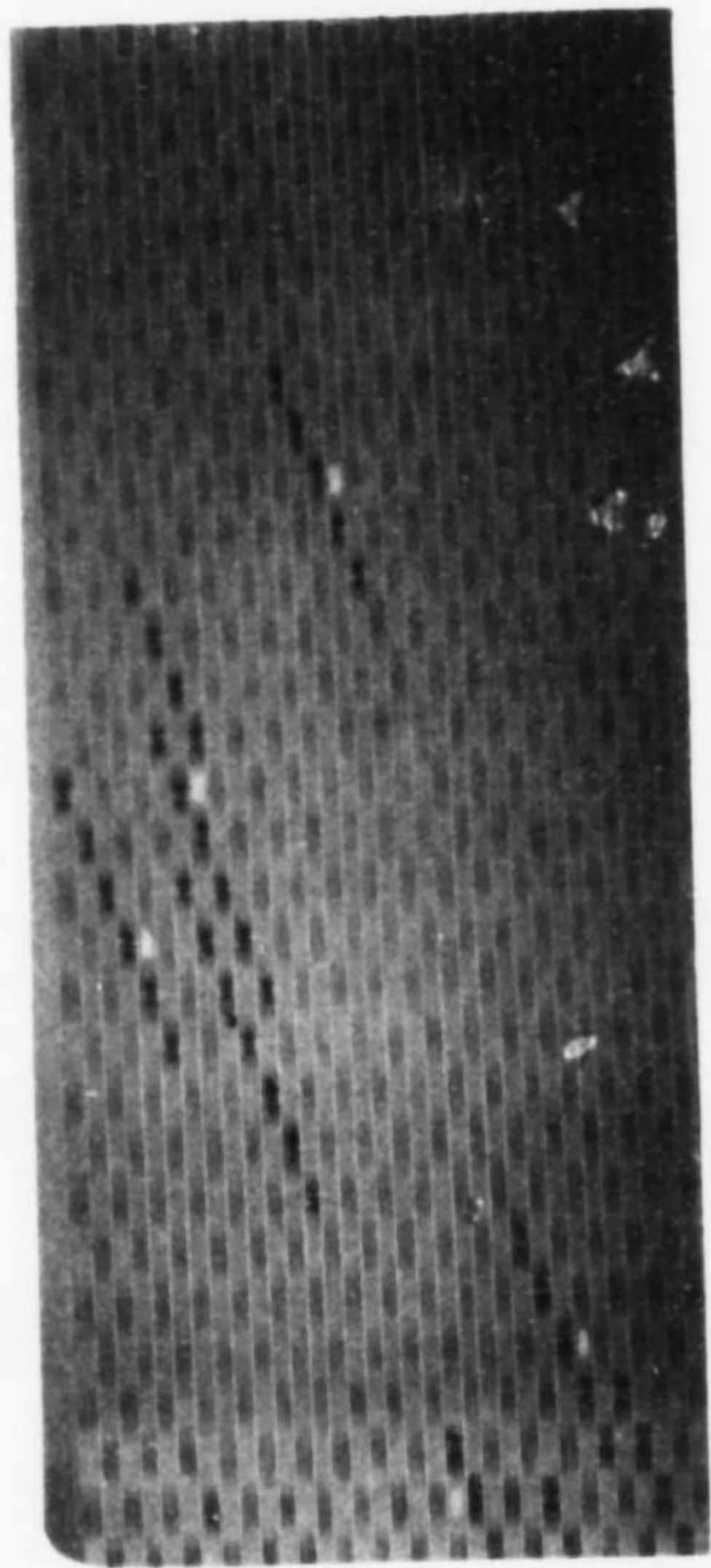
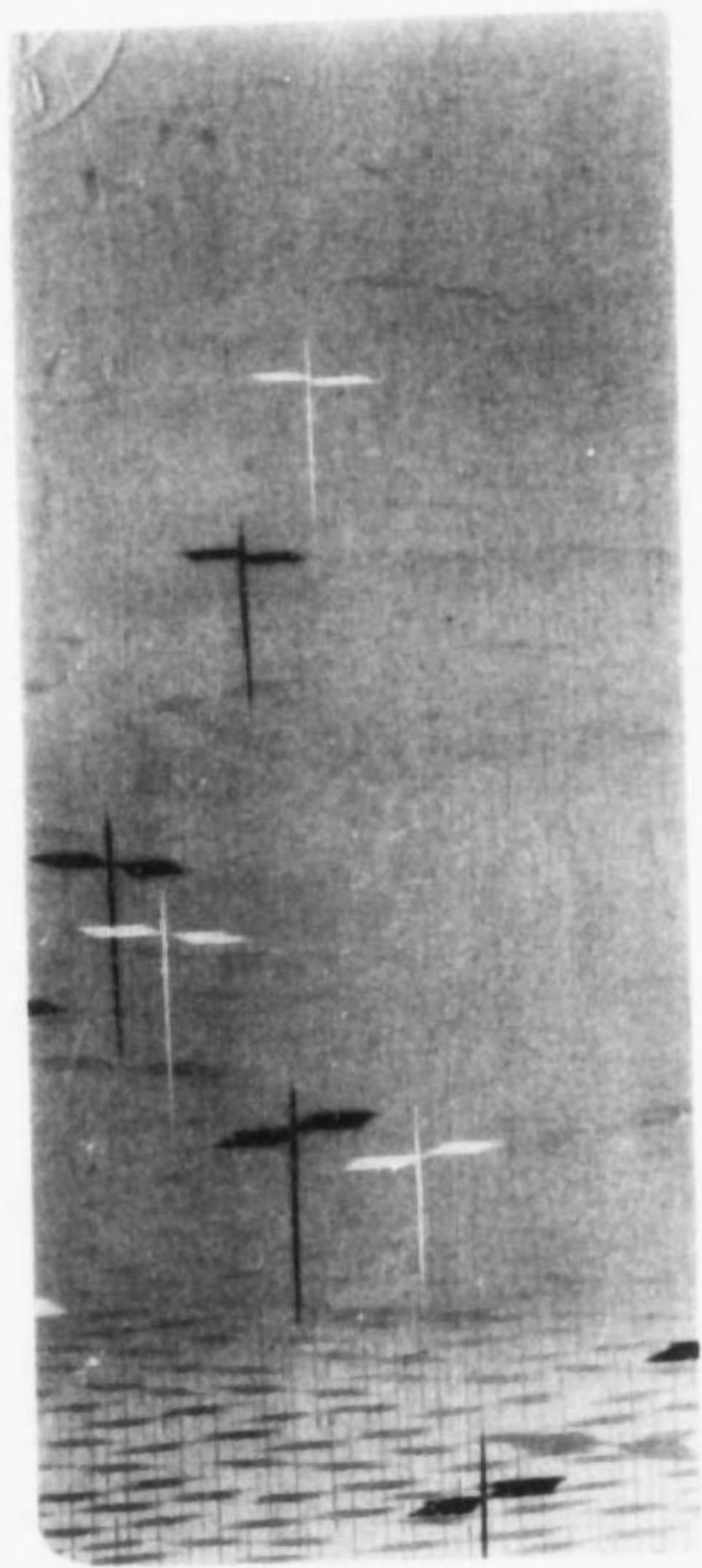


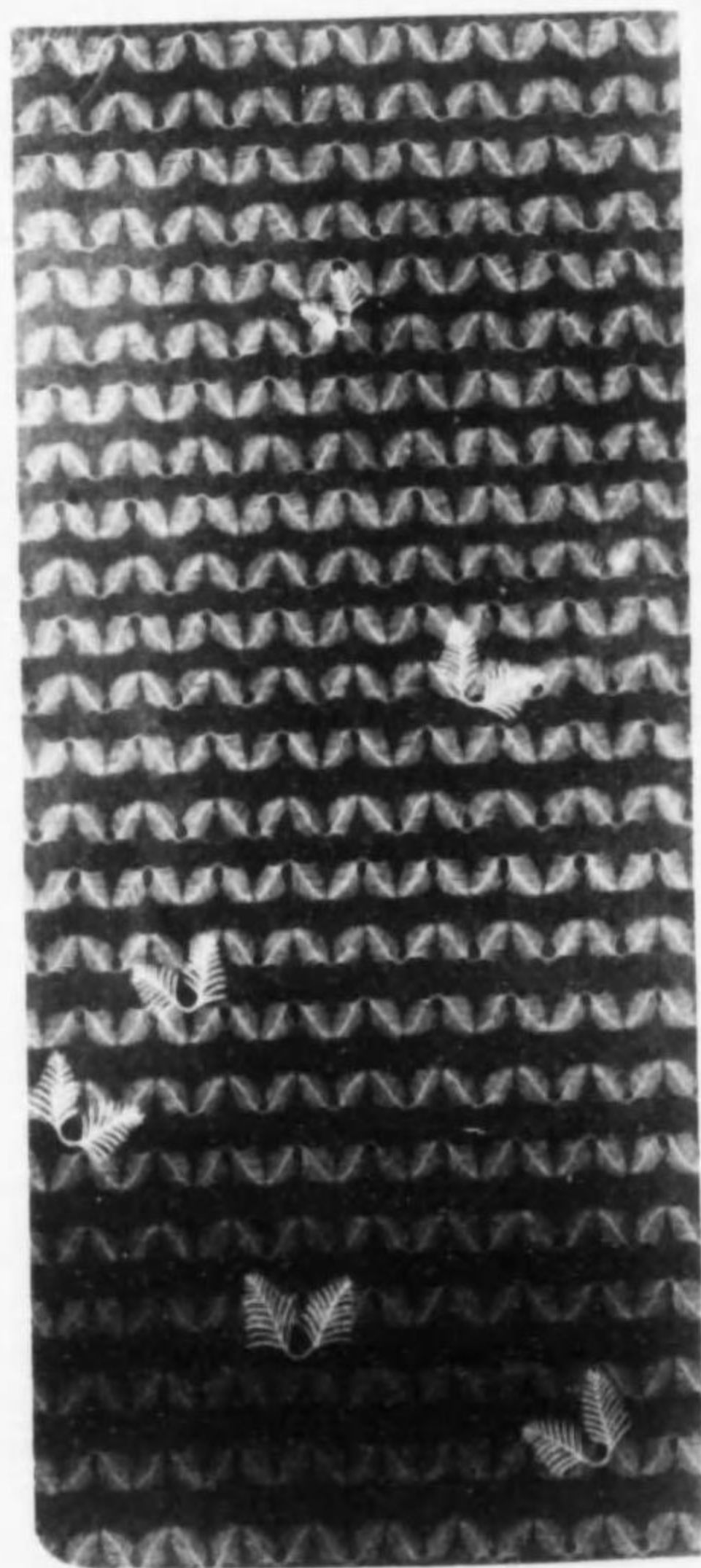


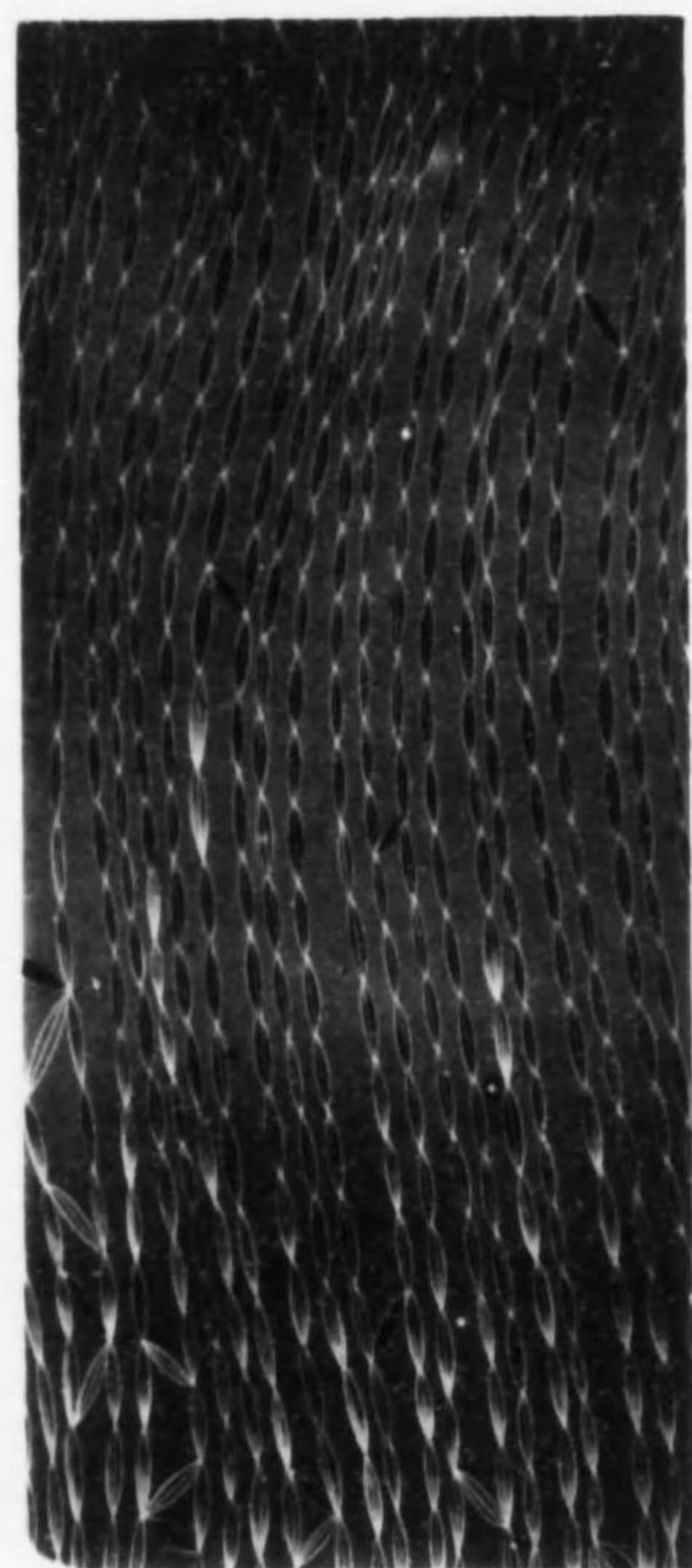
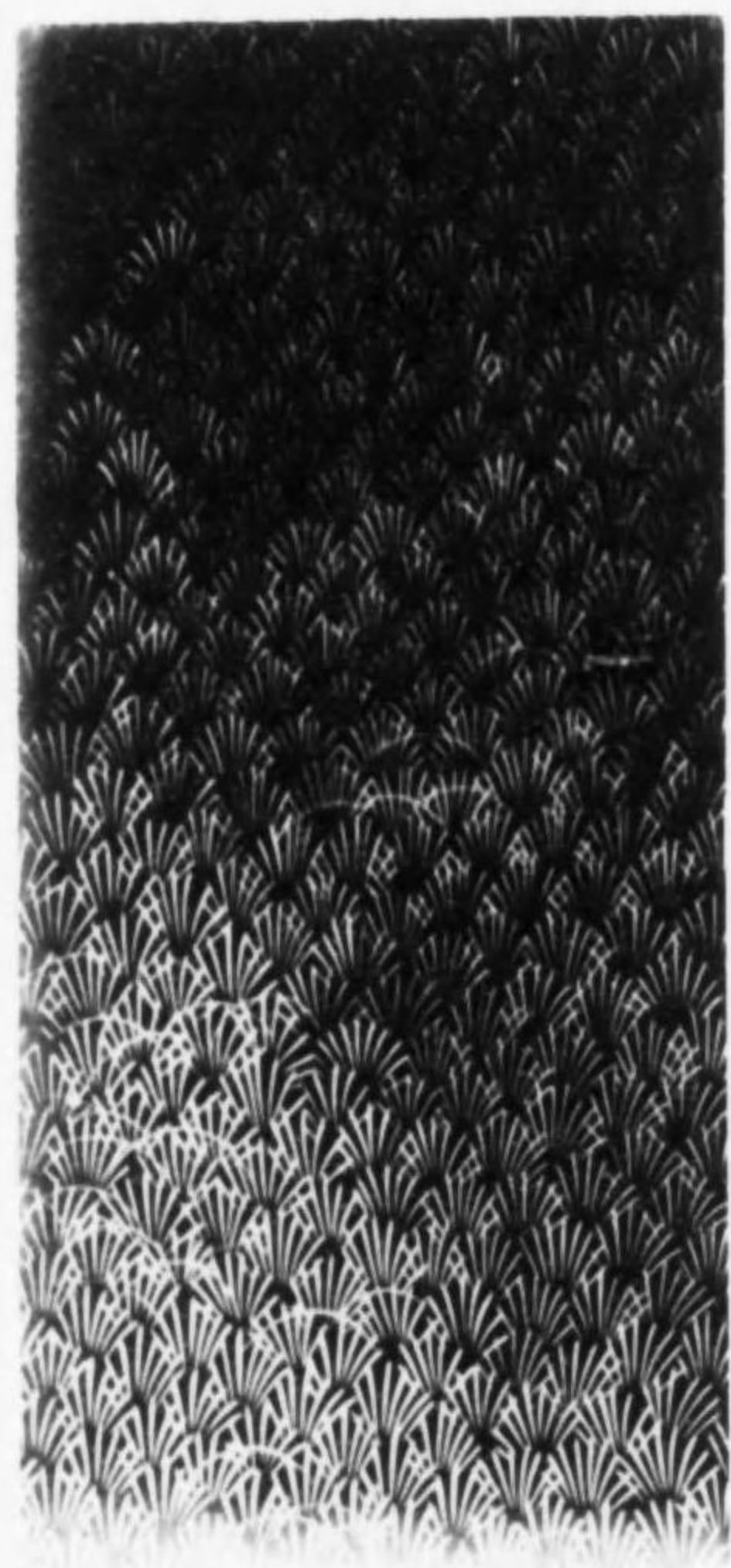




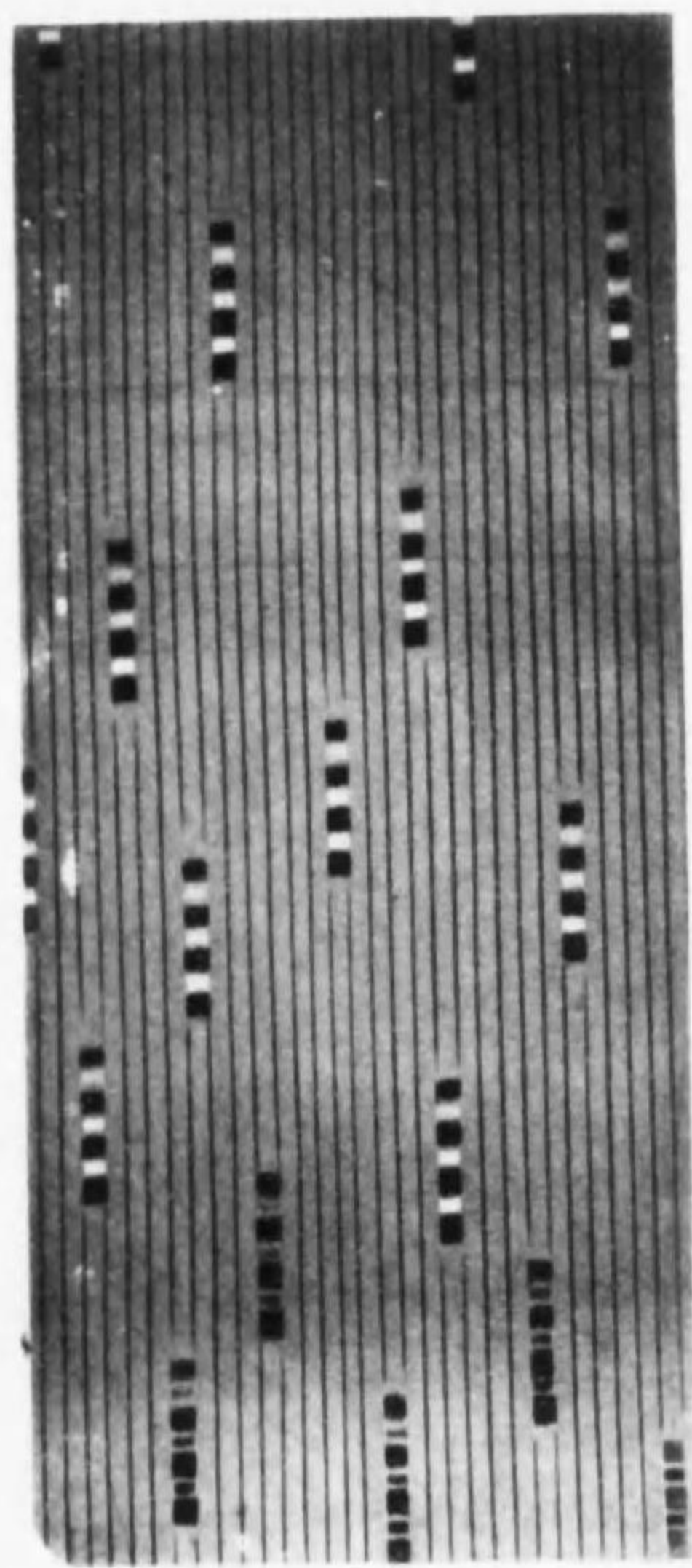


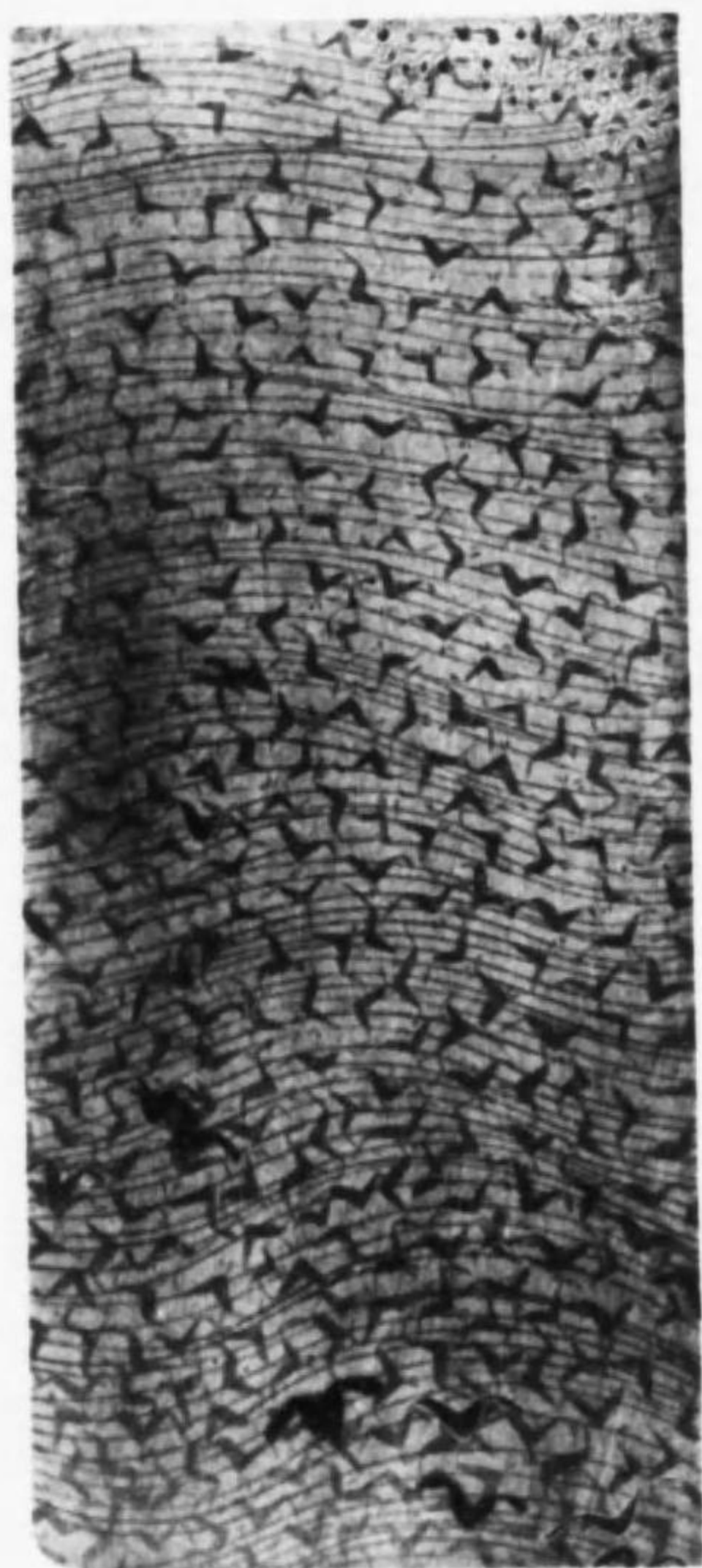
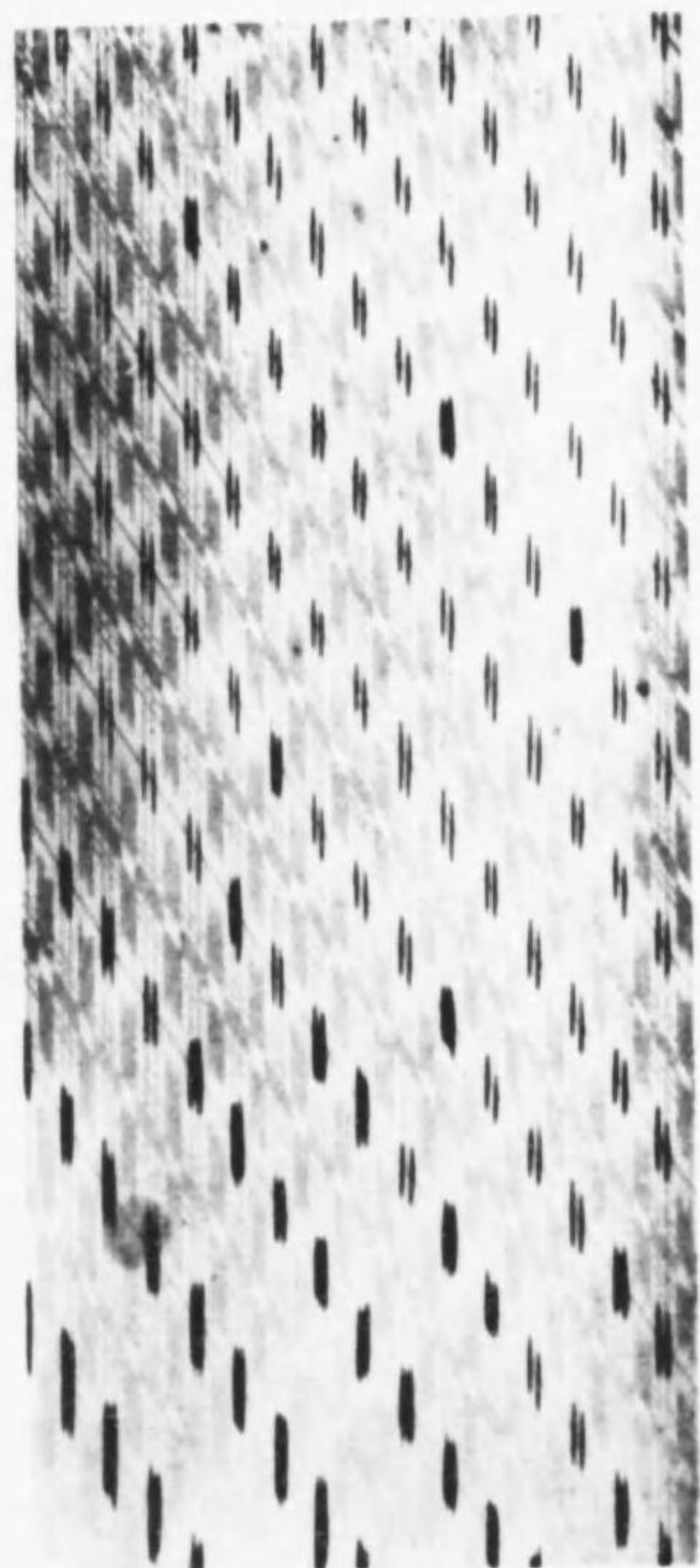


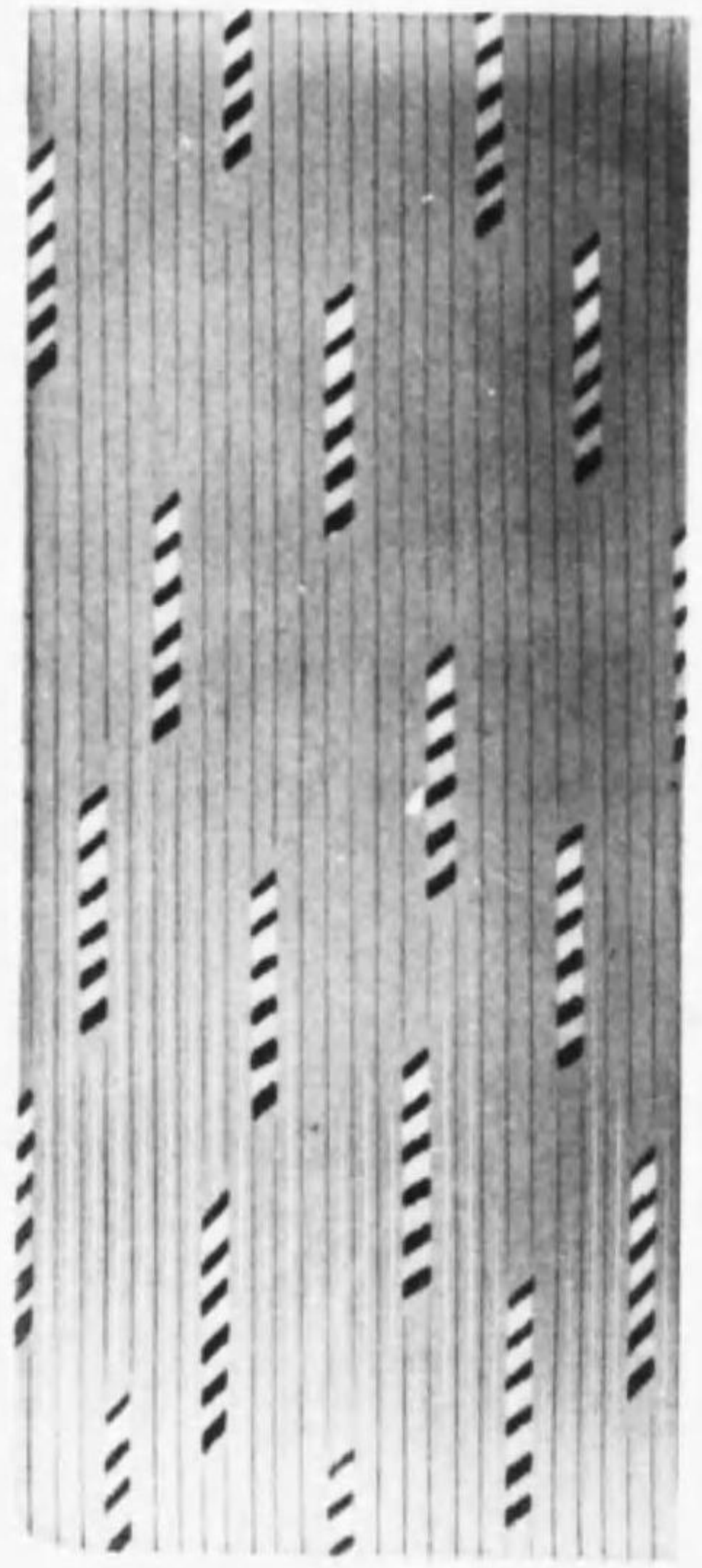
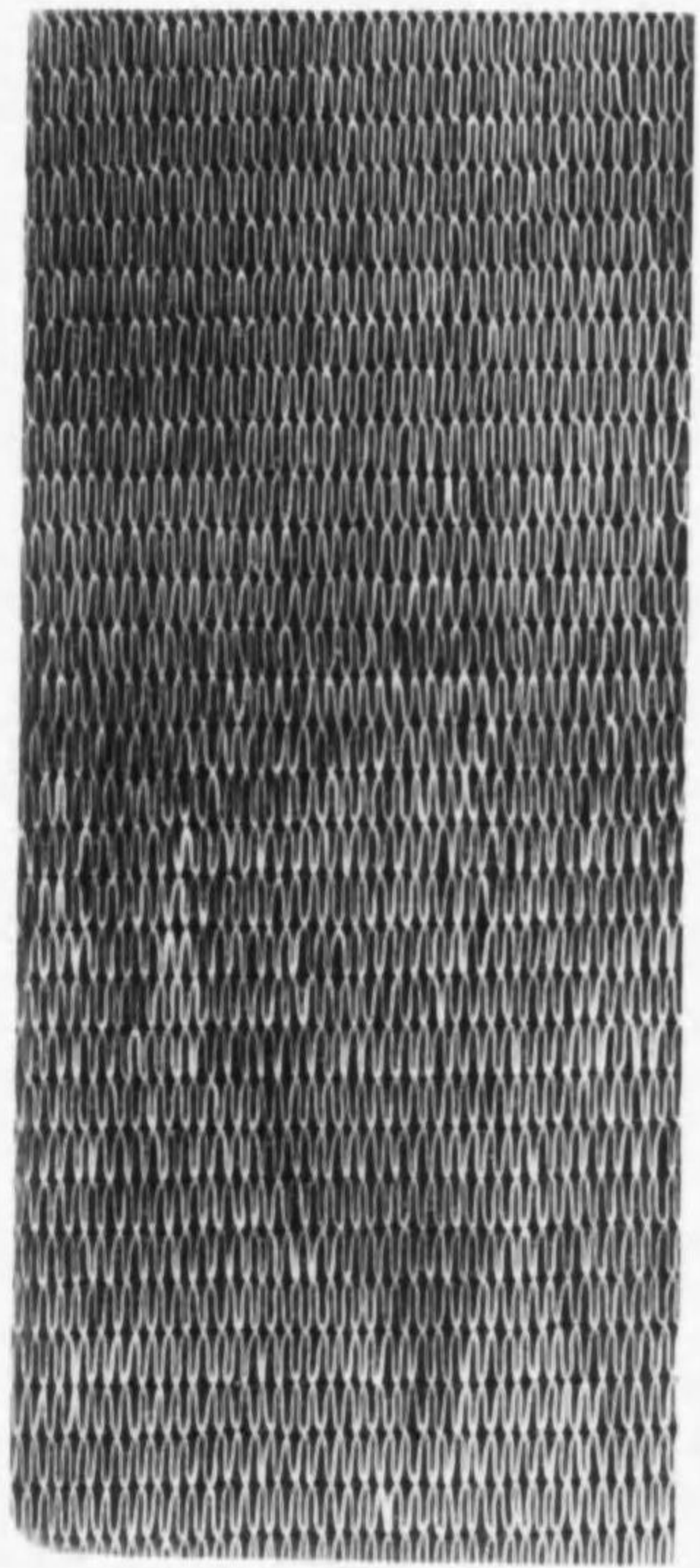


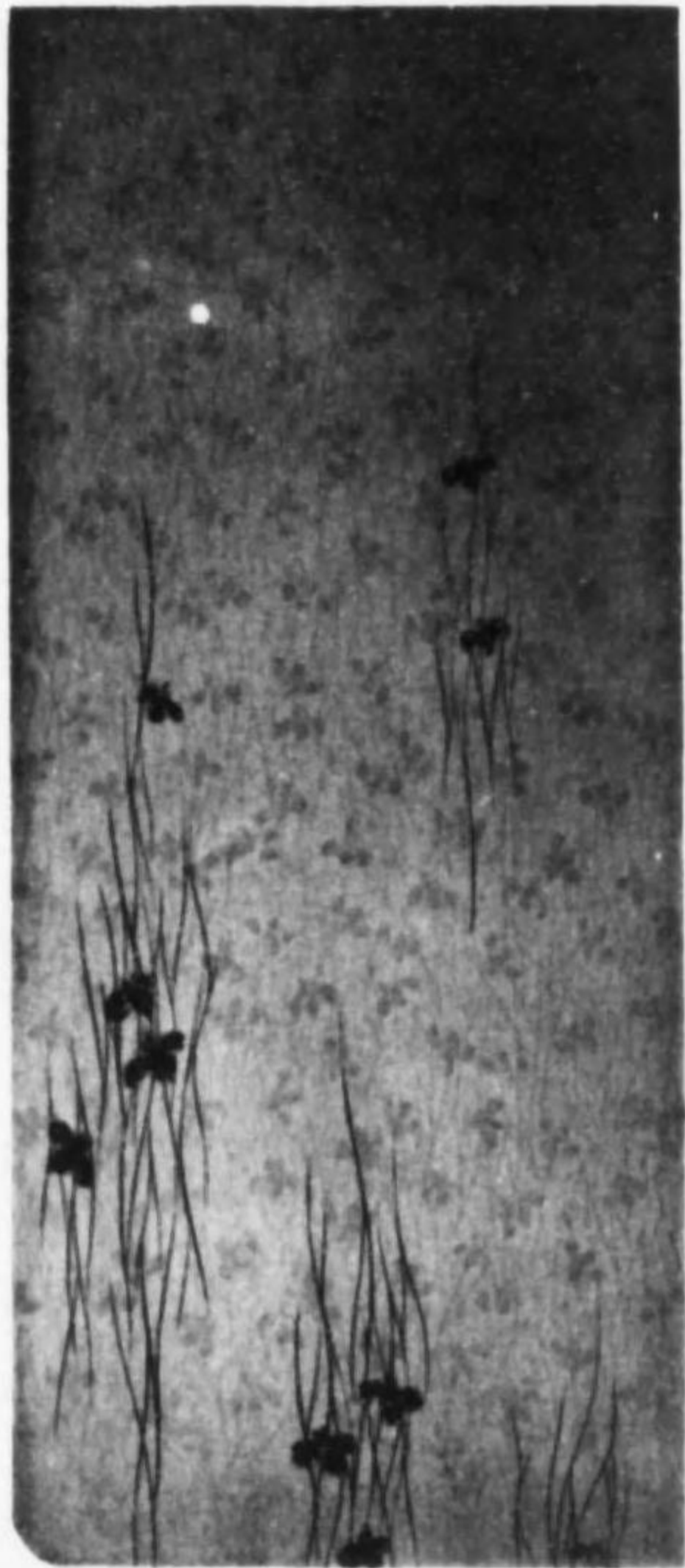
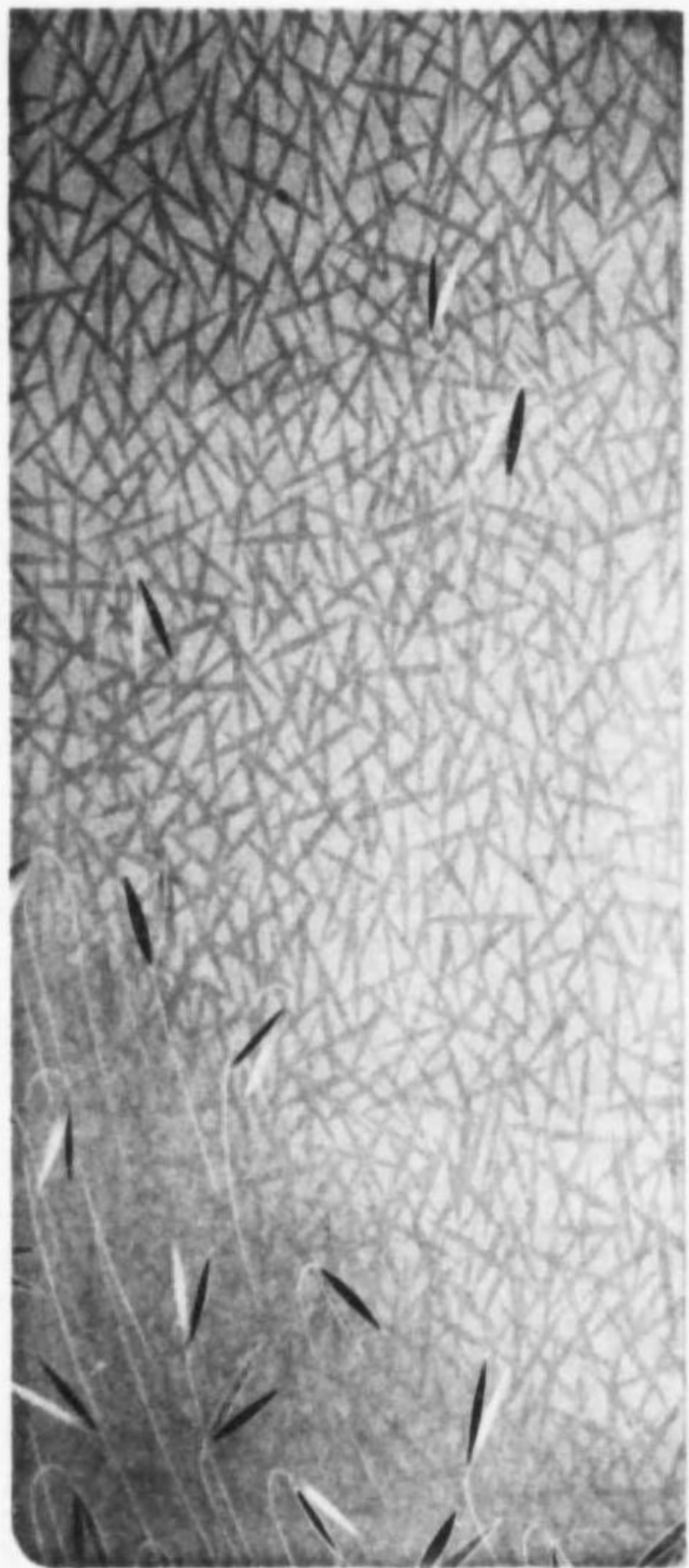


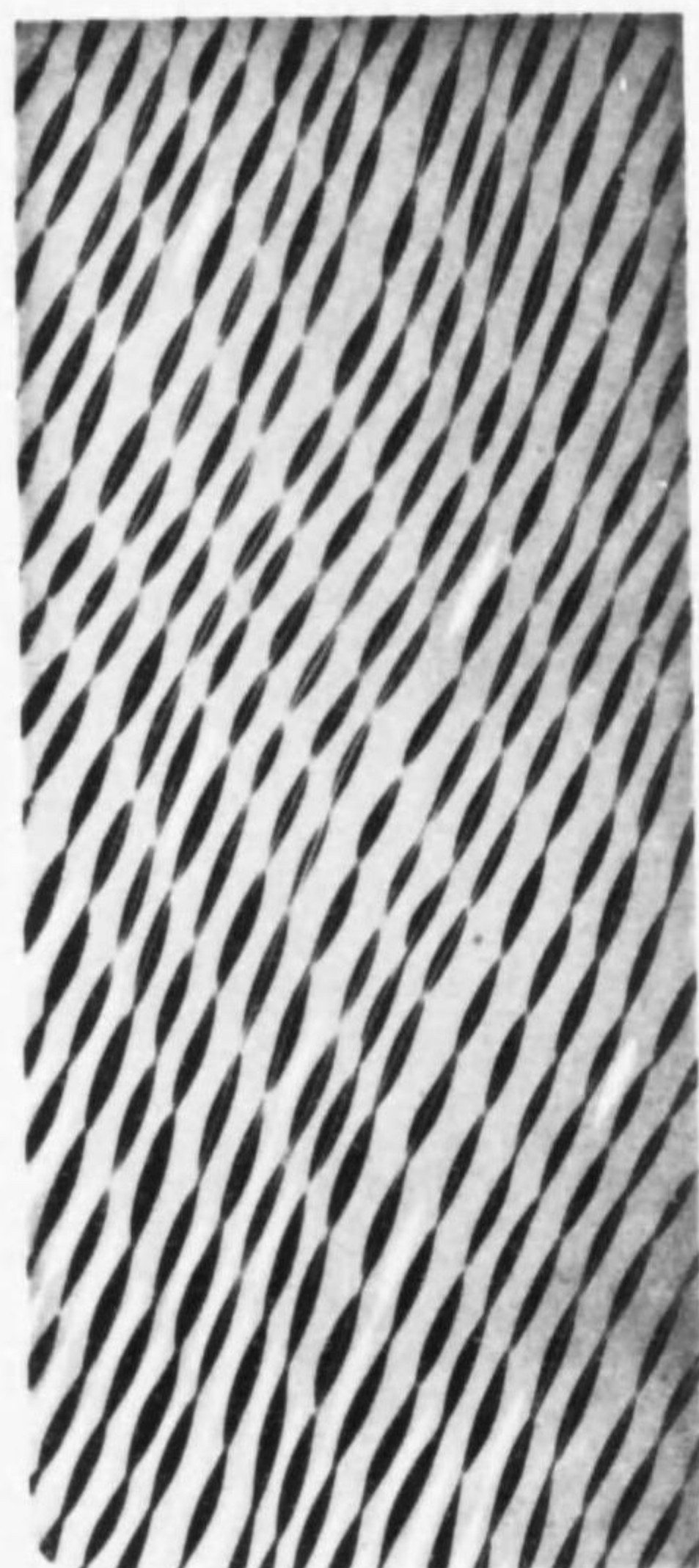


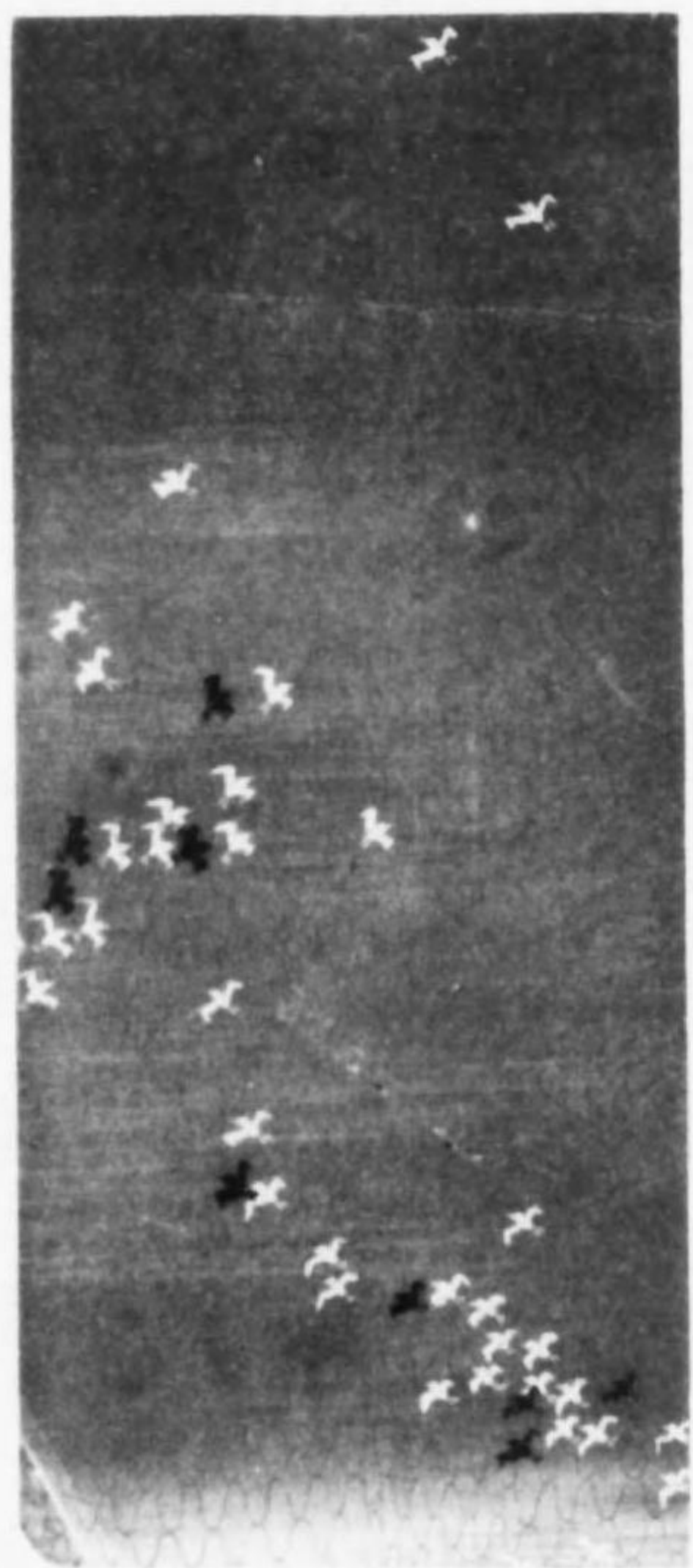
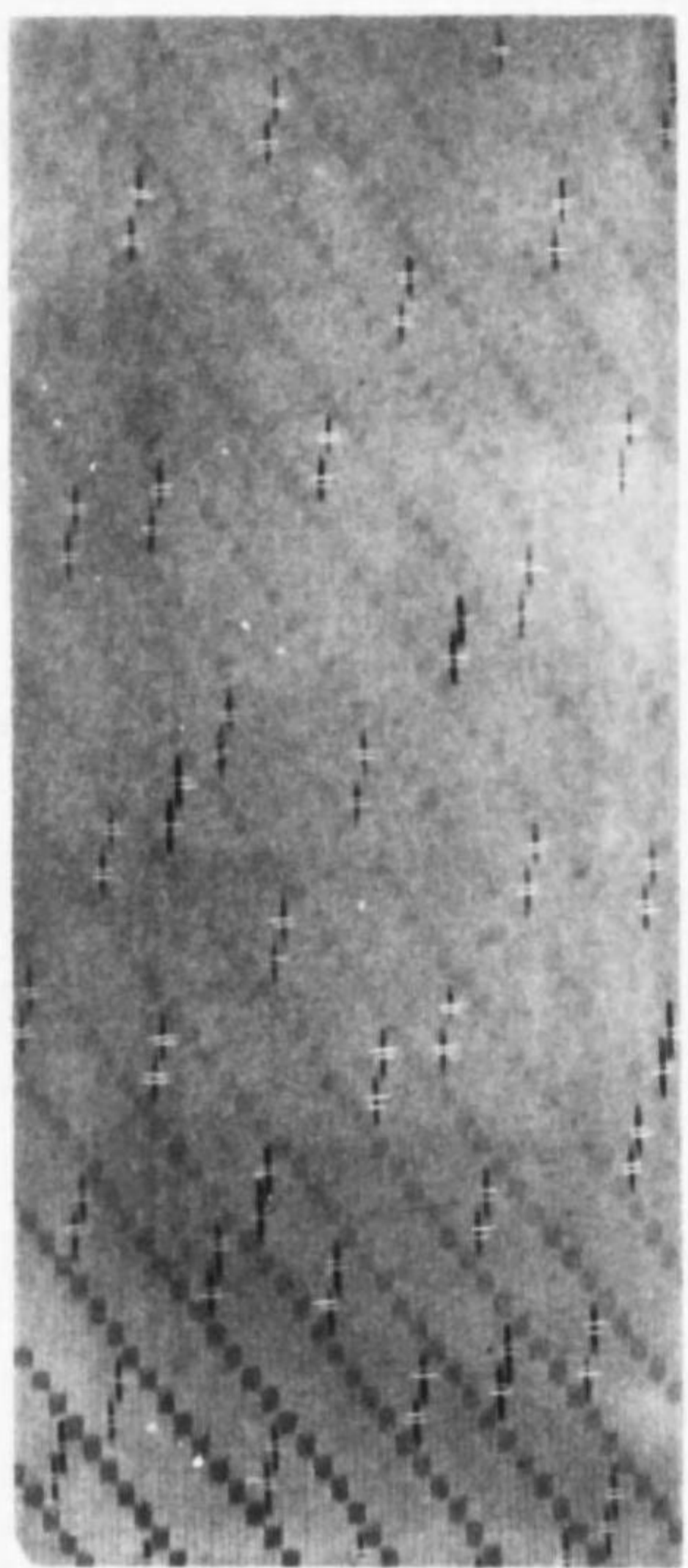


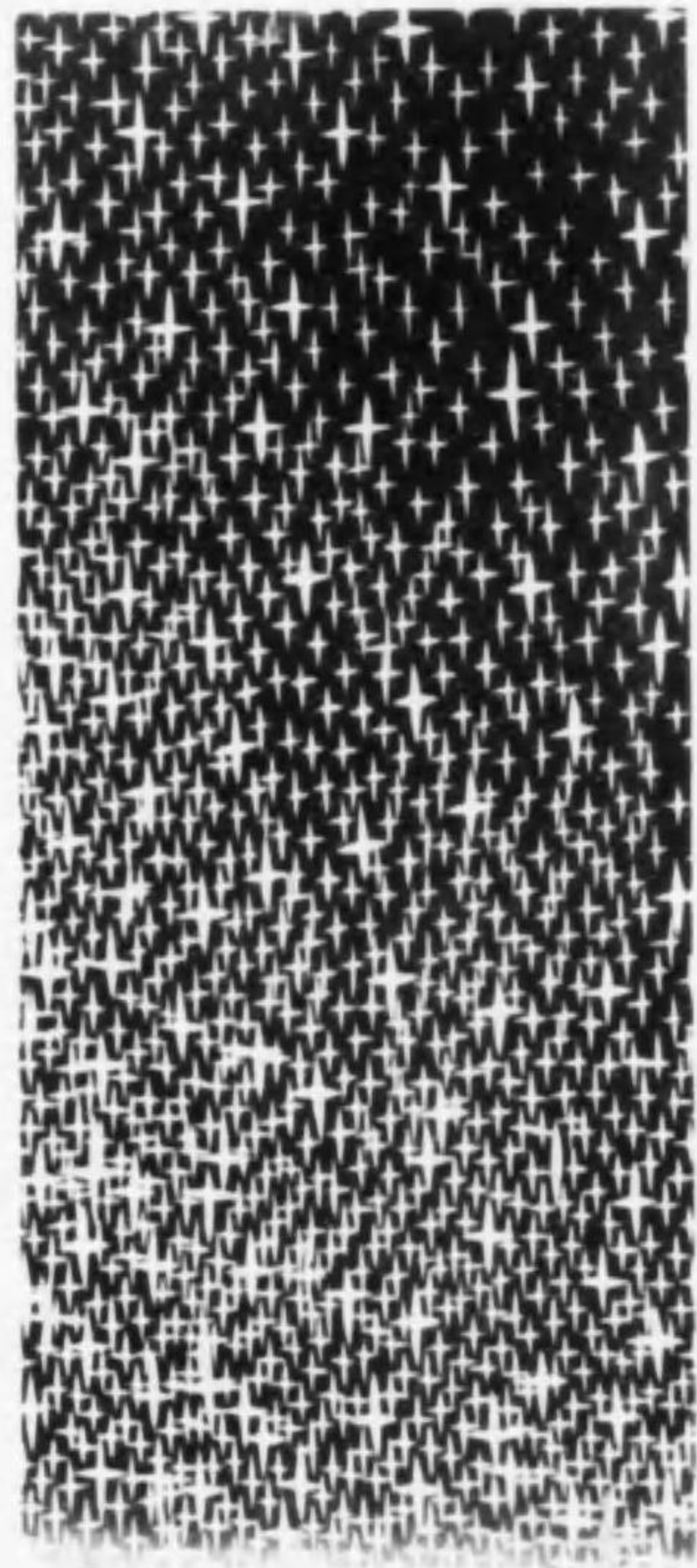
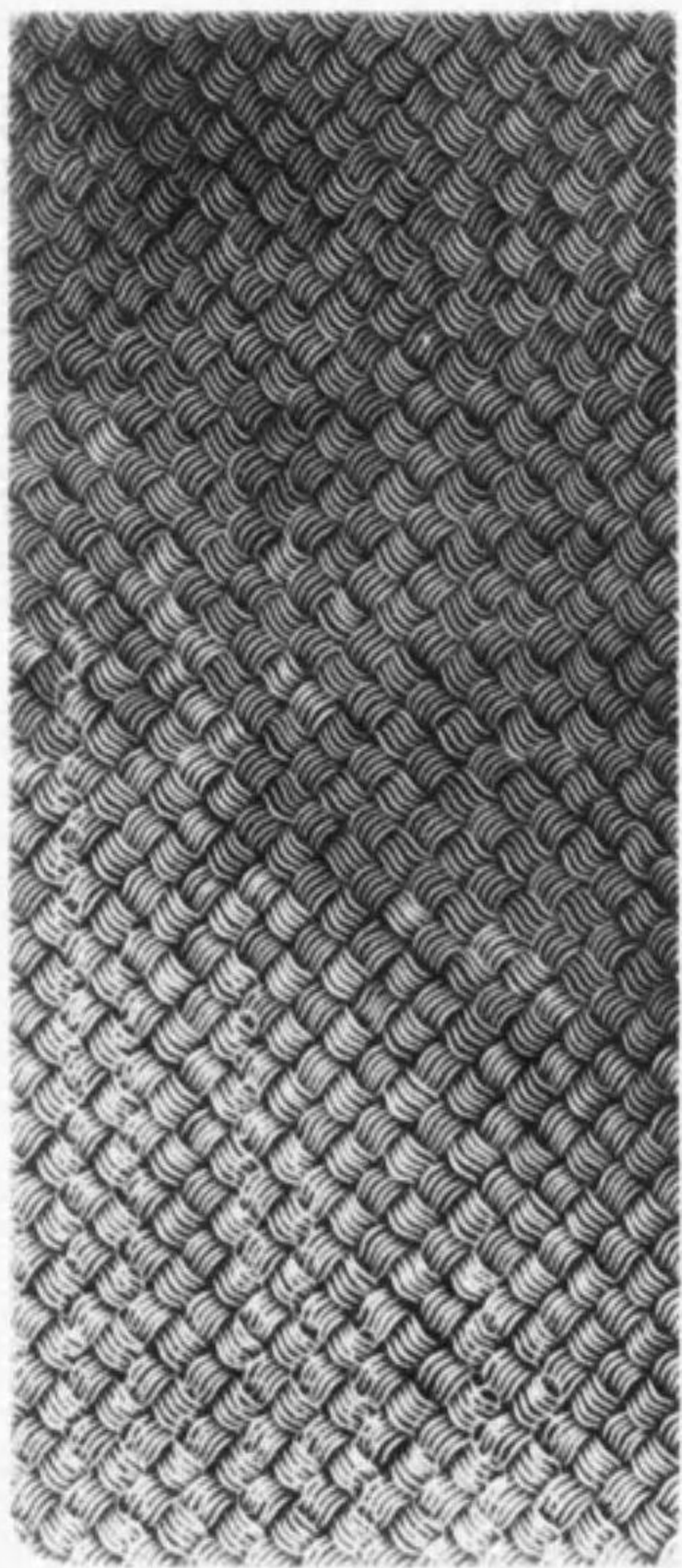


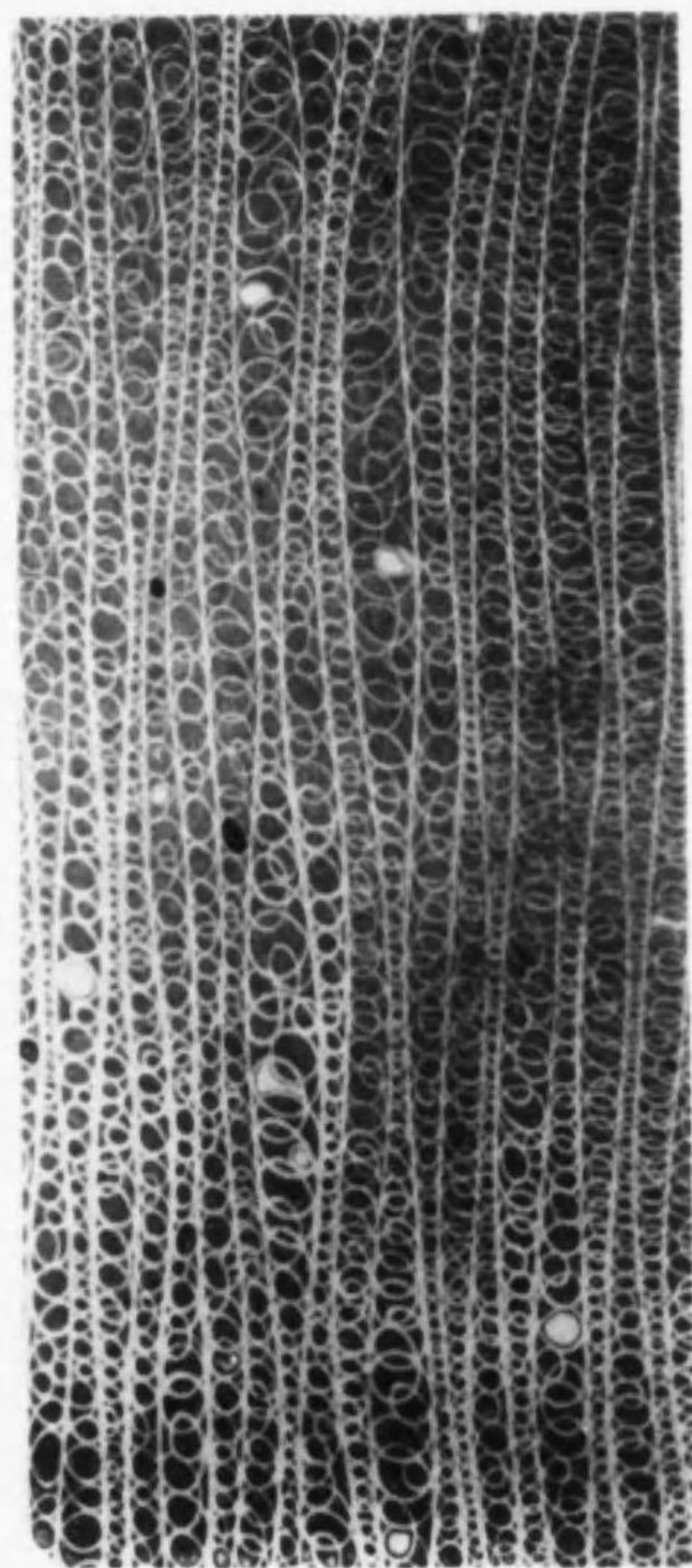
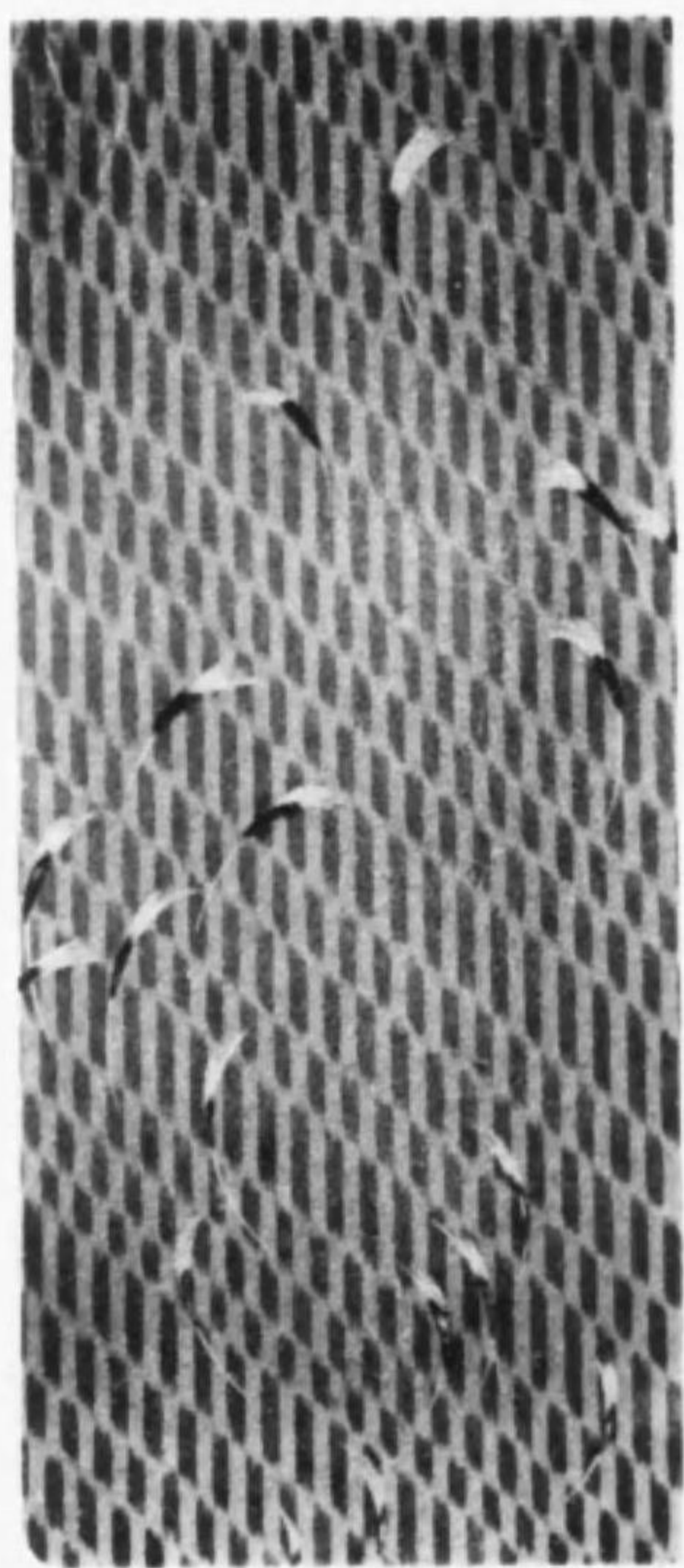




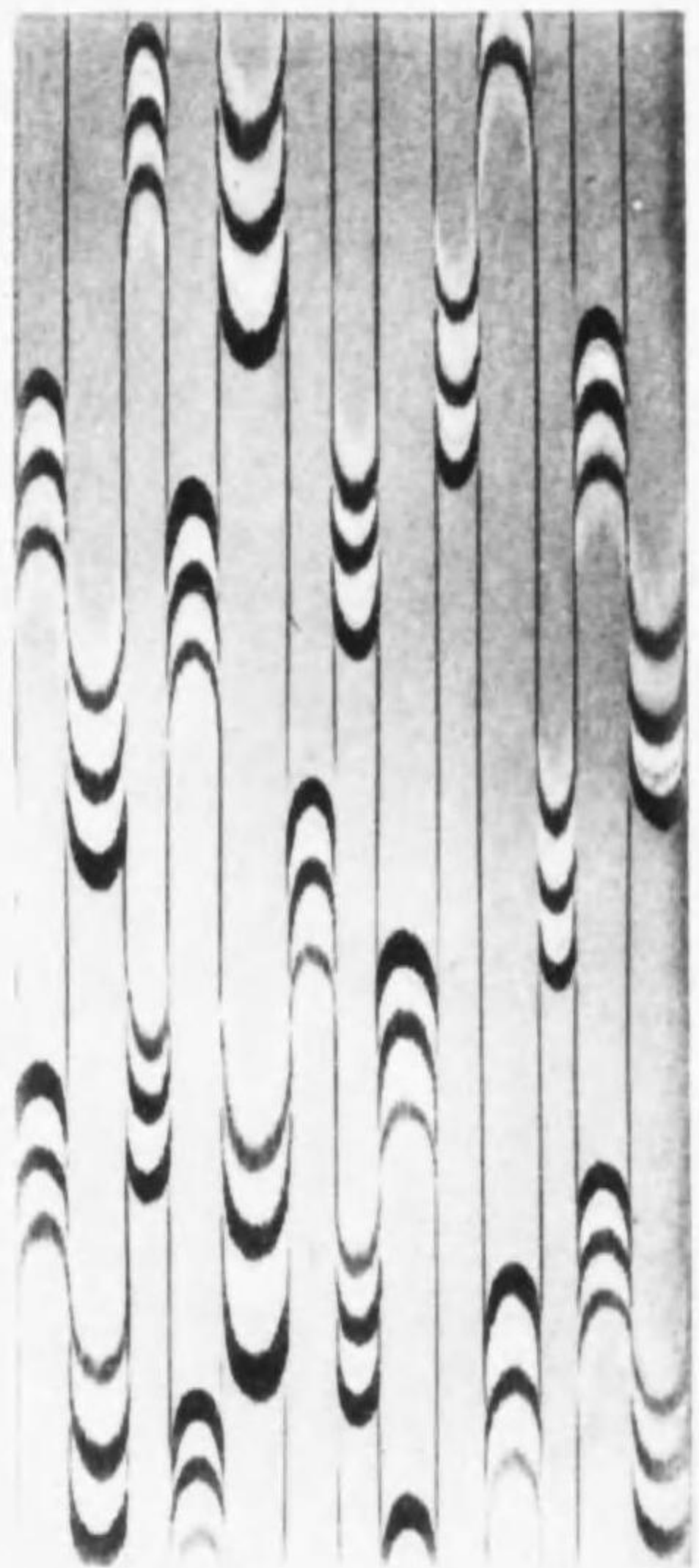




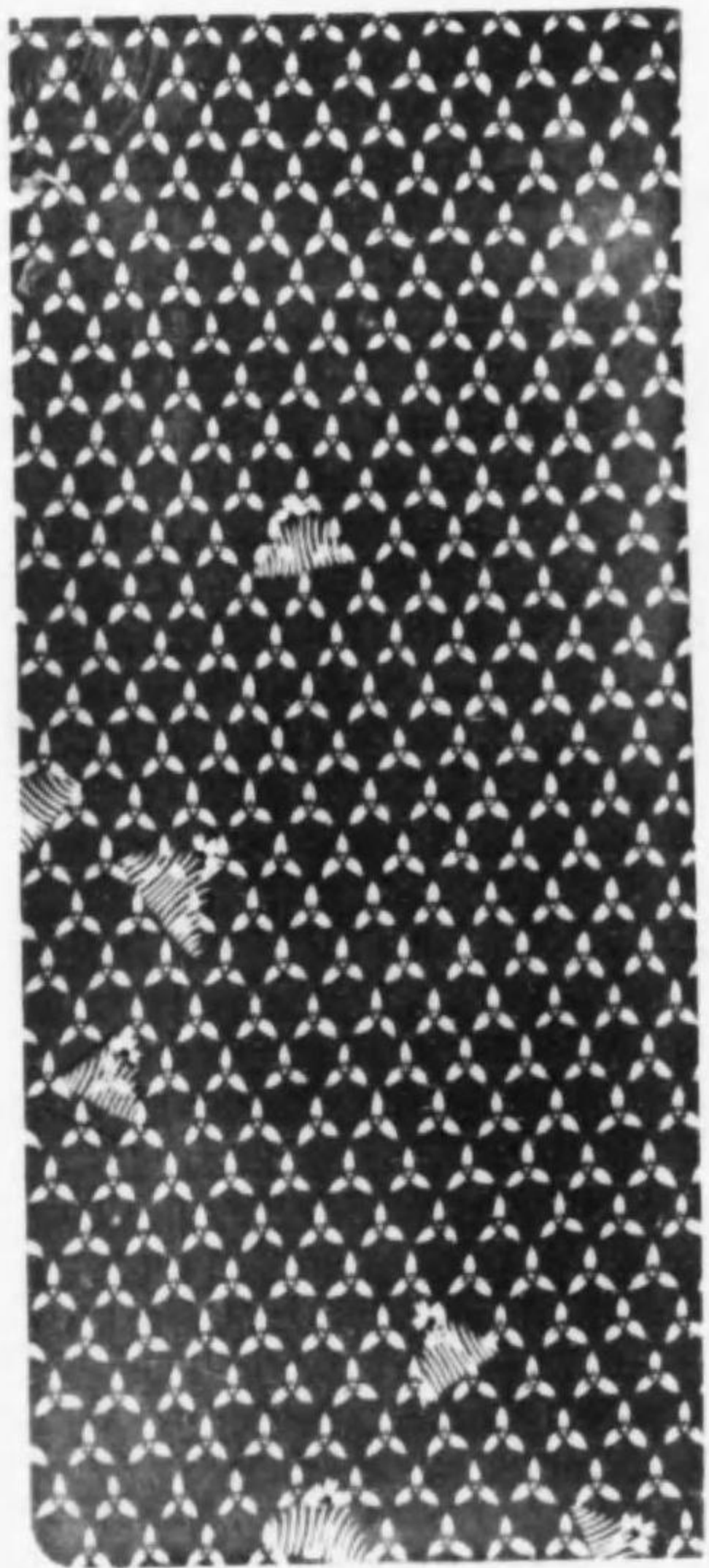


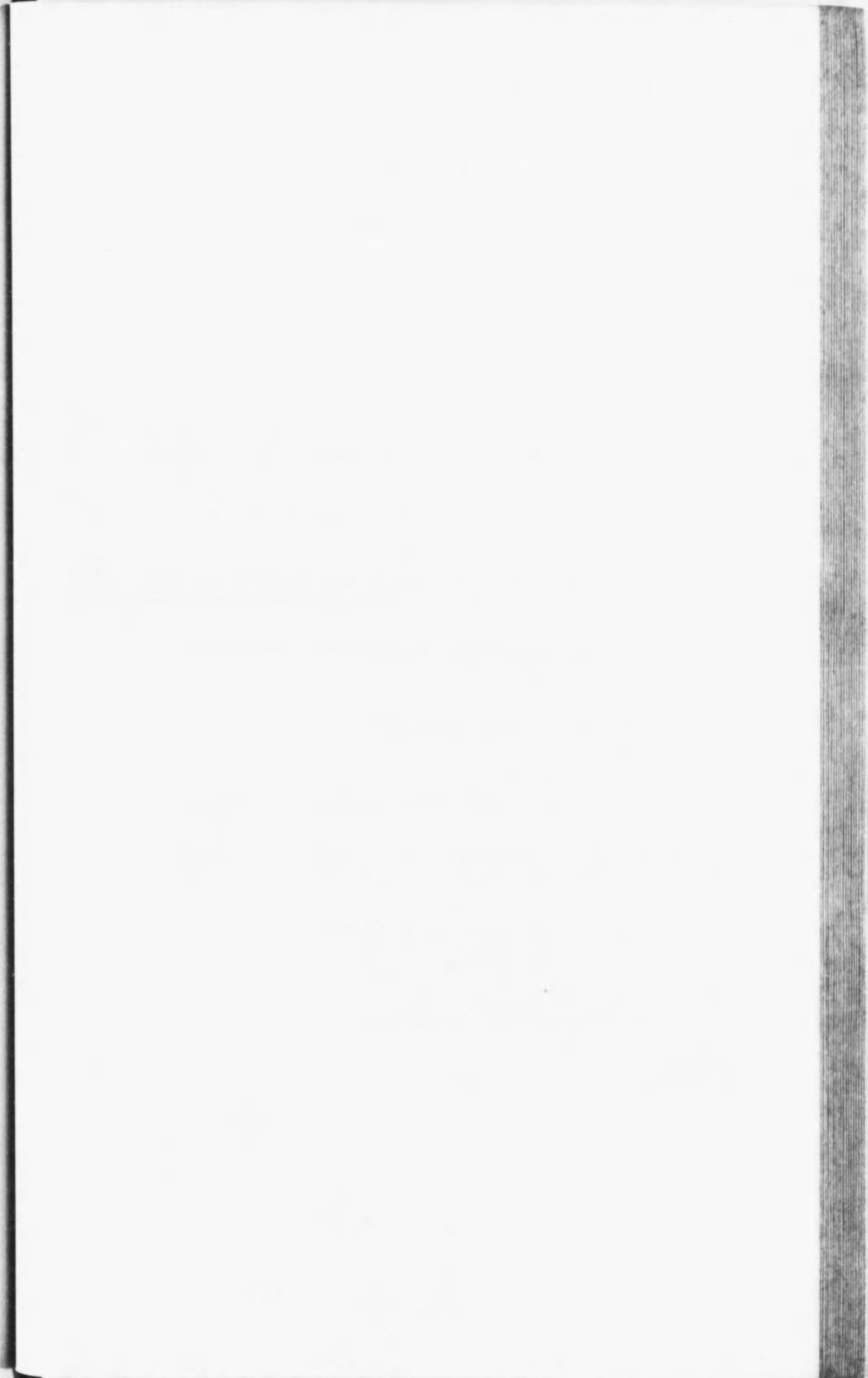
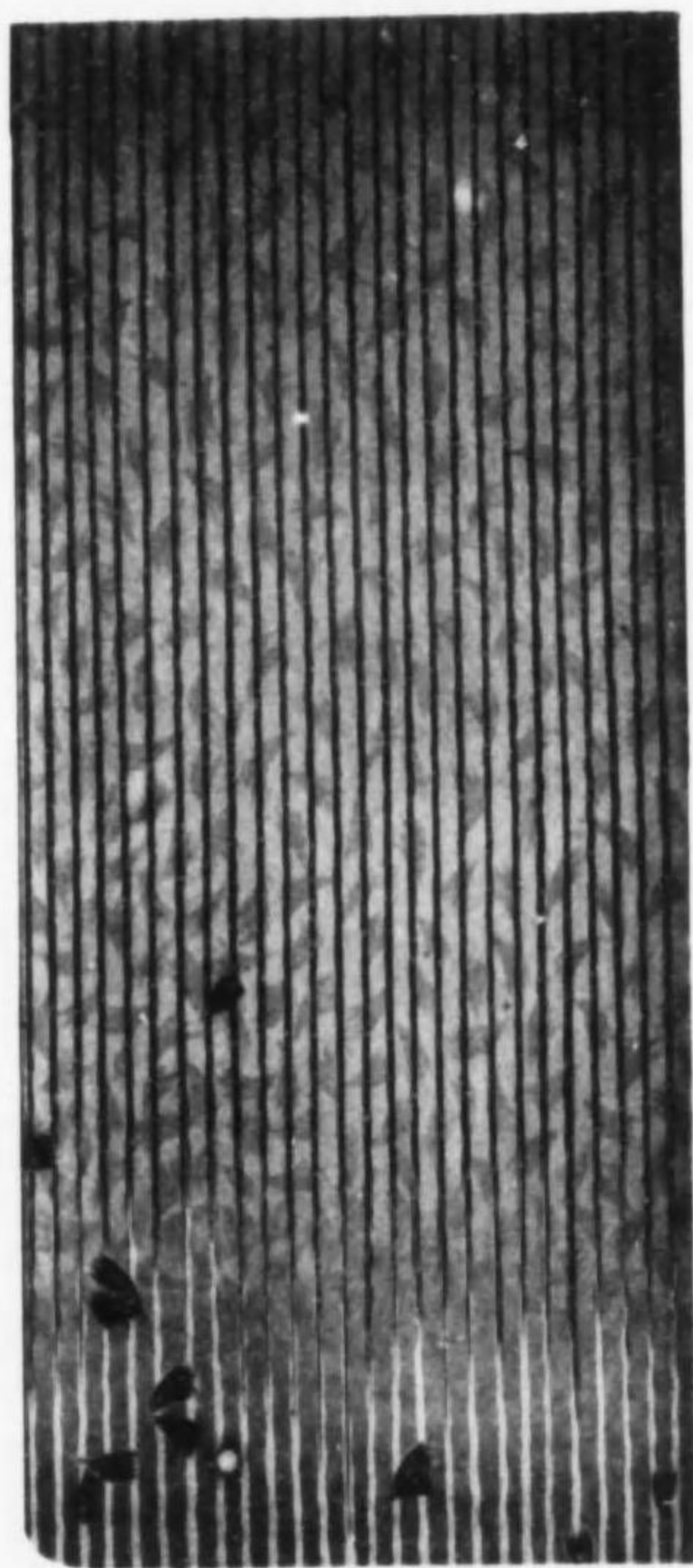
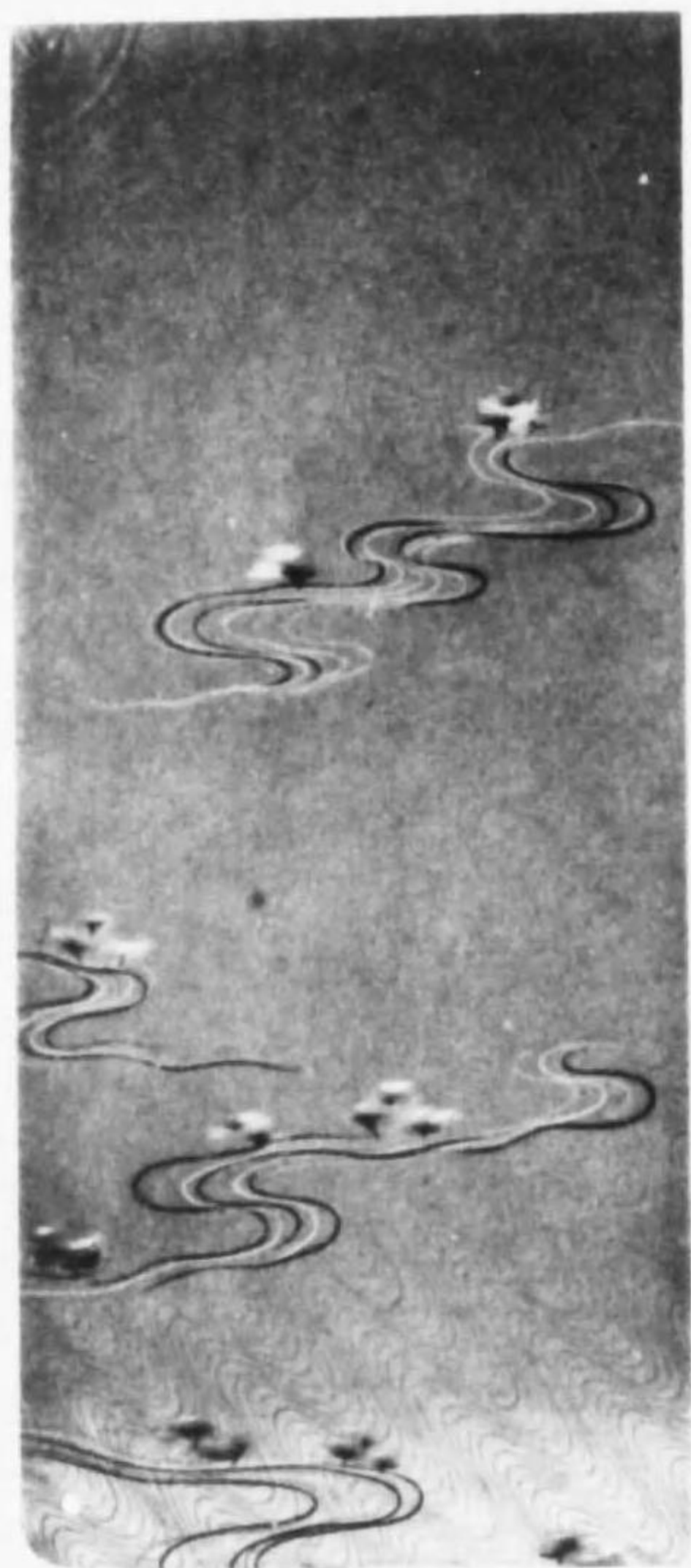


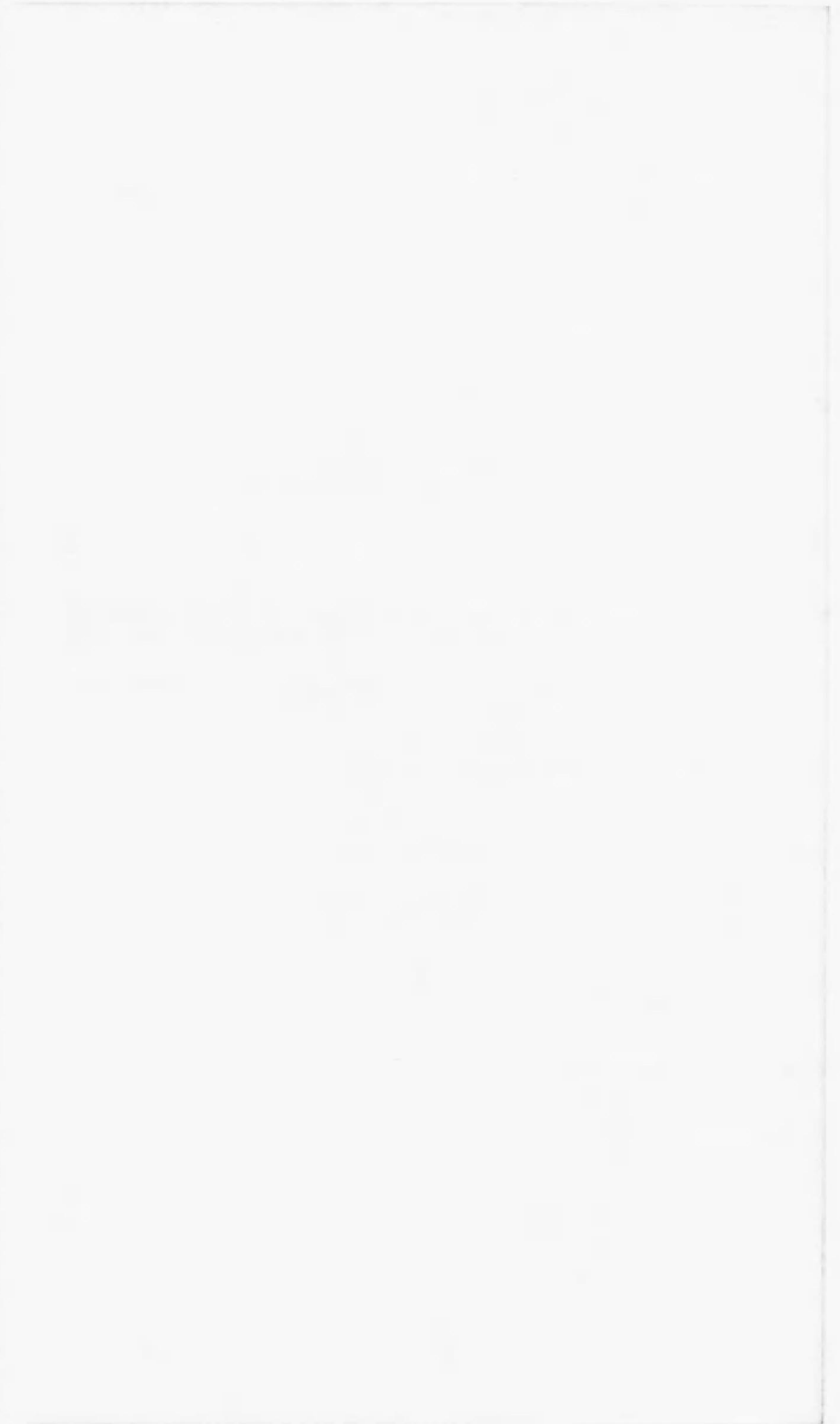
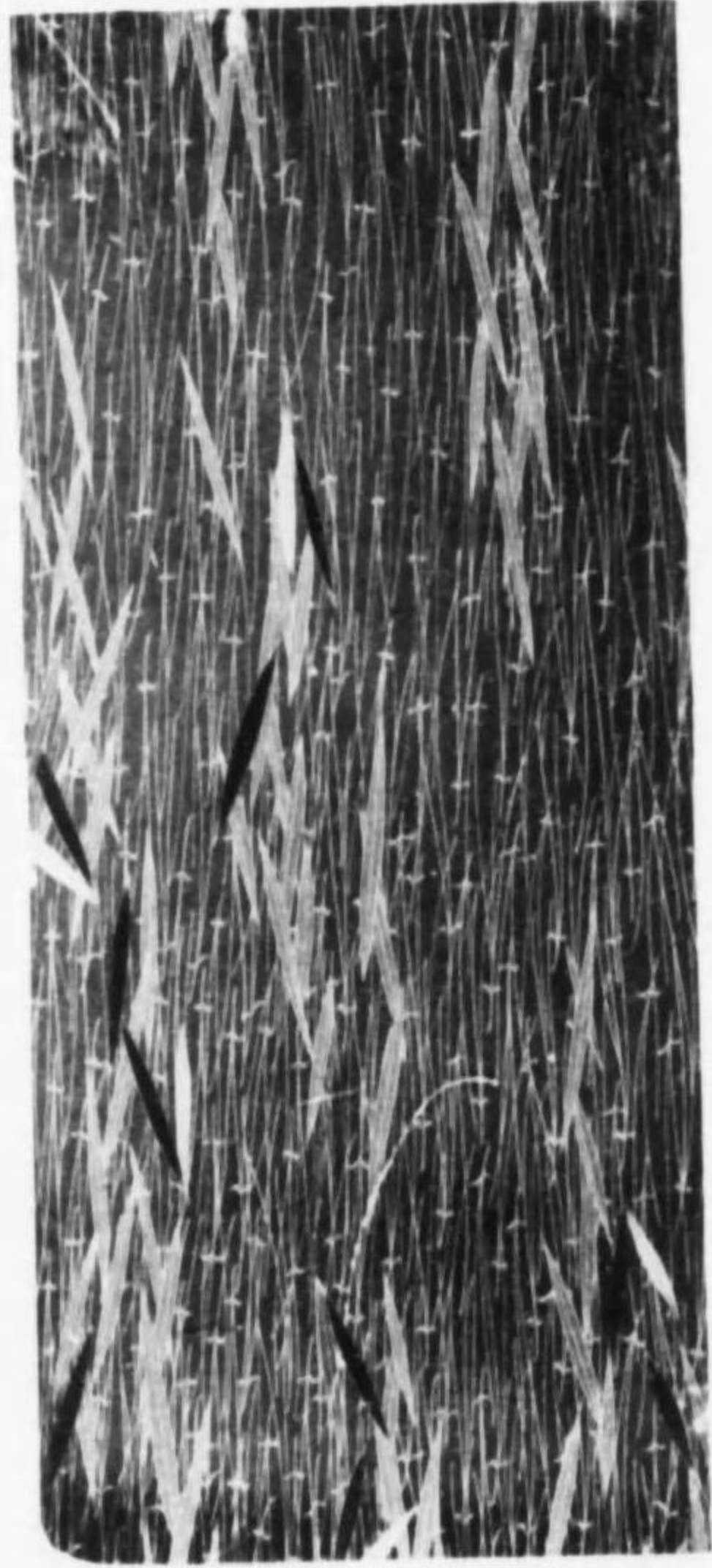
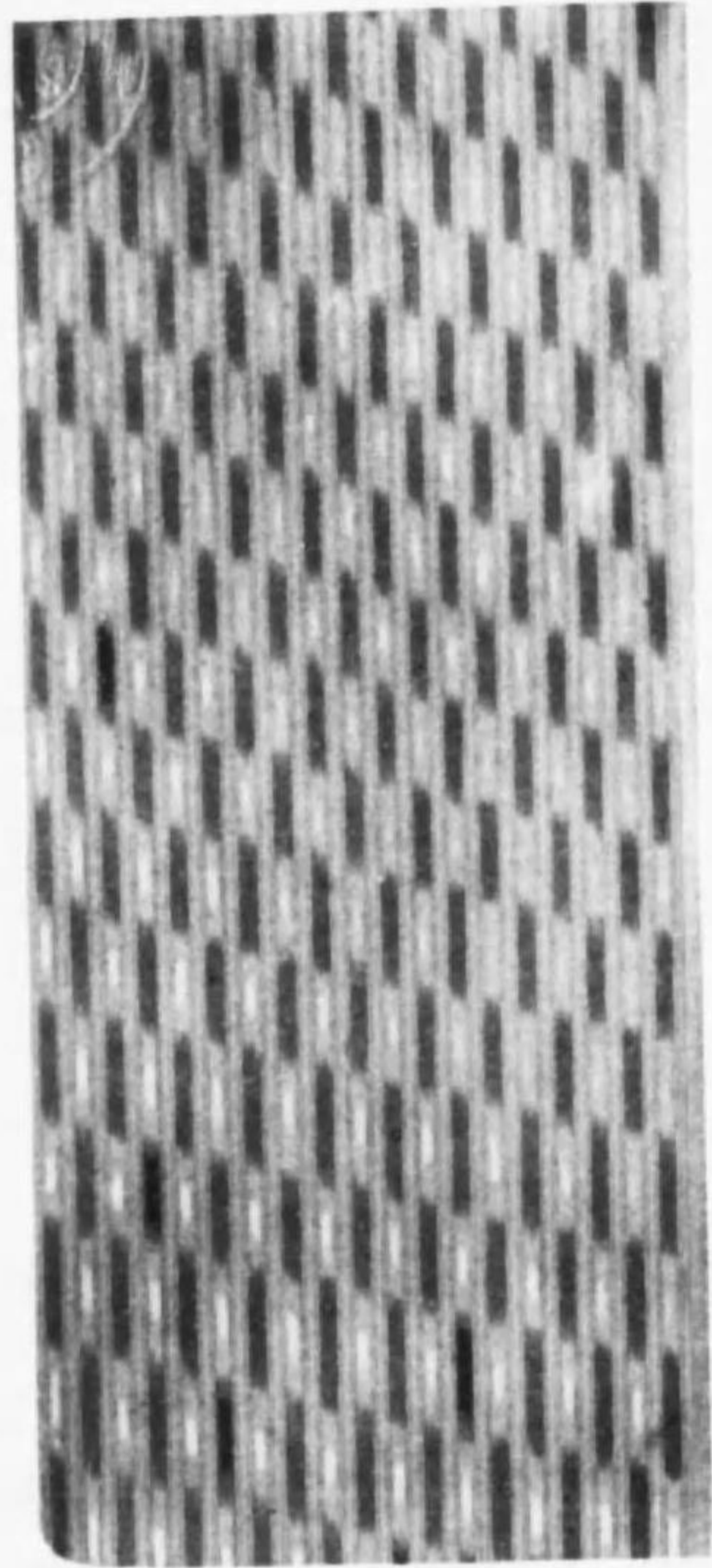


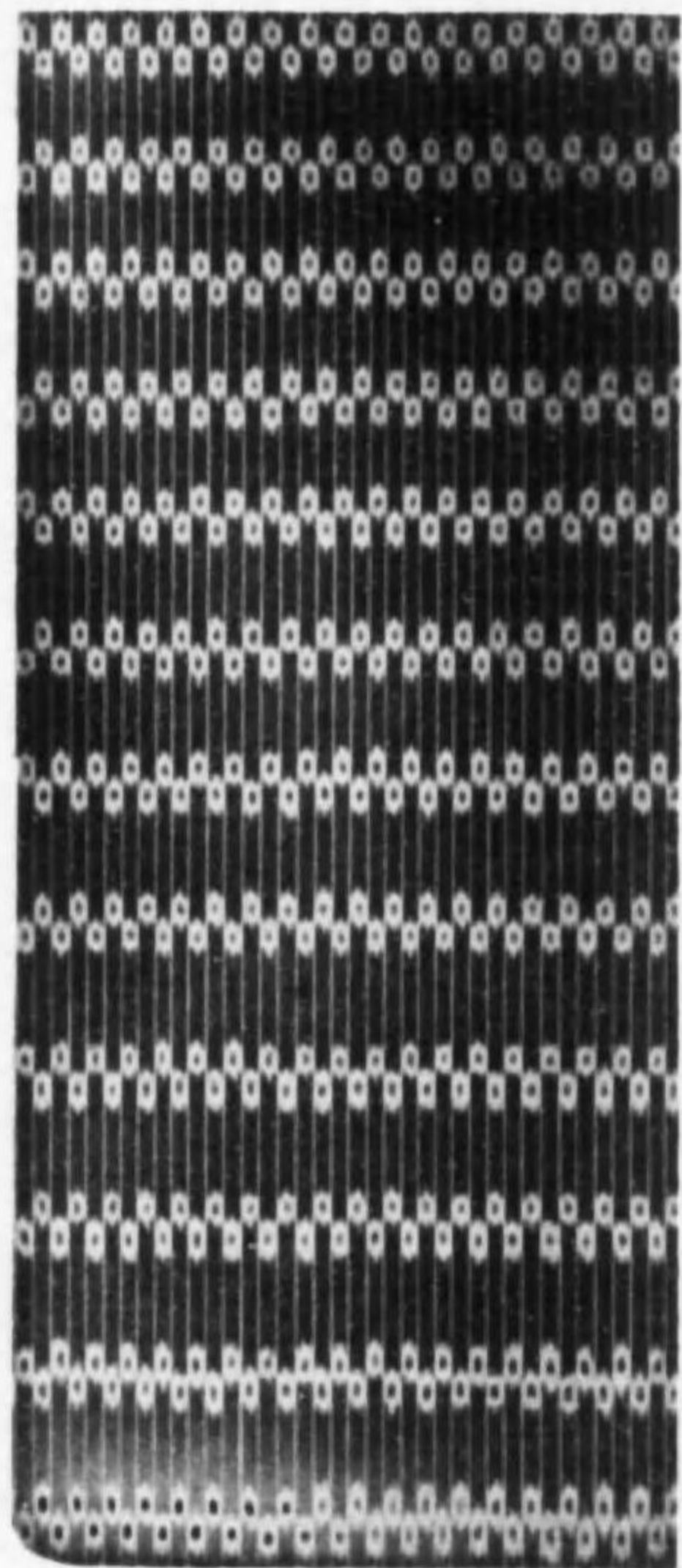


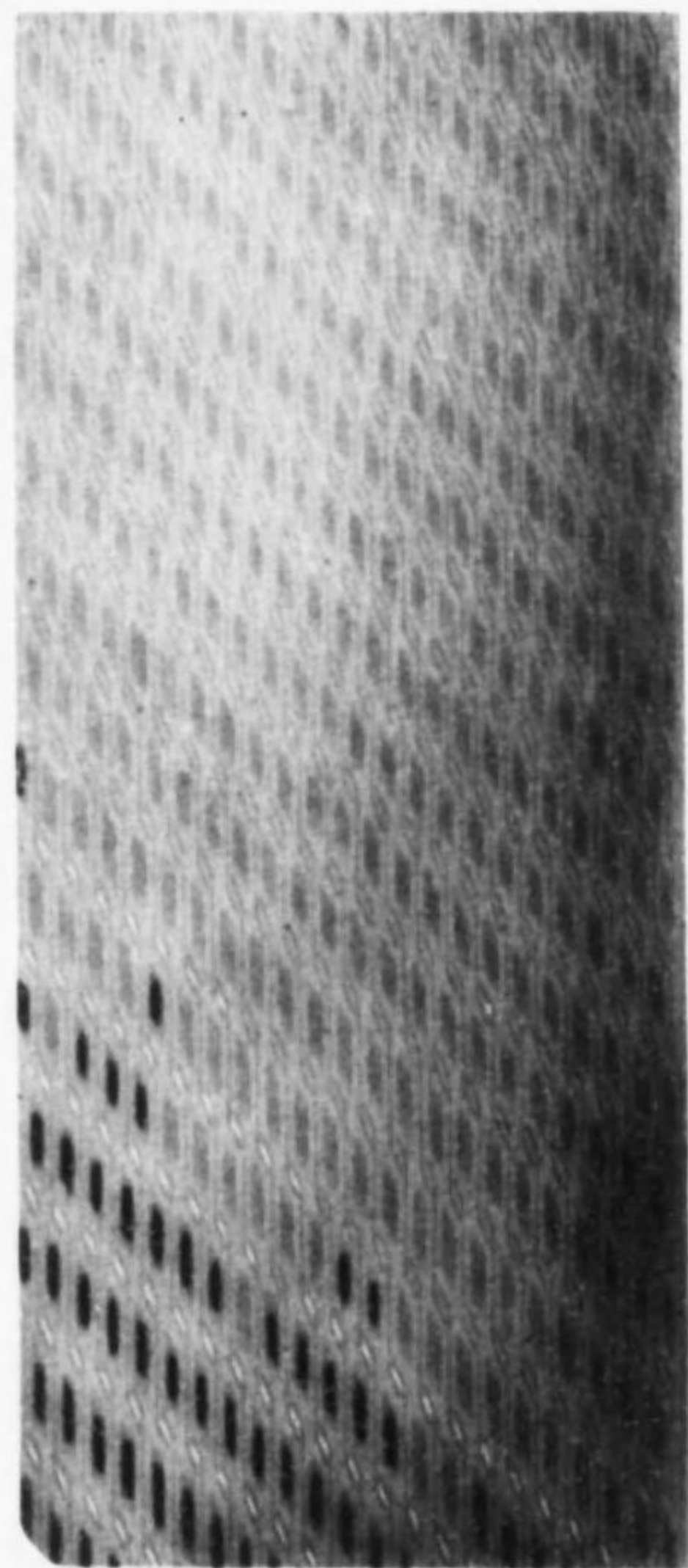
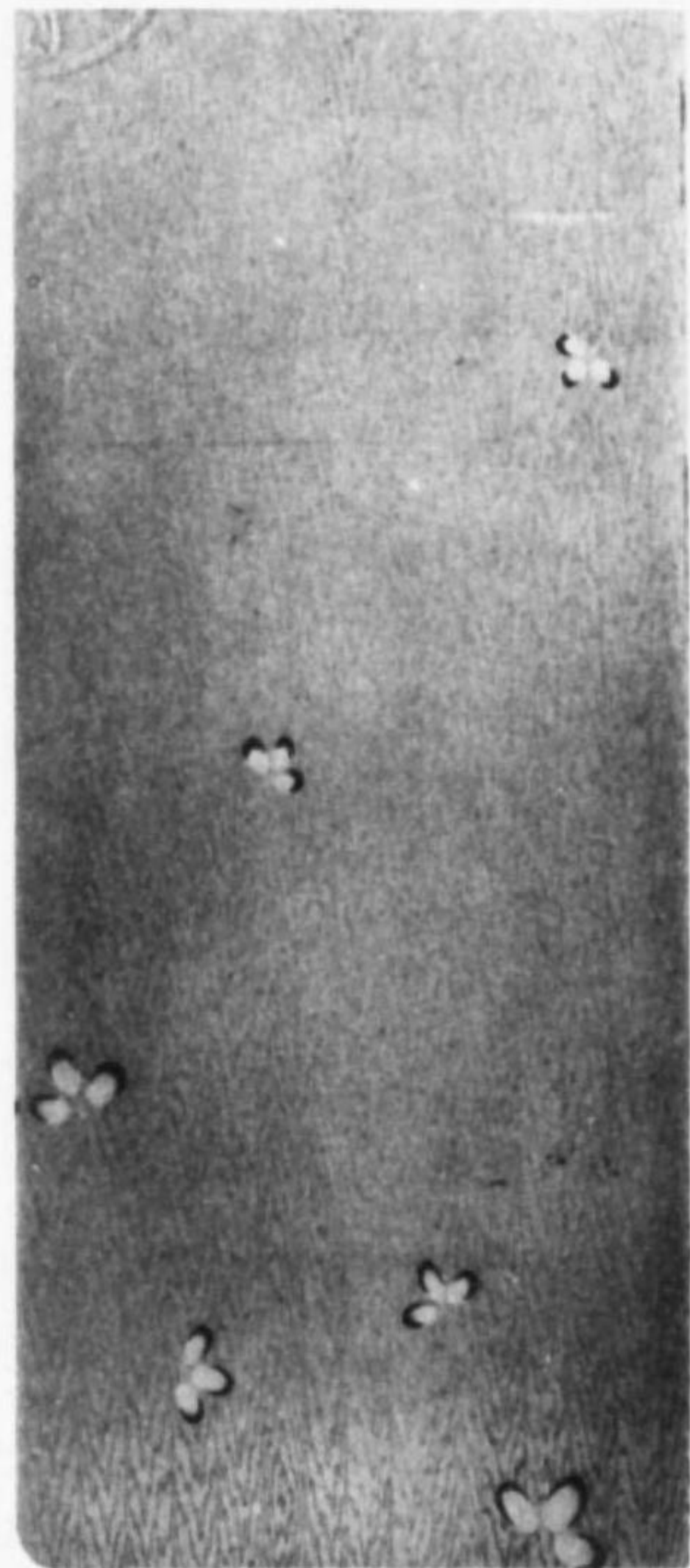


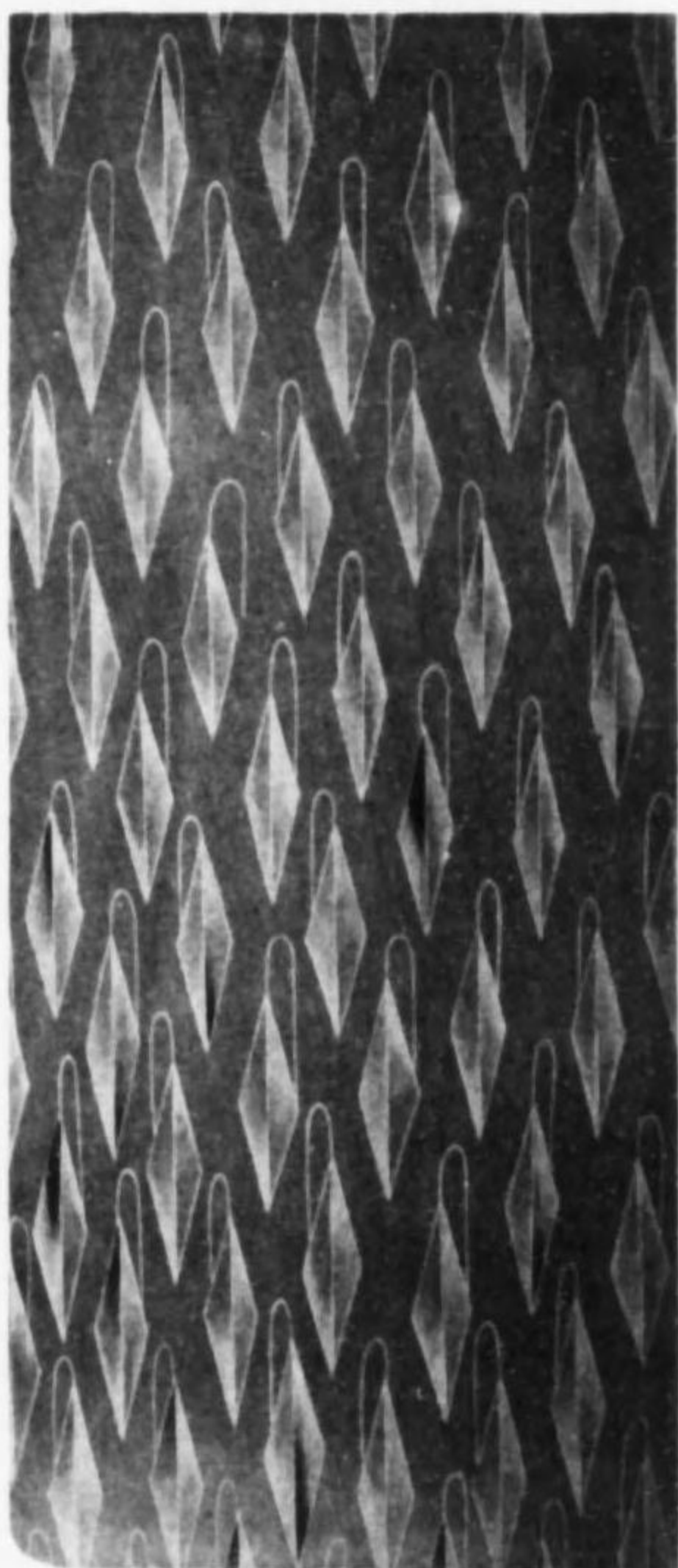
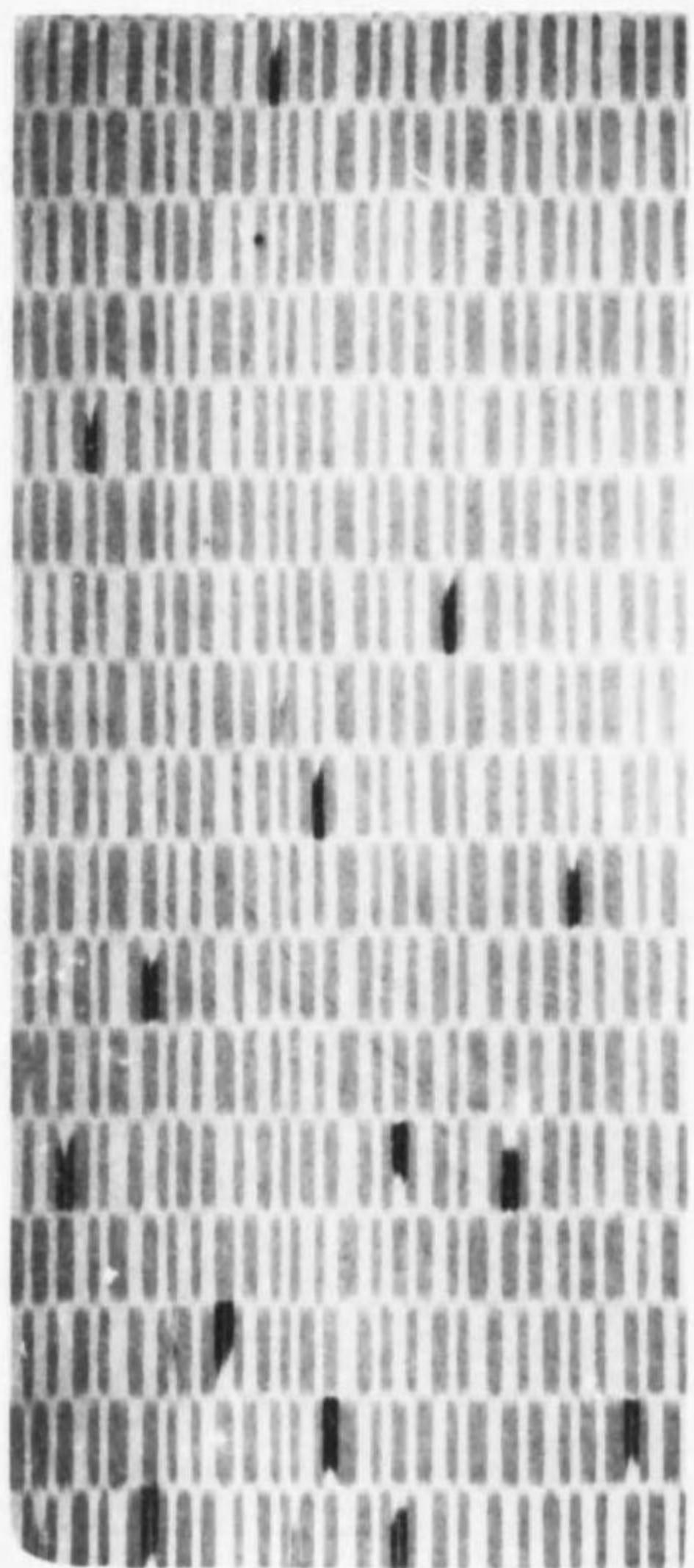




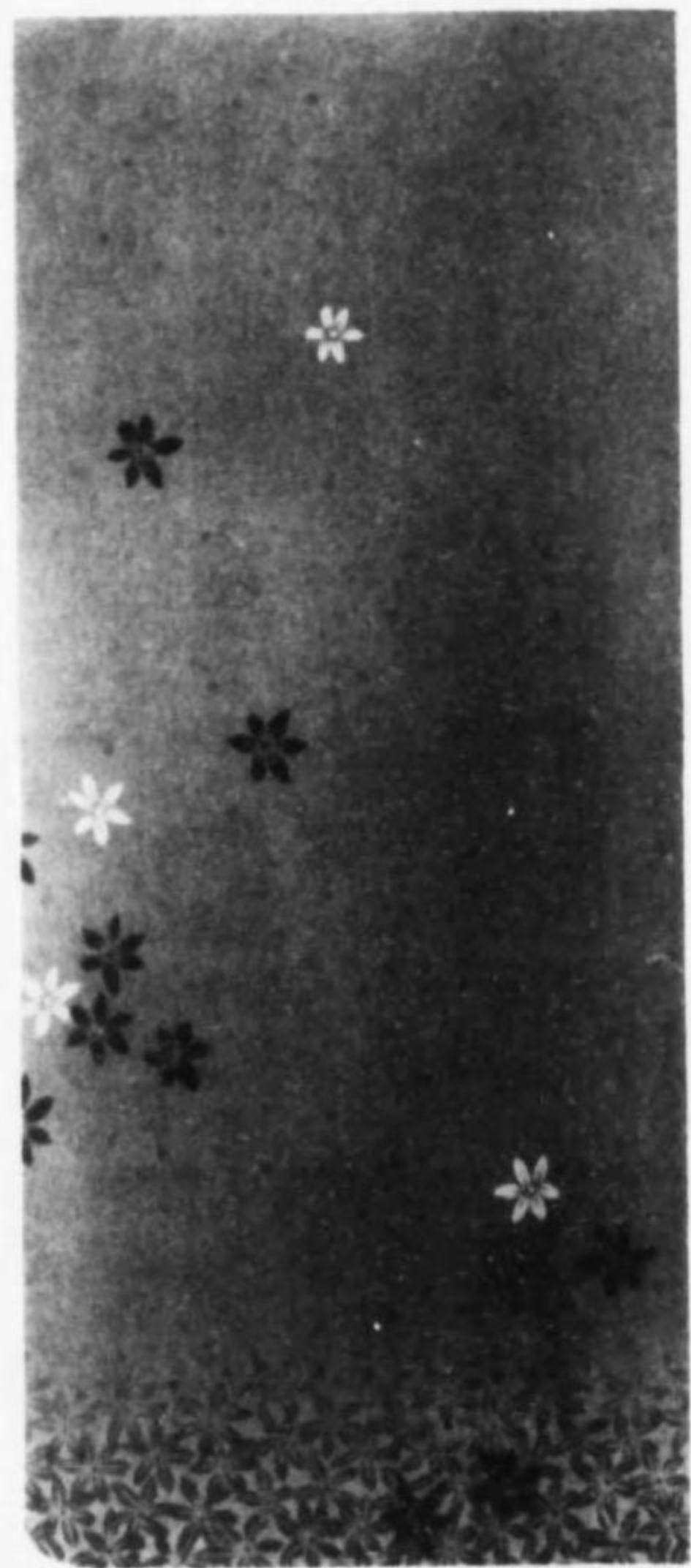
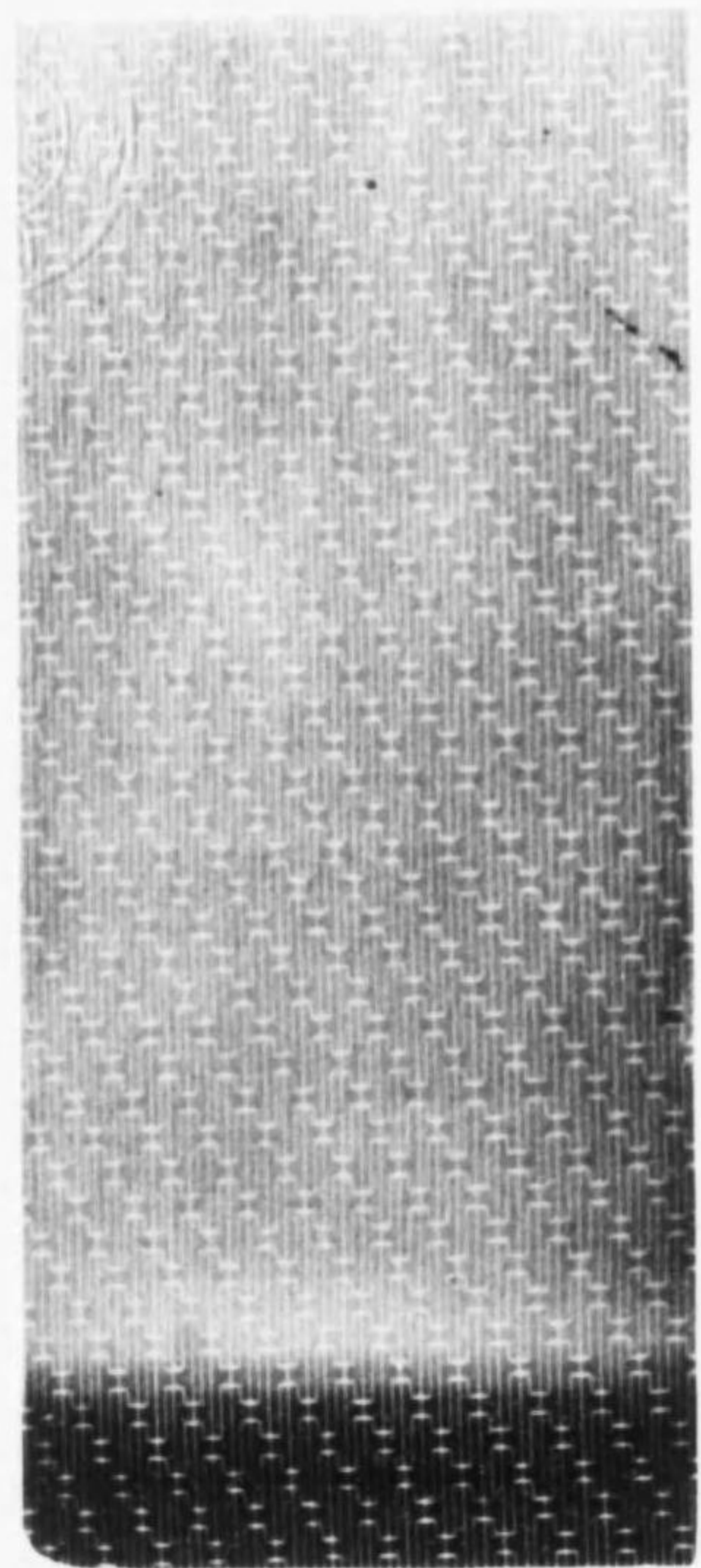


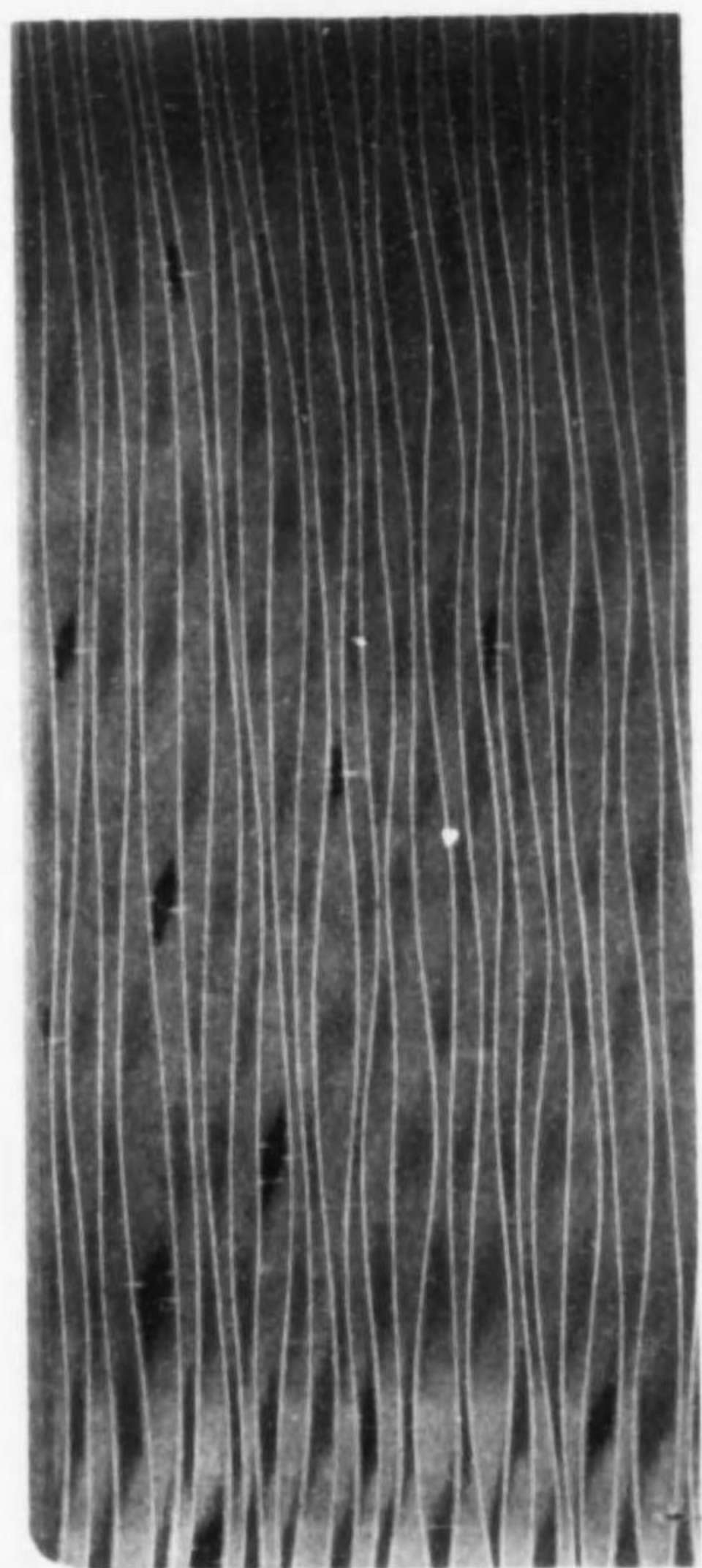


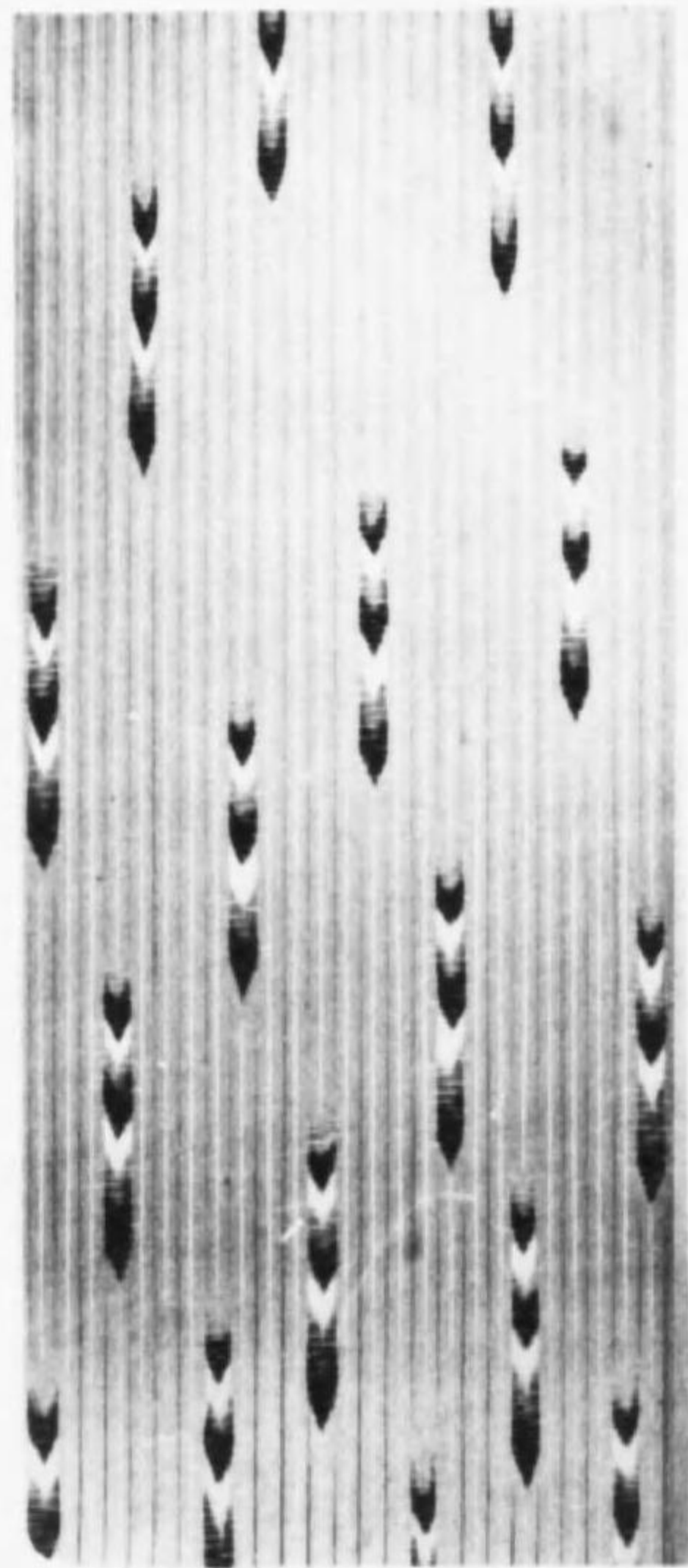
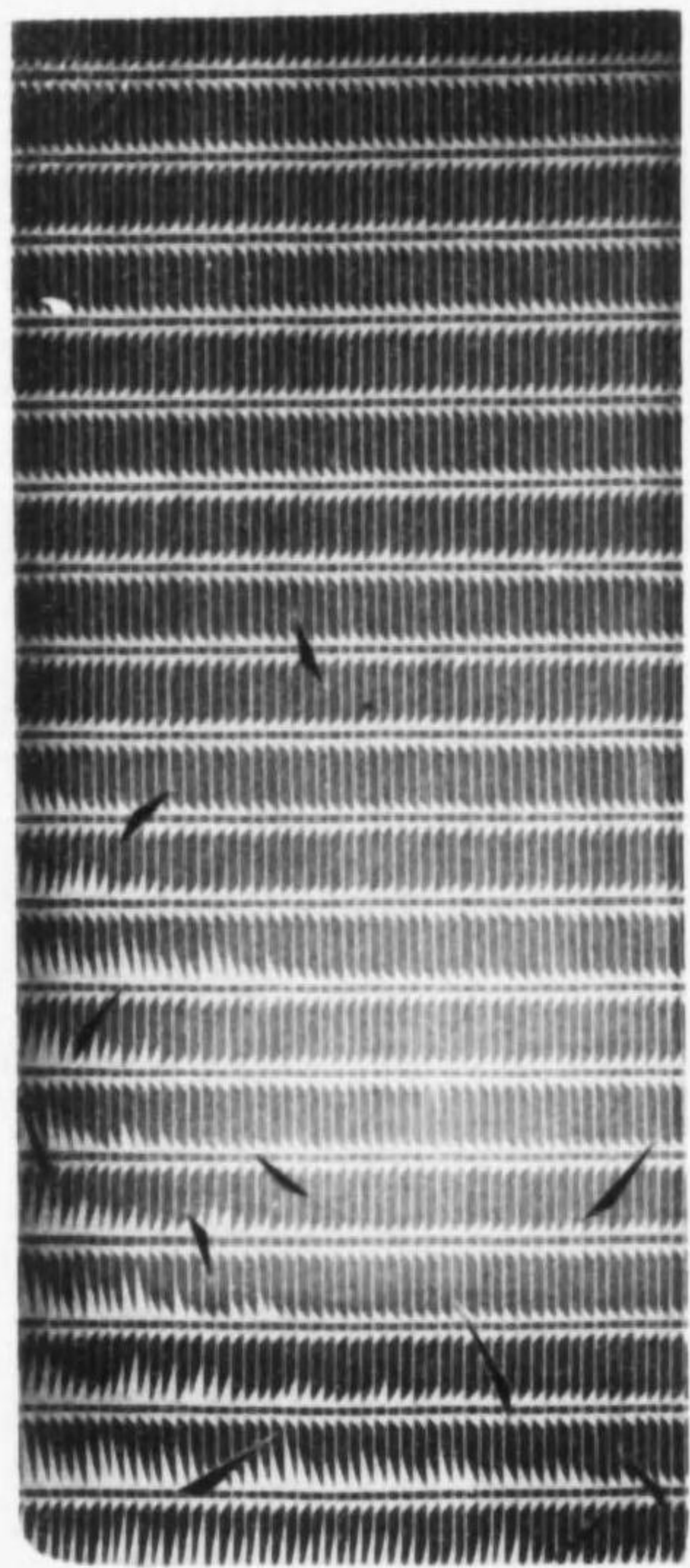


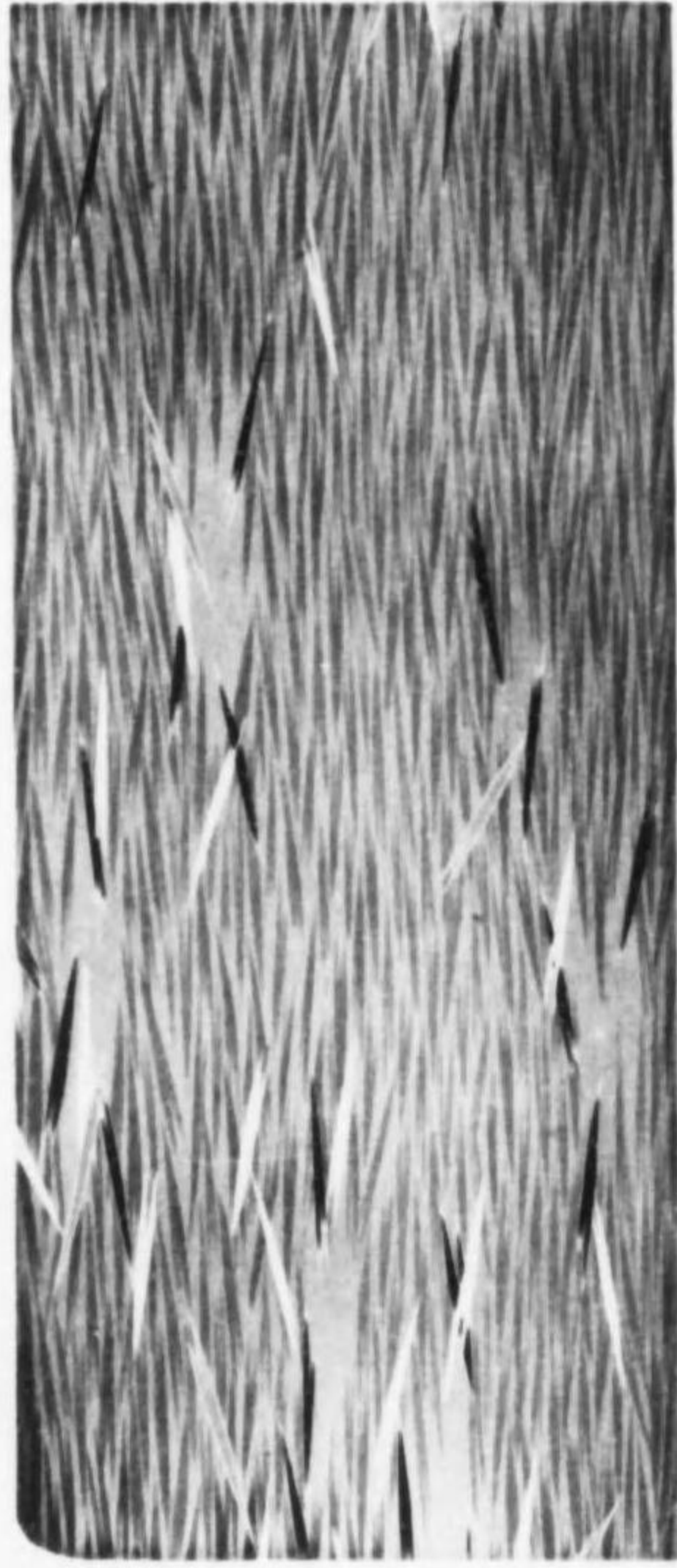
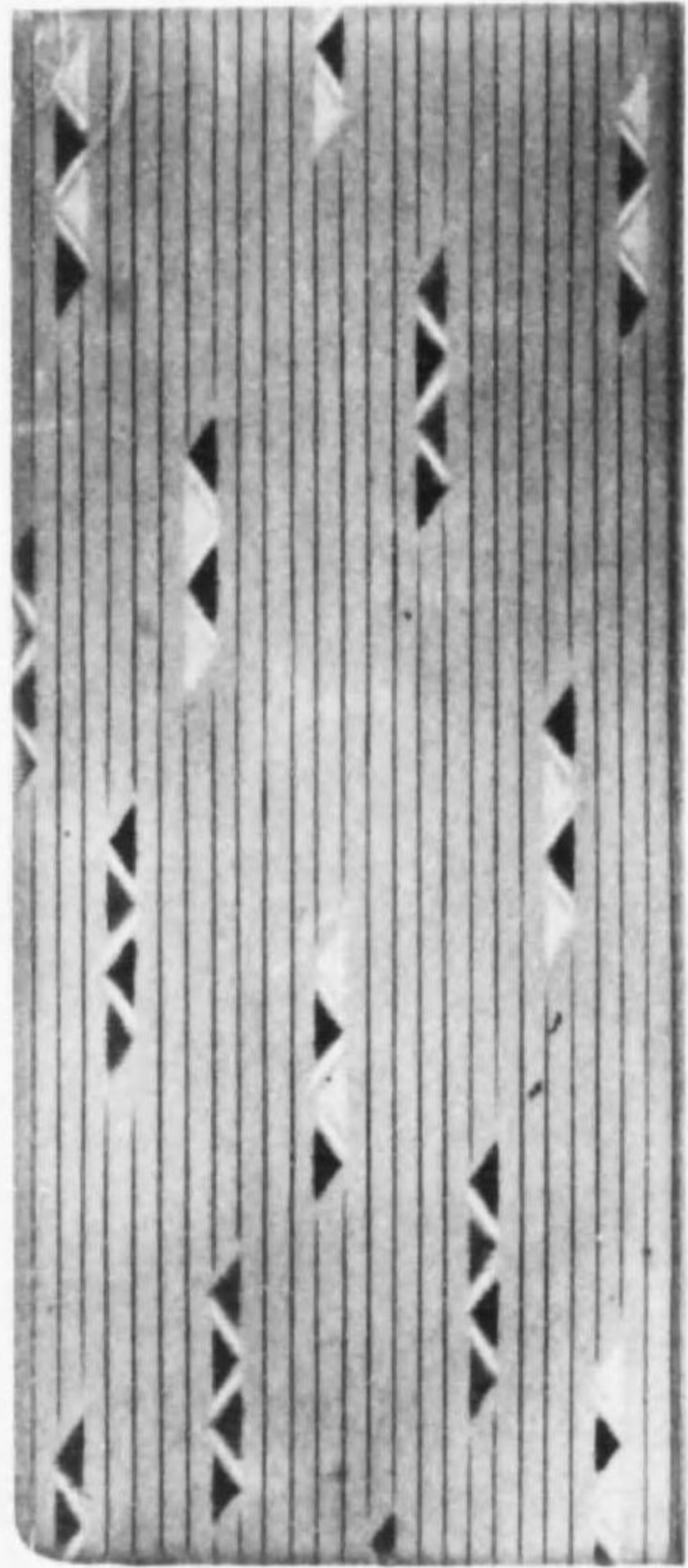


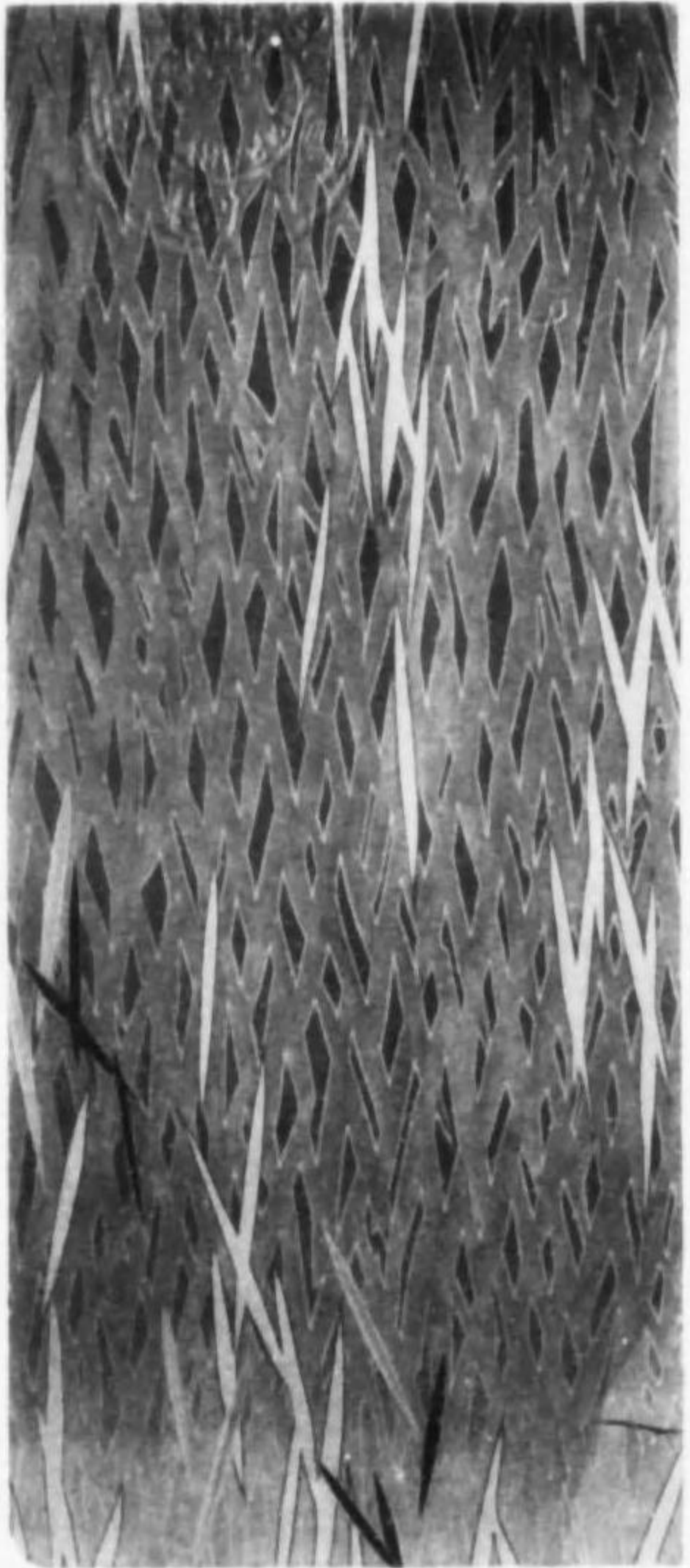


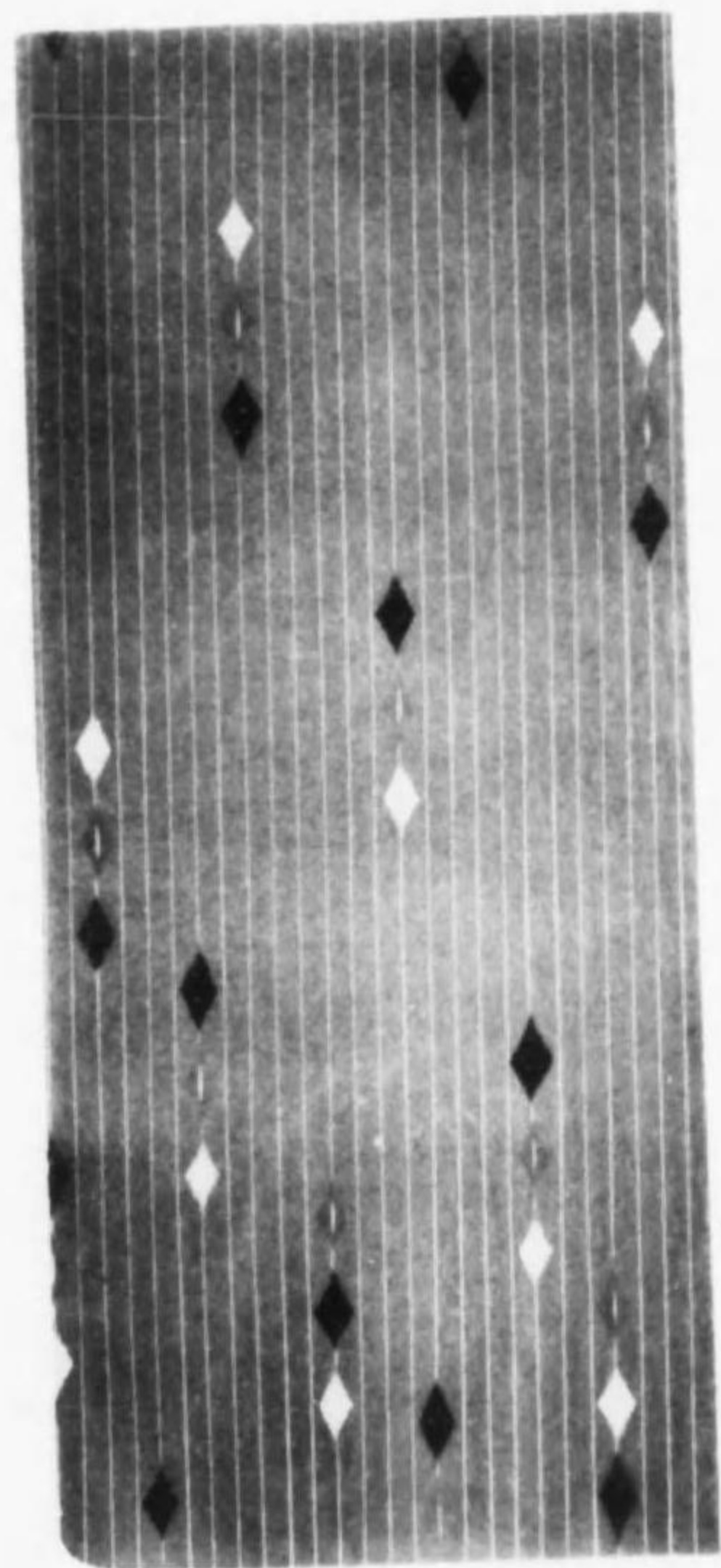
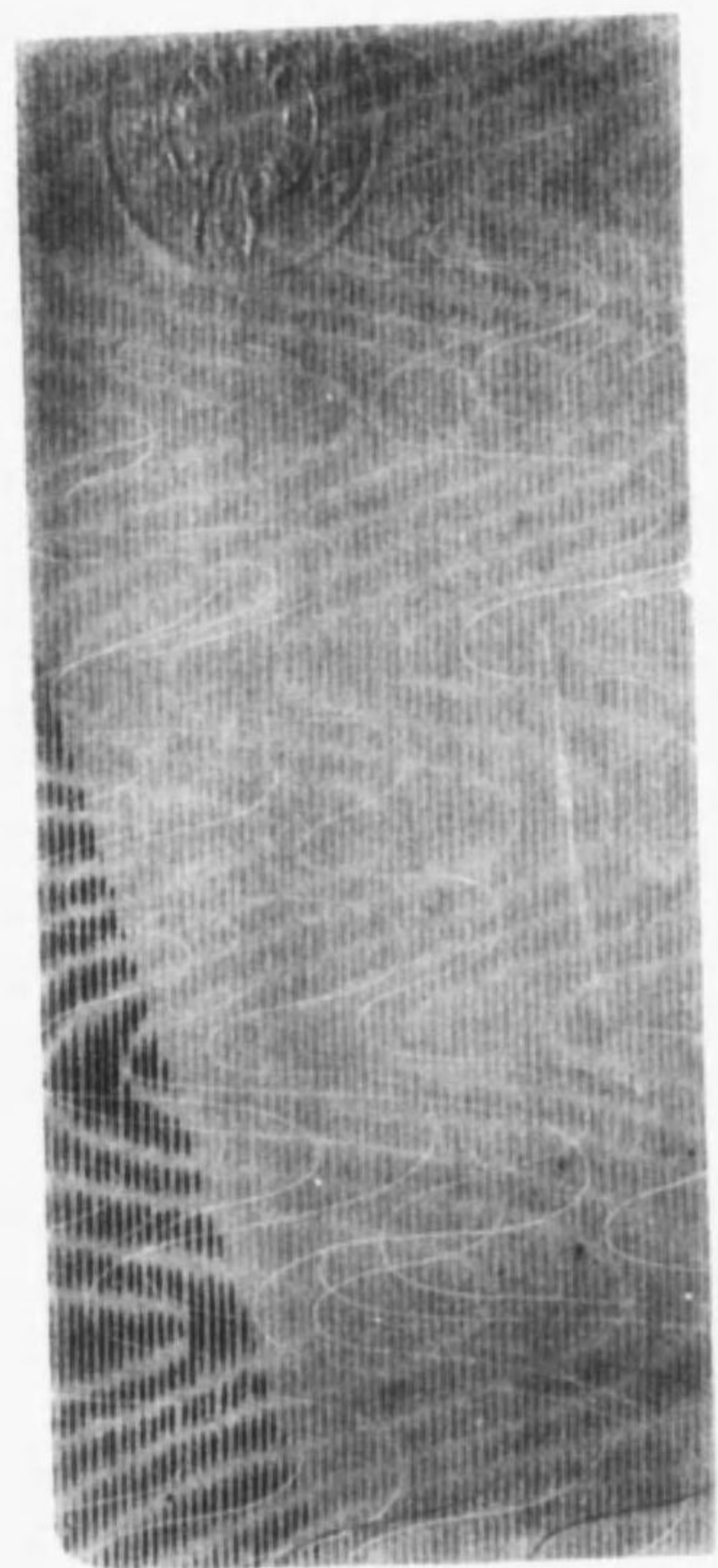


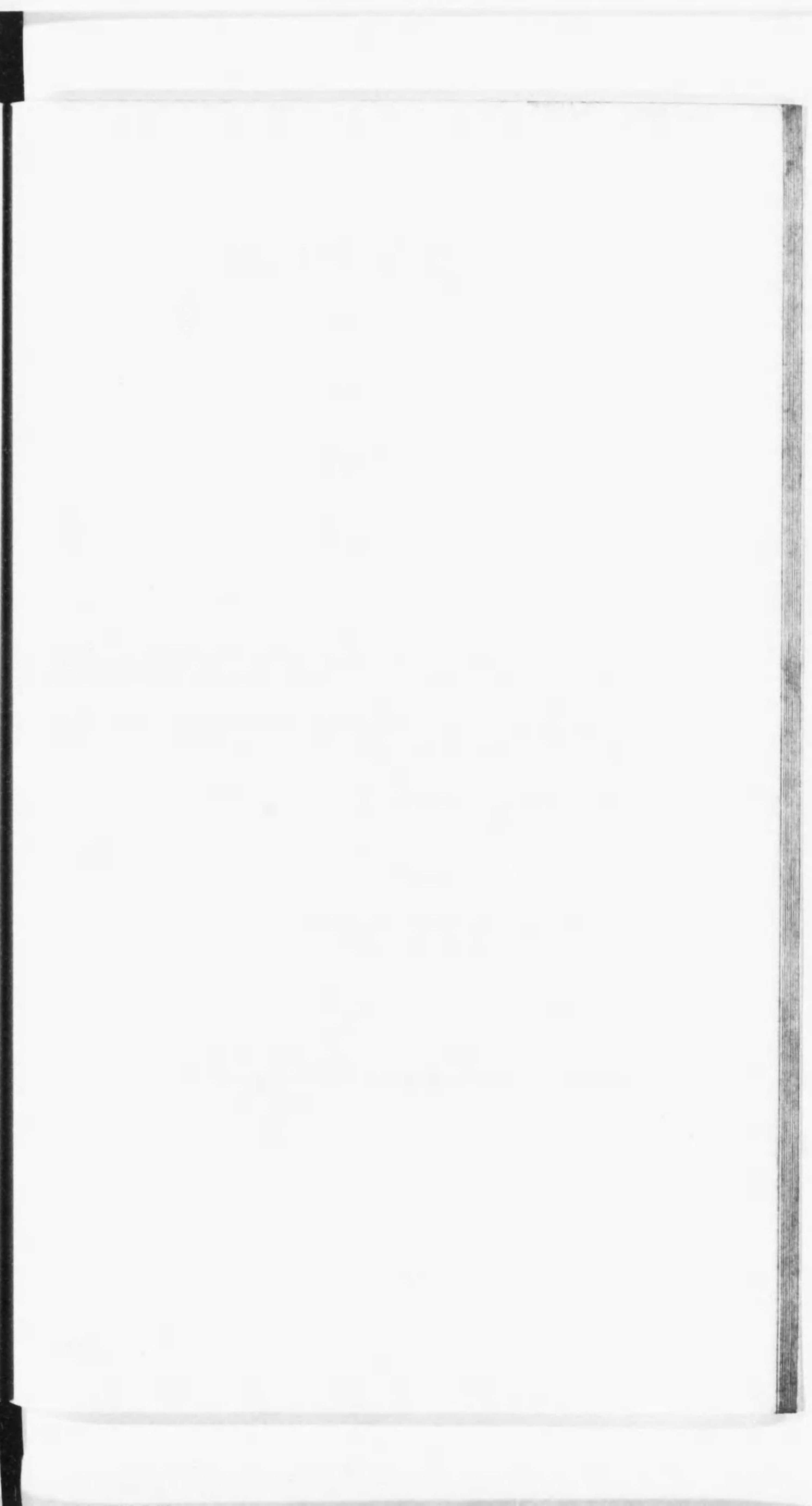
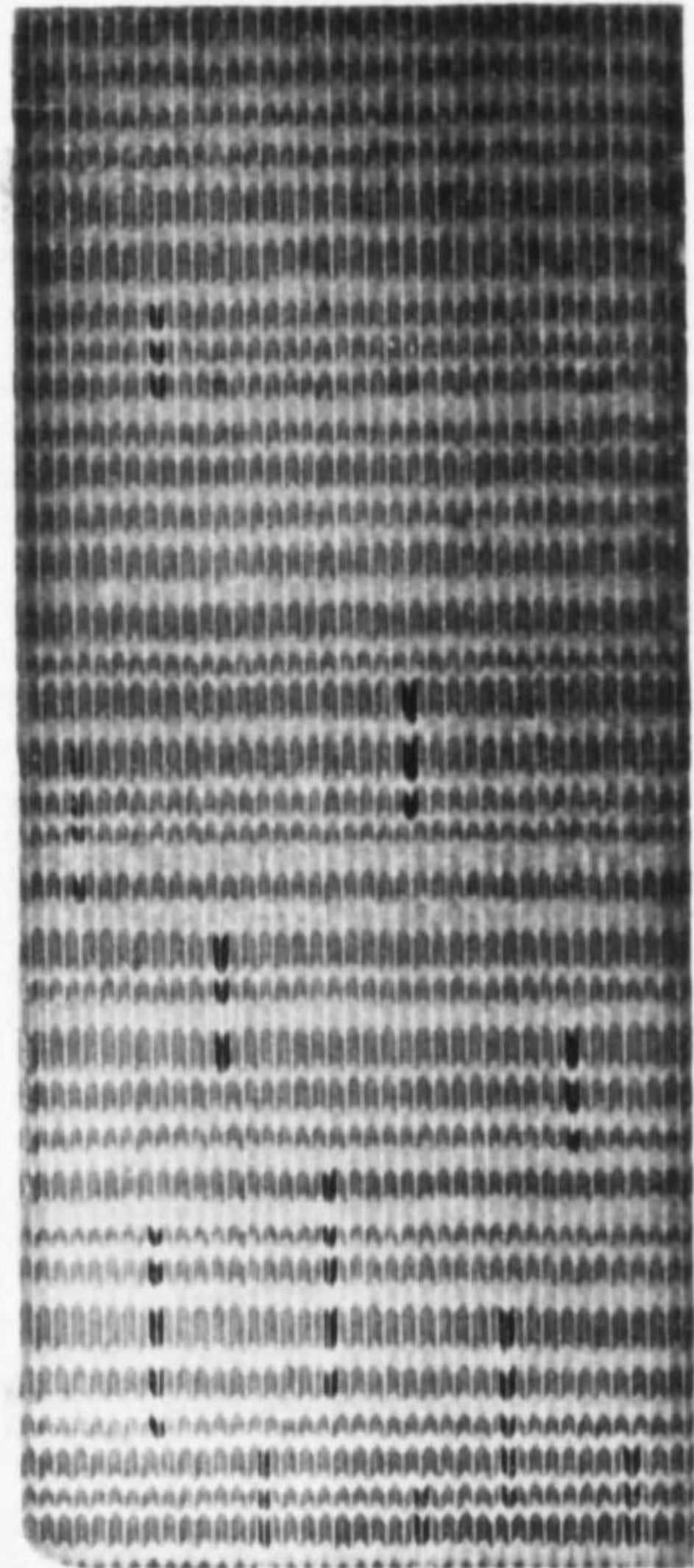
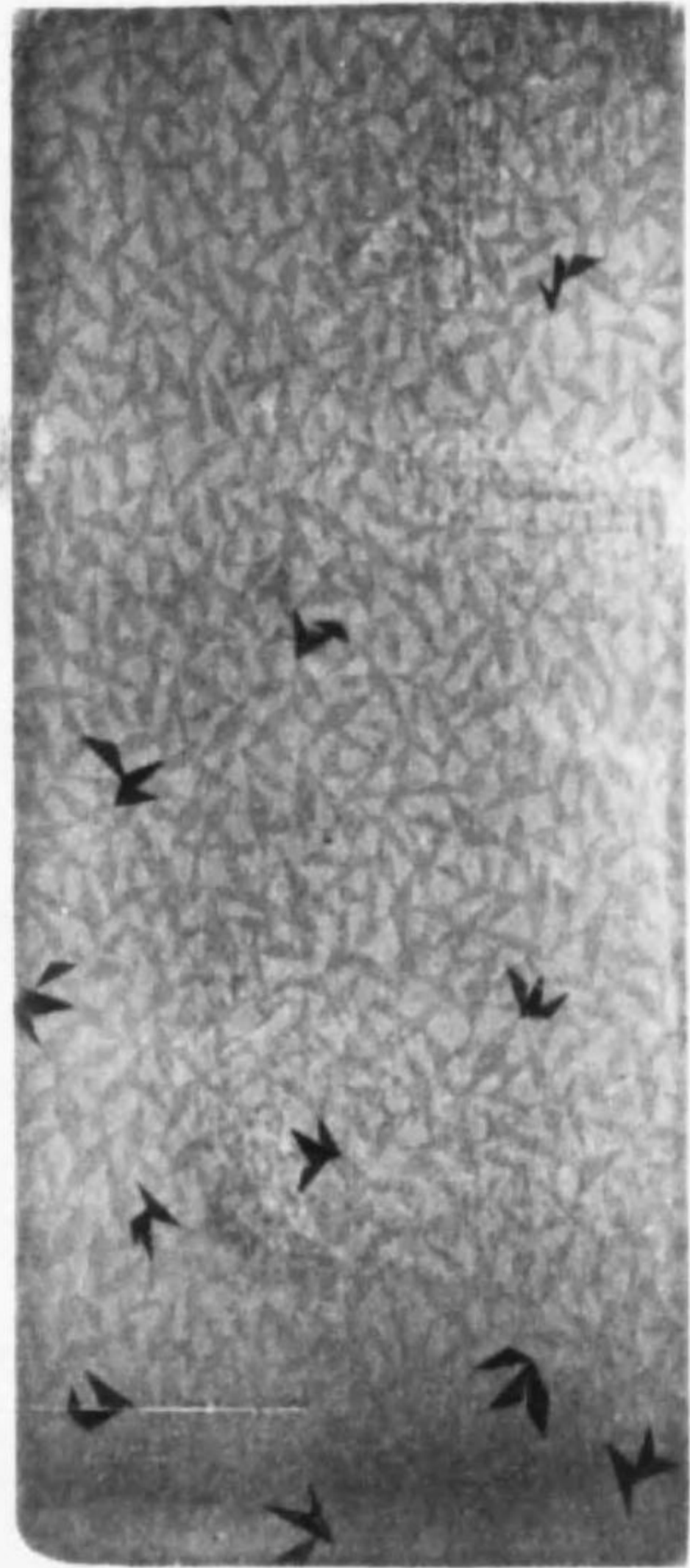


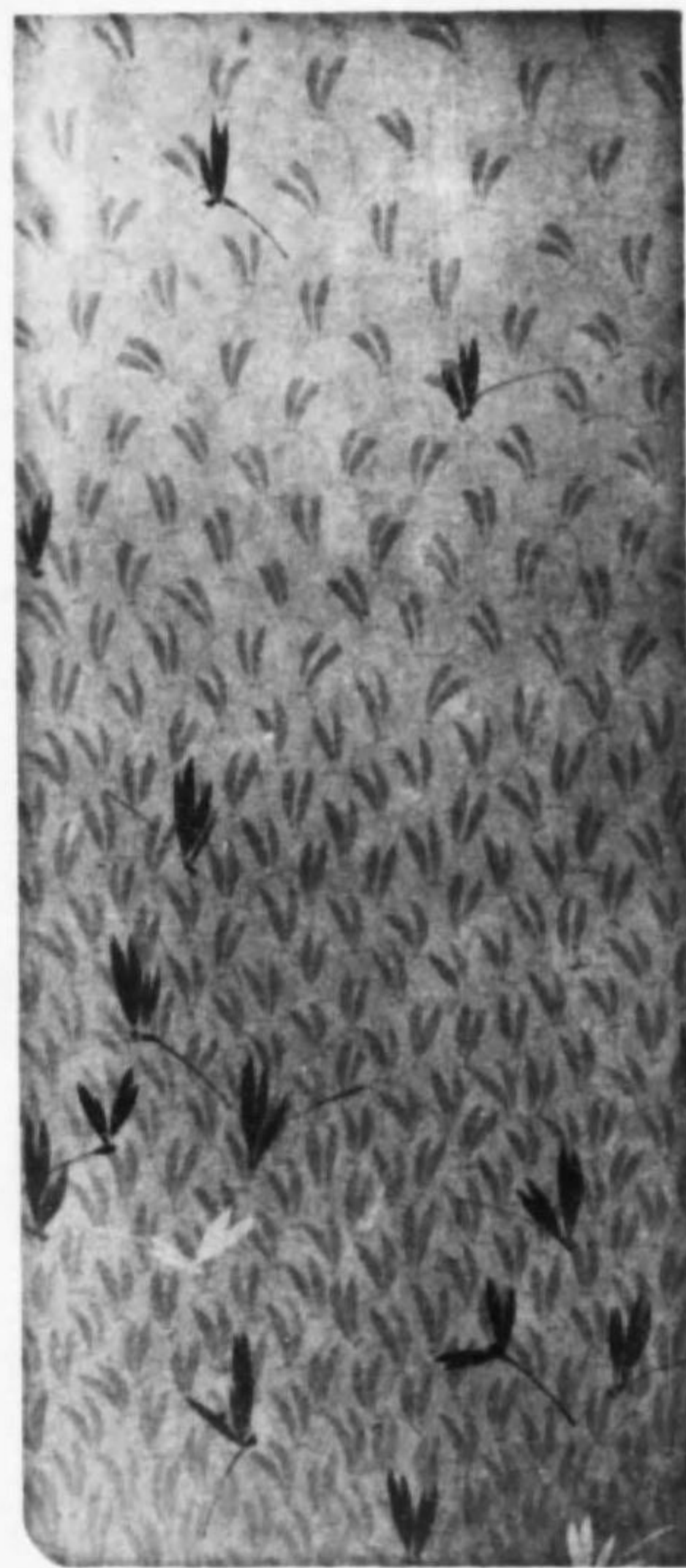
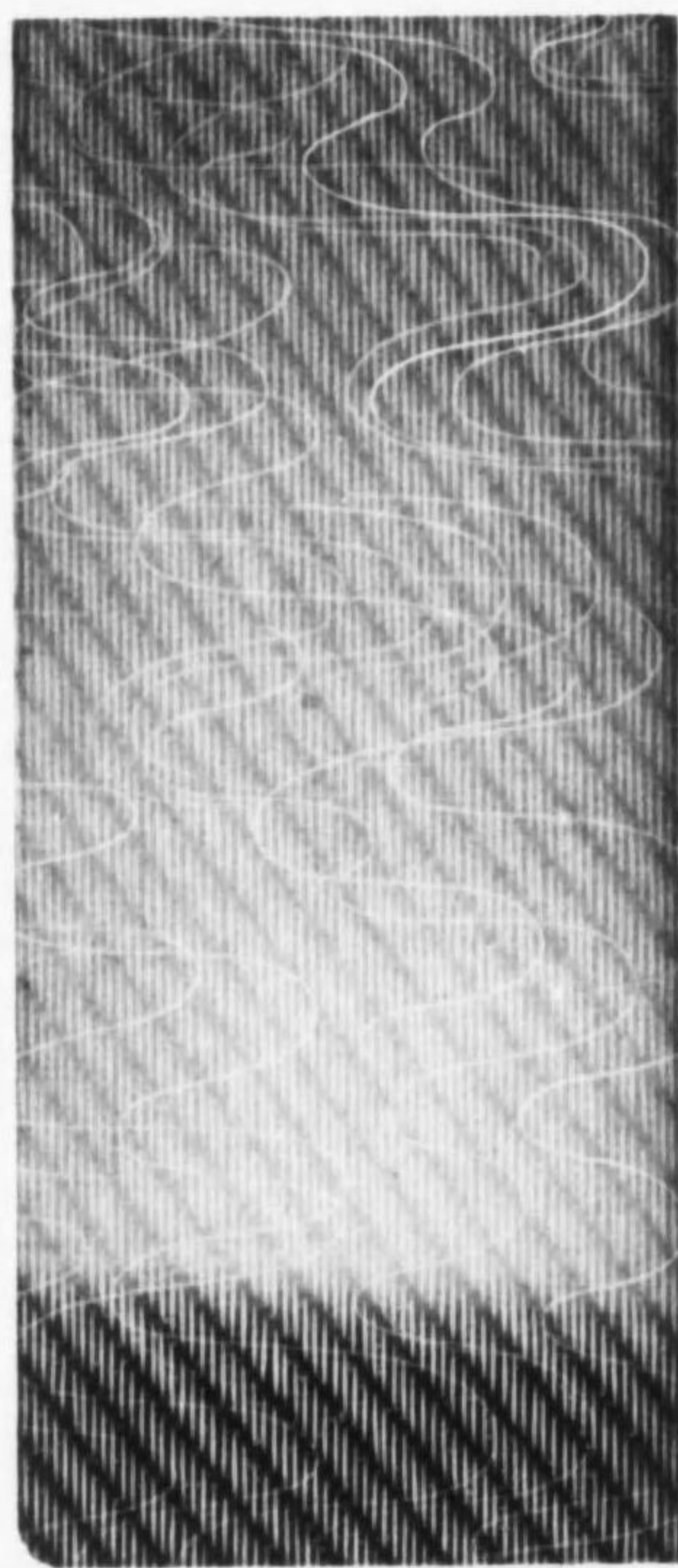




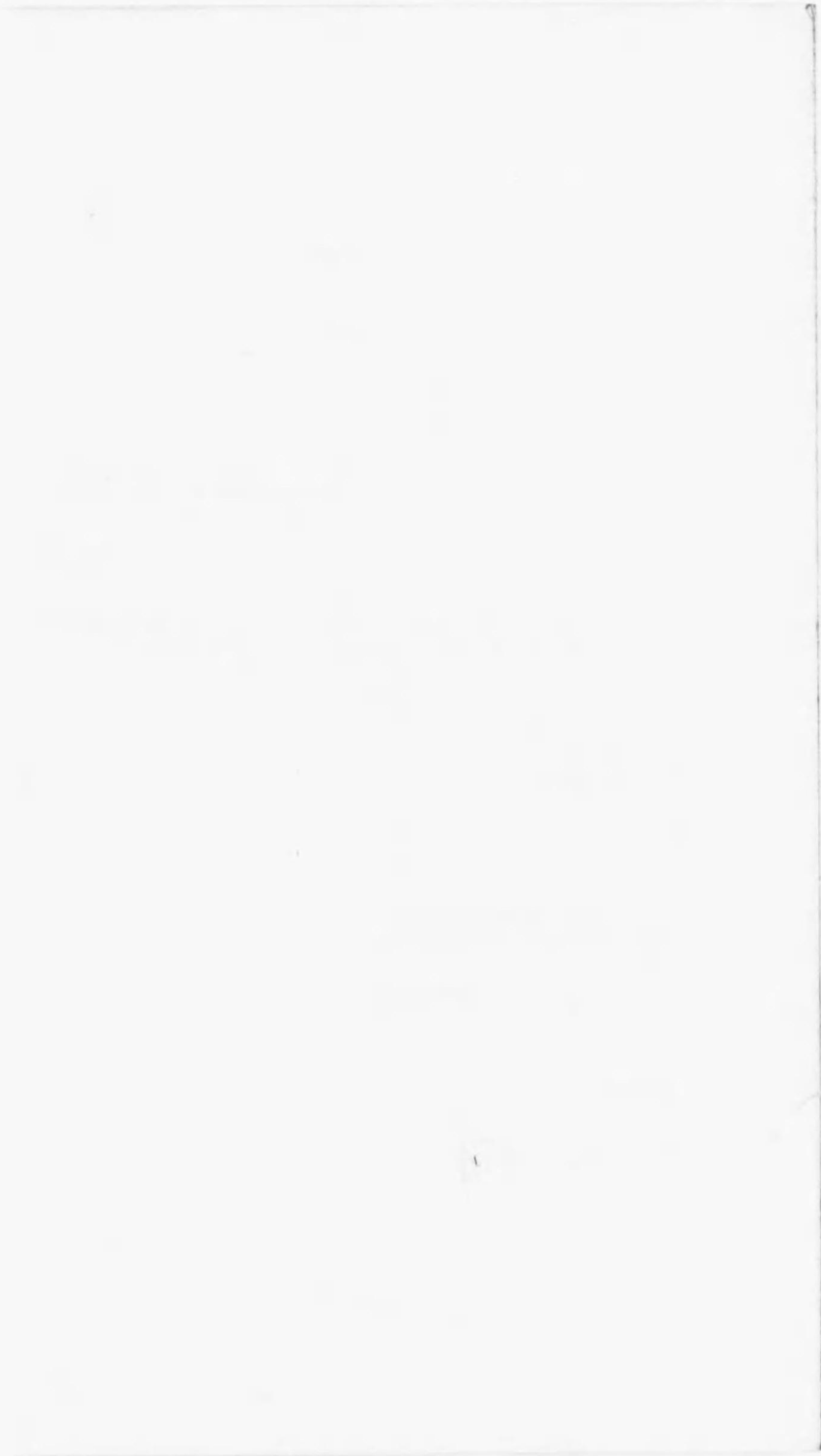
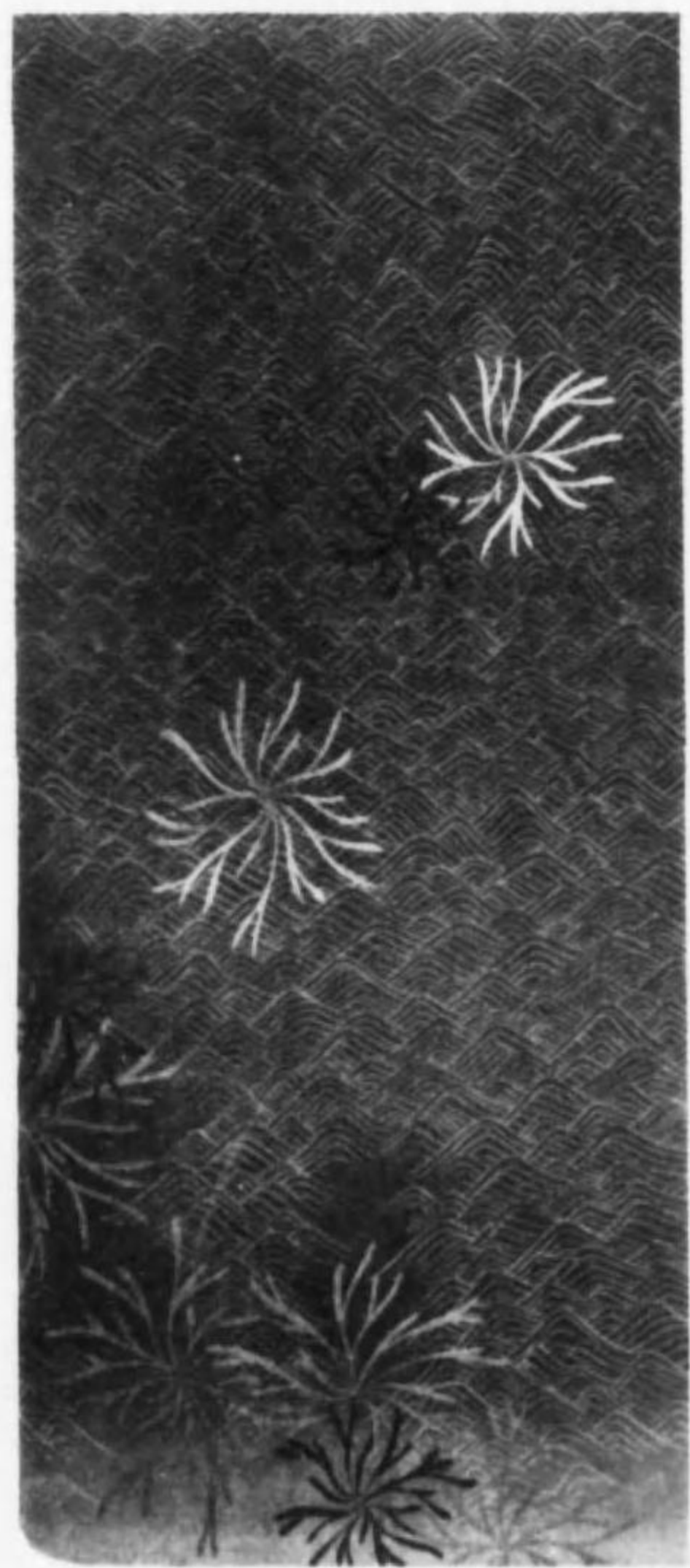
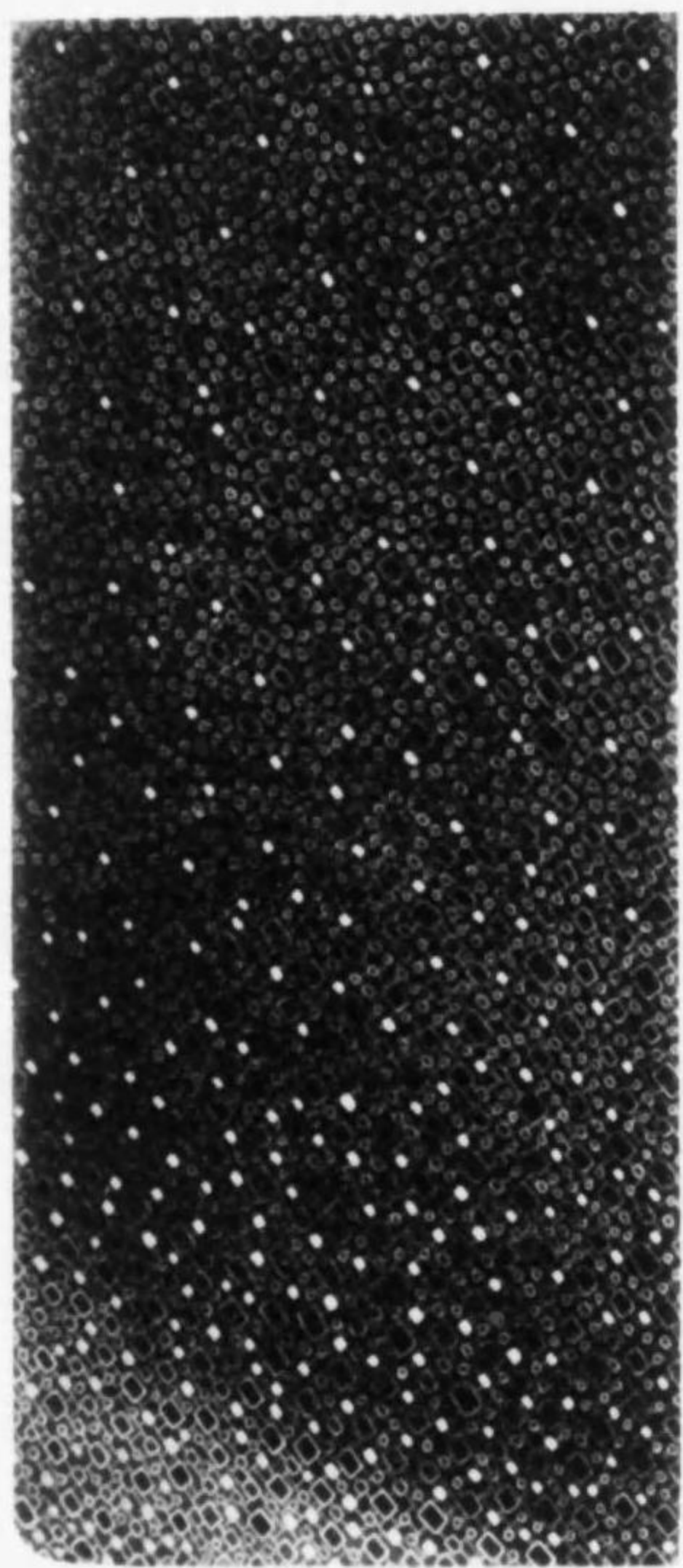


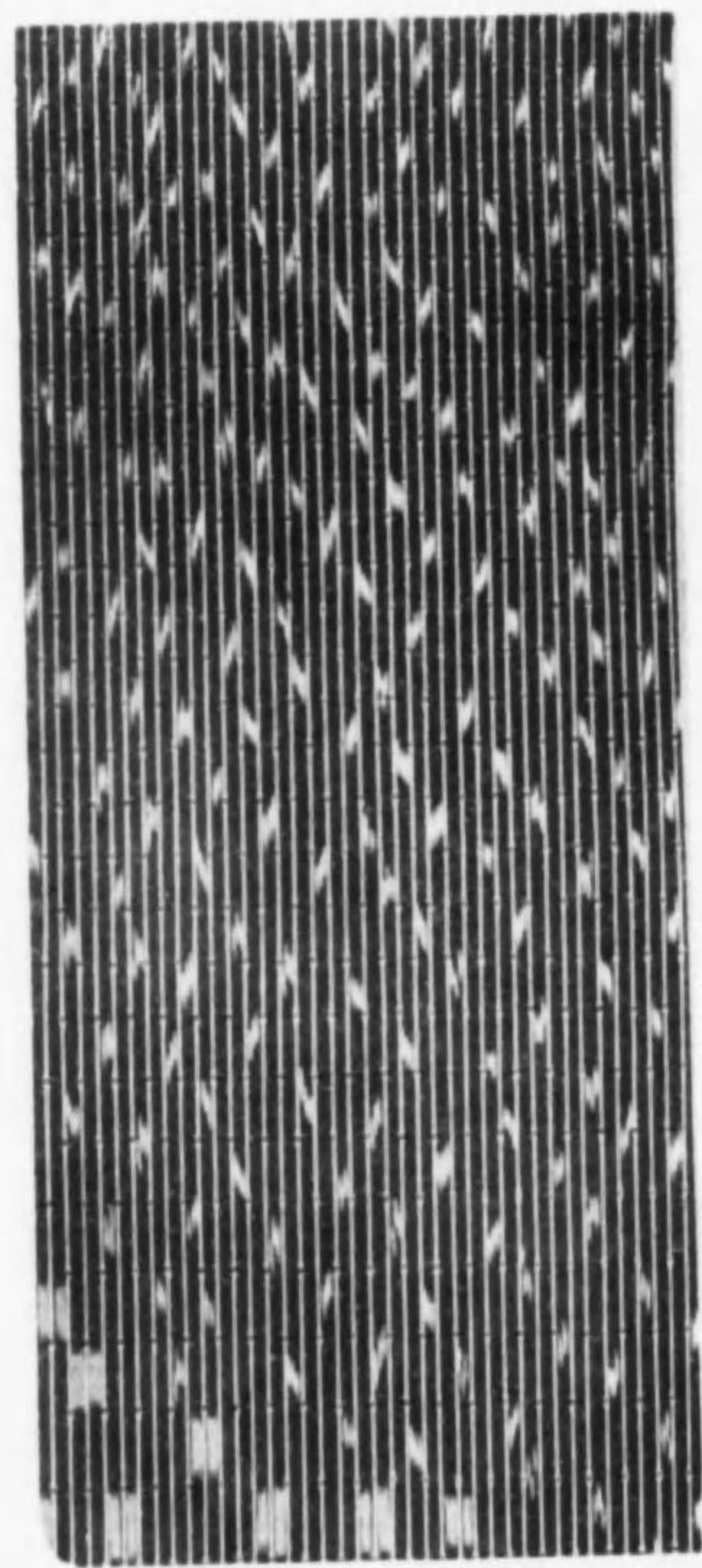


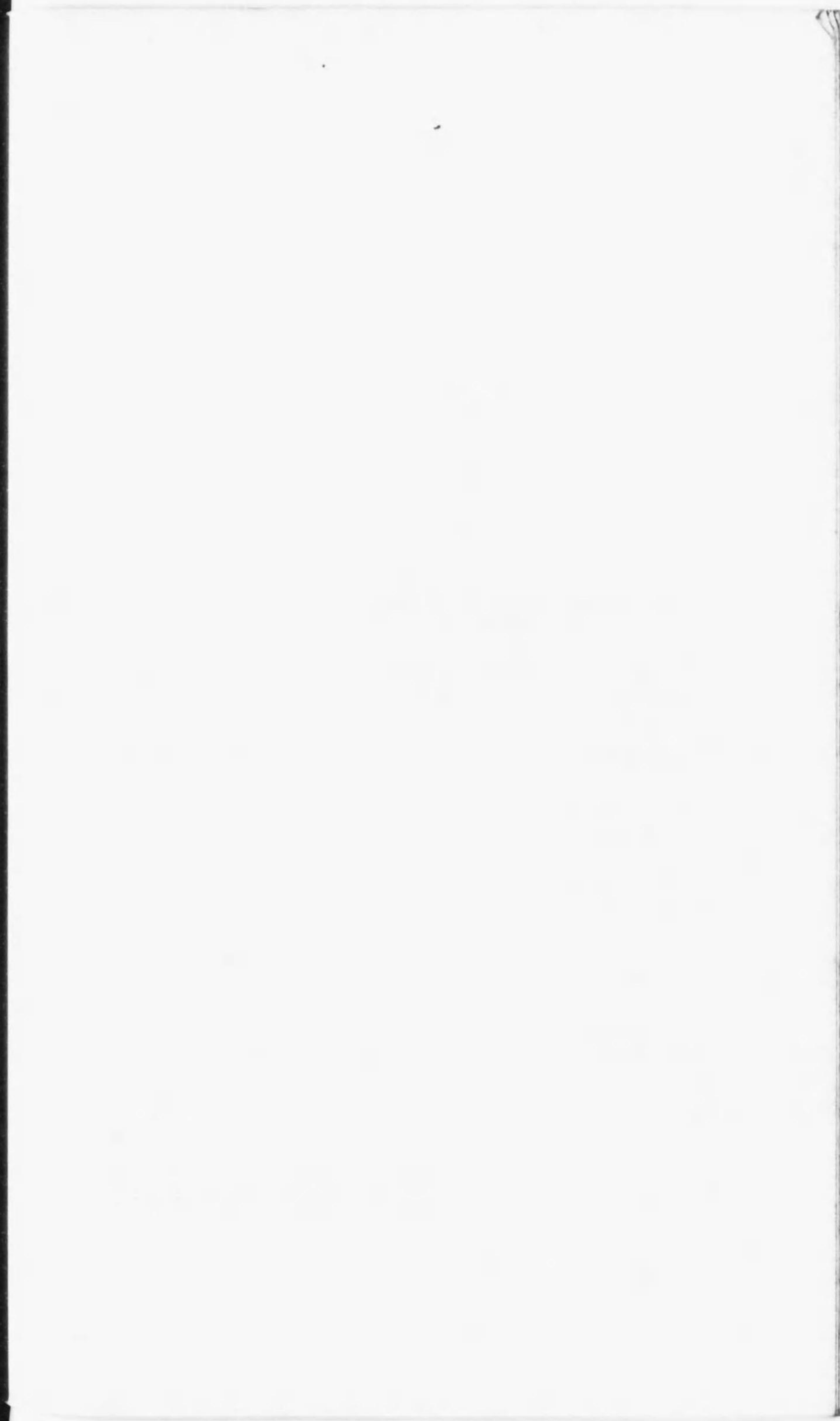
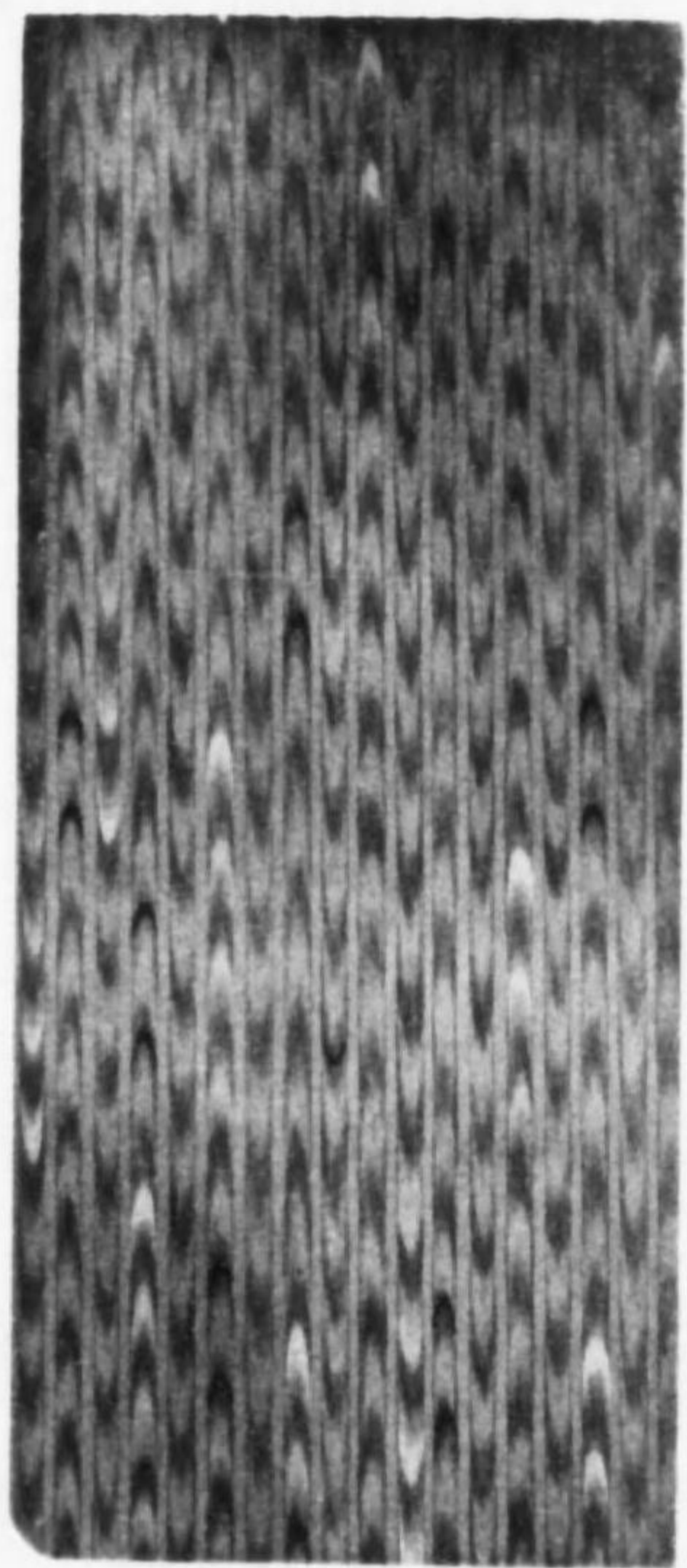


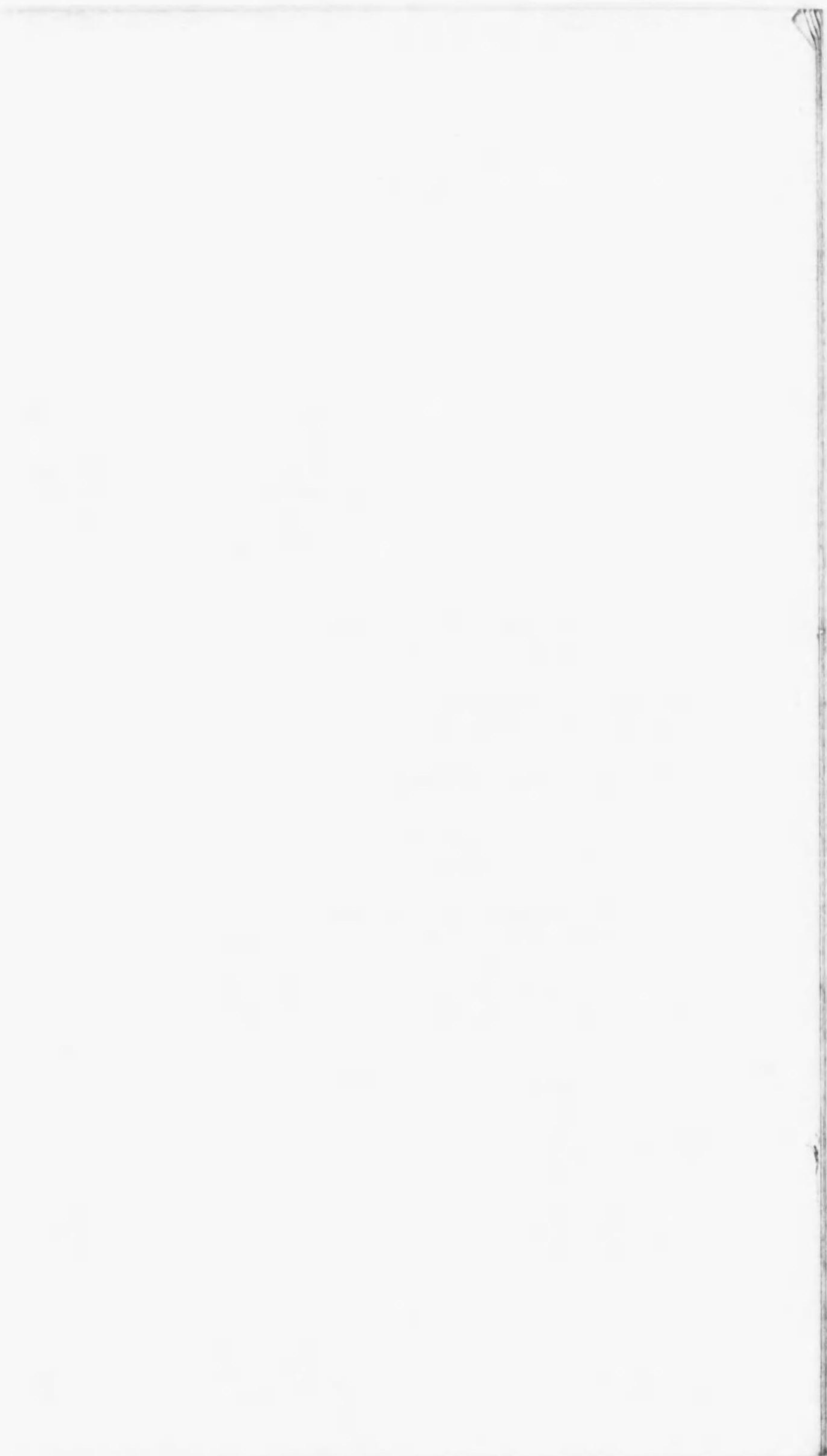
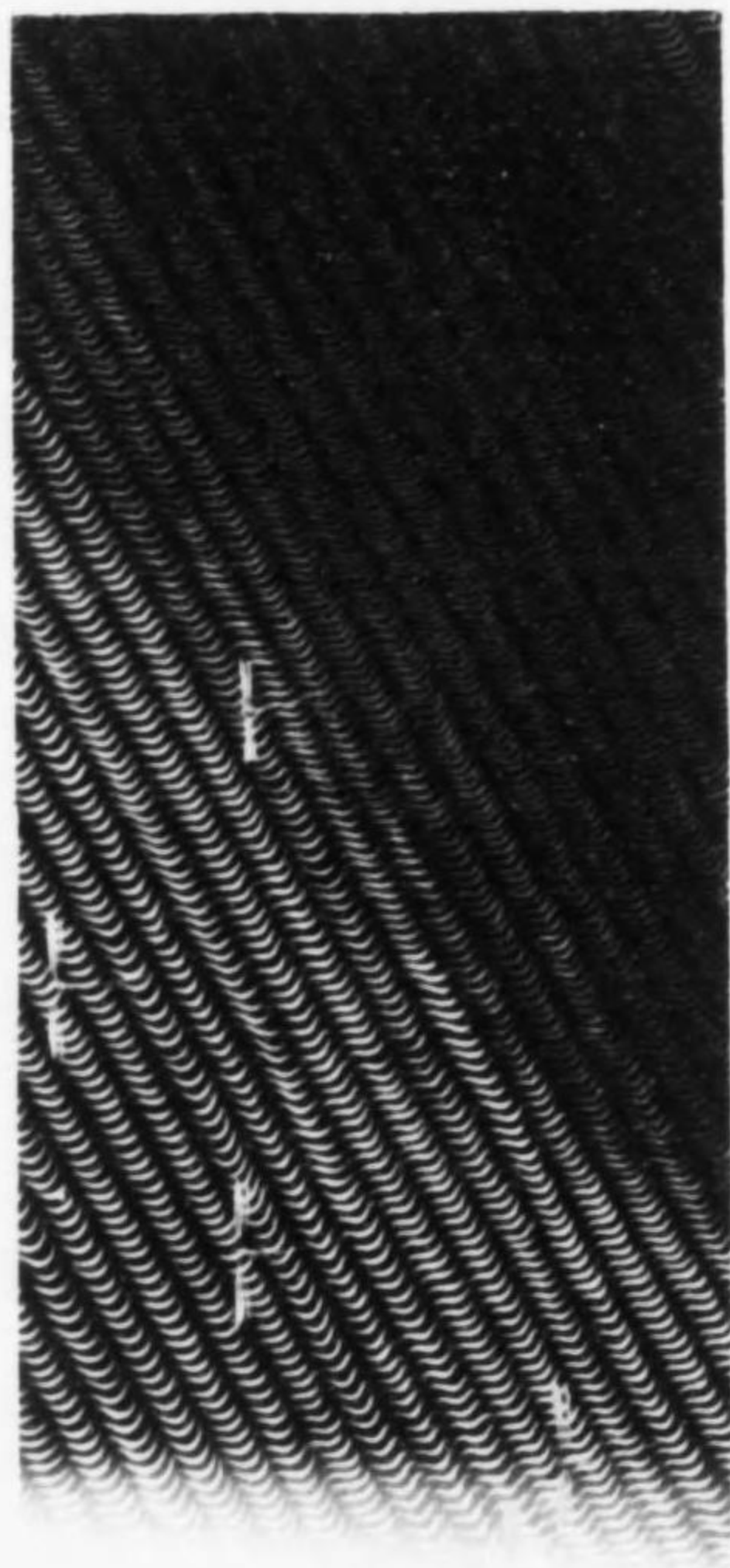
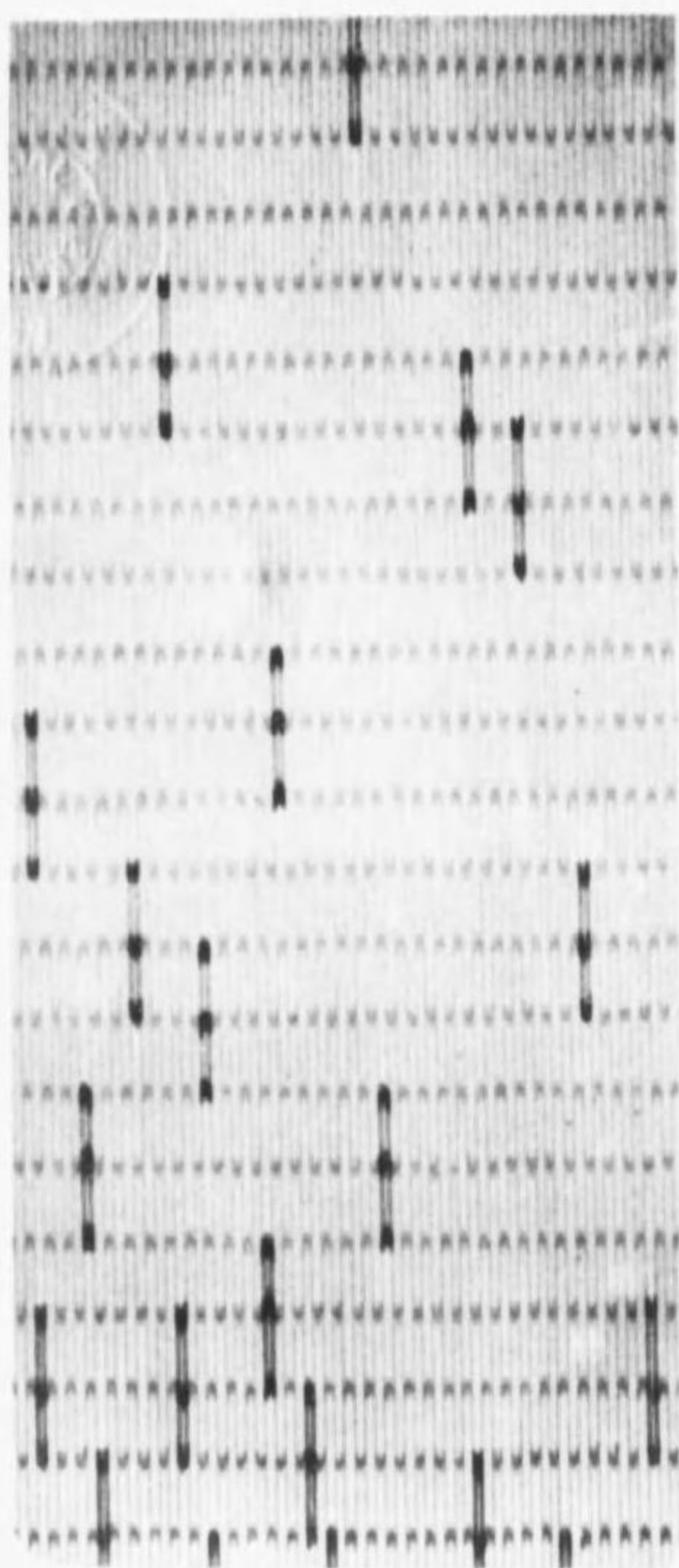


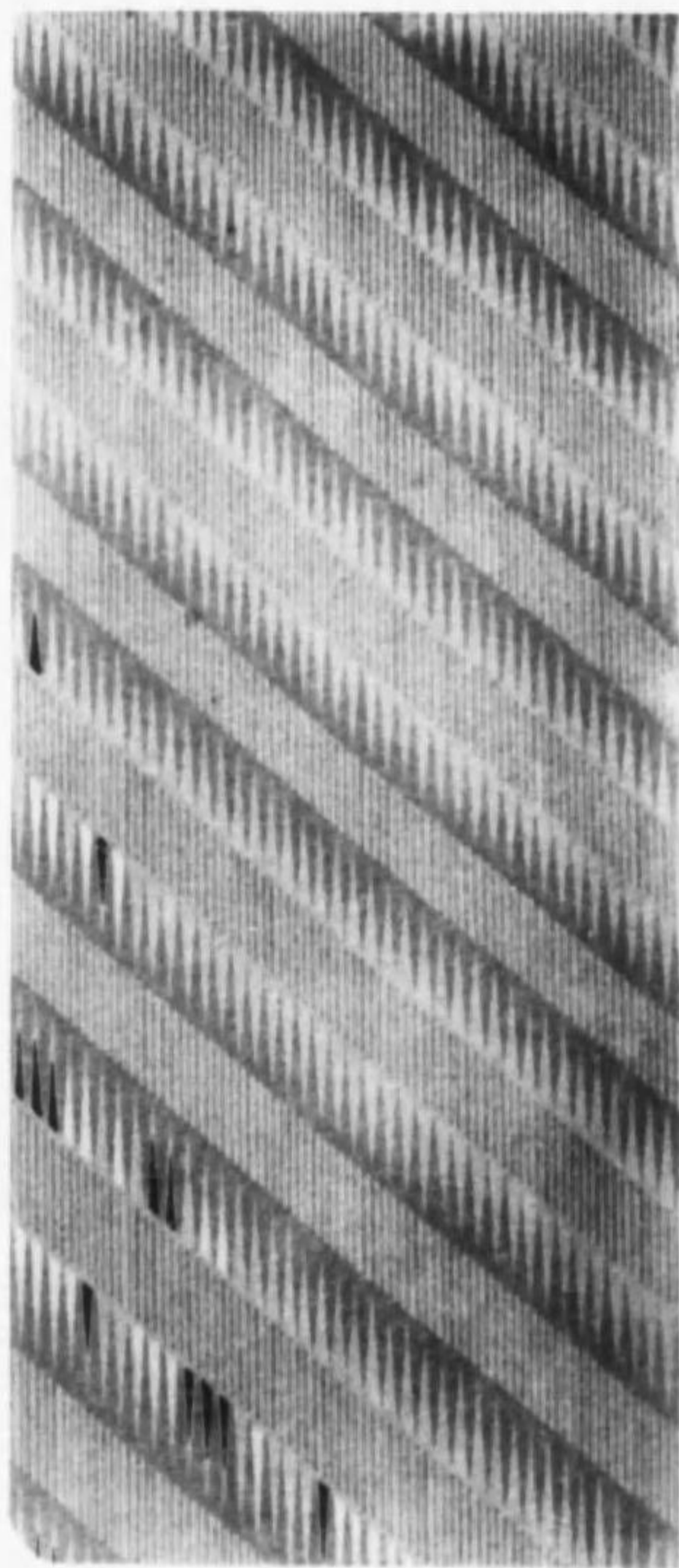


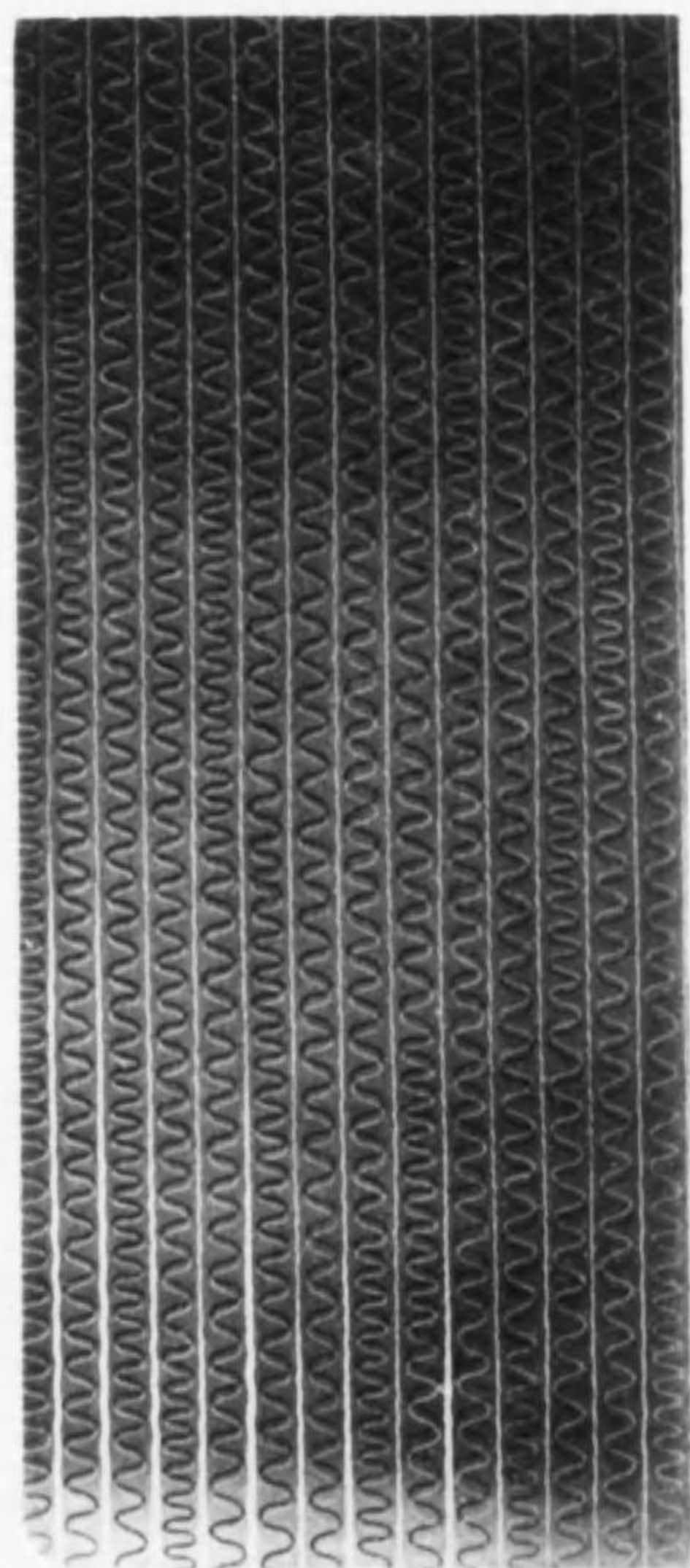
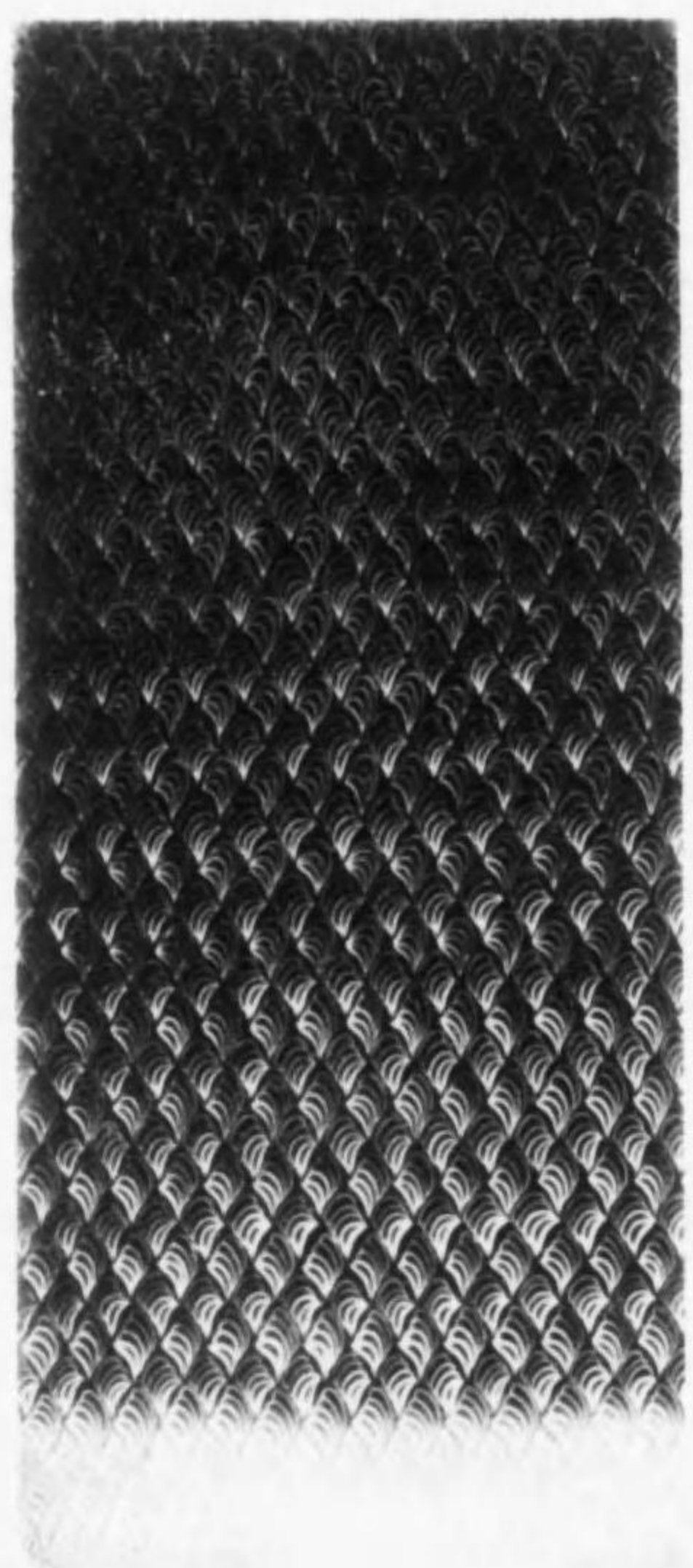












307

661

昭和二年五月十二日印刷  
昭和二年五月十五日發行

【つむじ會與付】  
定價金七圓五拾錢

不許  
複製

編輯者

松

村

翠

鳳

發行兼  
印刷者

內

田

基

一

京都市竹屋町問之町東入大津町一六四番地

京都市竹屋町問之町東入

發行所

內田美術書肆

振替大阪五七四九一番

終

